

COREL[®]



Ulead DVD MovieWriter 7

DVDムービーライター

ユーザーズガイド

著作権とライセンス

著作権

Copyright © 2008 Corel Corporation. All rights reserved.

本マニュアルの一部または全部について、文書によるCorel Corporationの許可を得ない限り、写真複写、録音、検索システムへの保存、または他の言語への翻訳を含む電気的手段、機械的手段、およびその他のいかなる方法によっても、複製または転用することを禁じます。

ソフトウェアライセンス

本マニュアルに説明するソフトウェアは、本製品に添付されているライセンス契約に基づいて提供されています。このライセンス契約は、本製品に関して許可される使用および禁止される使用について規定しています。

ライセンスおよび商標

Copyright © 2008 Corel Corporation. All rights reserved. Corel、Corel ロゴ、DVD MovieWriter は Corel Corporations およびその子会社のカナダ、米国、およびその他の国における商標または登録商標です。

テクニカルサポート情報

DVD MovieWriter についてのお問い合わせは下記へご連絡ください。

インターネット

<http://www.ulead.co.jp/>

ホームページの「ユーザーサポート」にFAQ、トラブルシューティング、アップデータ、ダウンロードなどをご用意しております。こちらをご覧くださいことで解決できることが多々ありますので、ご一読ください。

Eメール

電子メールでのお問い合わせは、お使いのメールソフトなどからご送信いただく形式ではなく、上記のホームページからアクセスできる「メール送信フォーム」からお送りいただくようになっております。トップページやFAQ ページなどからアクセスしていただくと、必要事項とお問い合わせ内容を記入していただく入力欄が表示されます。そちらにご記入いただき、送信してお問い合わせください。

※電子メールでのお問い合わせの場合、内容や難易度によりお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

※お問い合わせ期間は製品の発売日より2年間の範囲で、初回お問い合わせ日から起算して90日間です。

※ボーナスソフトウェアについてはサポート対象外となります。あらかじめご了承ください。

このたびは「Corel DVD MovieWriter 7」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

Corel DVD MovieWriter 7は、さまざまなディスク作成に対応したディスクオーサリングツールです。お手持ちの素材を使ってBlu-rayやDVD、CD-ROMタイトルを作成できます。ビデオカメラで撮影した映像やDVDレコーダーで録画したディスク、録画したテレビ番組、デジタルカメラで撮影した写真をパソコンに取り込み、DVD MovieWriterで編集してディスクに書き込めば、オリジナルディスクが完成します。

今回のバージョンアップでは、Blu-rayディスクの作成や編集ができます。さらに、待望のBlu-rayディスクにメニュー画面が作成できるようになりました。Blu-rayビデオの再生中に、ディスクに収録しているビデオの一覧を表示して、そこから見たいビデオ、さらにはチャプタを設定したシーンにジャンプできます。

「ラウンチャ」画面は、ユーザビリティを考慮して、さらにわかりやすいメニューに作り替えました。ビデオやスライドショー、オーディオディスクの作成など、よく使う機能は「クイックプロジェクト」からすぐにアクセスできます。また、ディスクに書き込む機能をひとまとめにしたタブを用意しましたので、迷うことなく目的の機能を見つけられます。

さらに、モニタの大型化に対応して、「最大化」ボタンをクリックすると、全画面表示が可能になりました。大型モニタをお使いの場合、作業スペースが広がり、タイムラインの編集も快適に作業できます。

また、MPEG4やH.264ファイルの取り込み・編集に対応し（Blu-rayディスクの作成可）、ハイビジョン画質のビデオをDVDに書き込むこともできます。ディスクのメニュー画面用のテンプレートには、タイトルがアニメーションしたり、ビデオのダイジェストを再生する機能なども追加されています。

最新の技術にいち早く対応しただけではなく、ユーザーの使い勝手も考慮して作り上げました「Corel DVD MovieWriter 7」をお使いいただき、思う存分ビデオライフを楽しんでいただければ幸いです。

※掲載している画面は開発中のものであり、変更される場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

CONTENTS

準備

Section 1	DVD MovieWriterの概要	6
	DVD MovieWriterの使い方	6
Section 2	DVDビデオの作り方	8
	DVD MovieWriterの操作	8
Section 3	インストール	10
	必要システム	10
	ハードウェアのチェック	11
	インストール前の注意点	12
	インストール	12
Section 4	アンインストール	16
Section 5	起動と終了	18
	DVD MovieWriterの起動	18
	DVD MovieWriterの終了	18

Part1

ラウンチャとQuickDrop

Section 1	ラウンチャ	20
	クイックプロジェクトの開始	20
	機能の選択	21
Section 2	QuickDrop	22

Part2

ビデオディスクの作成

Section 1	ビデオディスクの新規作成	24
Section 2	メディアの取り込み	26
	ビデオの追加	27
	テレビ番組の録画	30
	AVCHDに対応したデジタルビデオカメラからの取り込み	32
	ビデオファイルの追加	34
	DVDビデオの映像を取り込む	35
	写真などの画像の取り込み	36
Section 3	ビデオの編集	38
	取り込んだビデオの確認	38
	再生の順番を入れ替える	39
	オープニングムービーの作成	39
	ディスク容量の確認	39
	カット編集	40
	ビデオの分割	41
	CMや不要なシーンを一度にカット	42
	ビデオの結合と分離	45
Section 4	タイムラインでビデオ編集	46
	簡易ビデオ編集	46
	おまかせ編集	47
	ビデオをまとめて編集	48
	テキストの挿入	52
	トランジションの追加	53
	BGMや音声の追加	54
Section 5	チャプタの追加／編集	56
Section 6	撮影日時や字幕の表示	58
	撮影日時などの表示	58
	字幕の表示	59
	表示するテキストの編集	59
Section 7	メニューの作成	60
	メニューの選択	60
	タイトルの作成	62
	チャプタのメニューとハイライトボタン	65
	プレビュー画面と次のステップへ	66
	「編集」タブ	66
	モーションメニュー	67
	サムネイルの選択番号	67
	BGMの追加	68
	オリジナルメニューの作成	70
	メニューのカスタマイズ	72
	メニューの表示効果1	73
	メニューの表示効果2	74
	移動パス	75
	ノートメニューの作成	76
Section 8	プレビュー	77

Section 9	書き込みの設定	78
	書き込みの設定	79
	書き込みオプション	80
	ディスクに含めるファイルの設定	81
	ドライブの詳細設定	82
	書き込むビデオの形式やクオリティの設定	83
	ディスクの作成開始	84
Section 10	DVD-RAMディスクの作成	86
	ディスクの新規作成	86
	映像素材の追加	86
	ビデオの編集	87
	プレイリストの作成	88
	ビデオの確認と書き込み	88
Section 11	Blu-ray ディスクの作成	89
	Blu-ray ディスクの新規作成	89
	BDMV 形式 (メニューあり) の作成	89
	BDMV 形式でメニューを作成	90
	Blu-ray ディスクに書き込む	92
	BDVA 形式 (メニューなし) の作成	93
	ビデオの再生順を入れ替える	94
	ビデオの確認と書き込み	94

Part3 ディスクに直接録画と再編集

Section 1	DVD に直接書き込む	96
	ビデオの取り込み設定	96
	録画開始	99
Section 2	Blu-ray に直接書き込む	100
	ビデオの取り込み設定と書き込み	100
Section 3	DVD ディスクの編集	102
	DVD-Video 形式で録画したディスクの再編集	102
	DVDレコーダーで録画したディスクの編集	103
	プレイリストの作成	104
	ビデオの確認	104

Part4 スライドショーや音楽、データディスクの作成

Section 1	スライドショーディスクの作成	106
	写真や画像の取り込み	106
	写真や画像に効果を加える	109
Section 2	音楽ディスクの作成	112
	音楽 CD の作成	112
	MP3CD と MP3DVD	114
	音楽 DVD-Video の作成	115
Section 3	データディスクの作成	116
	データの追加	116
	セキュアデータディスクの作成	118
	ブータブルディスクの作成	118
	DivX ディスクの作成	118

Part5 ディスクに書き込むツール

Section 1	キャプチャとインポート	120
Section 2	ディスクのコピーと書き込み	121
	ディスクのコピーとイメージファイルの書き込み	122
	ムービーのコピー	123
Section 3	ディスクツール	124
Section 4	環境設定	125
Section 5	ディスクとドライブ情報	126

Part6 DVD MovieWriter の設定とDVD ディスクラベルの作成

Section 1	プロジェクトの保存と環境設定	128
	環境設定	129
	ディスクテンプレートマネージャ	130
	ウェブサイト	132
Section 2	ディスクラベルの作成	133
	オリジナルラベルの作成	134
	Labelflash ディスクの作成	137
Q&A	よくある質問	138
	製品のサポート	138
	製品情報	138

READY

Section

1

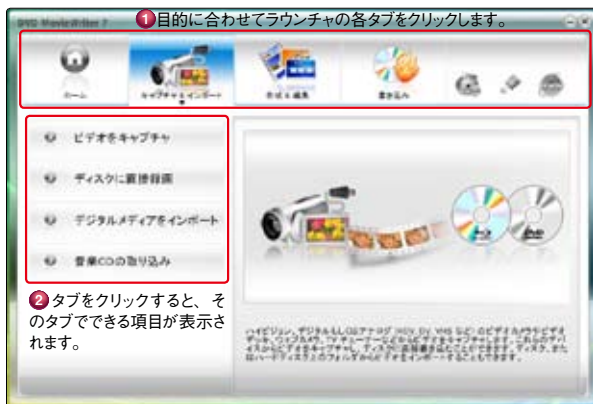
DVD MovieWriter の概要

DVD MovieWriter は、ビデオや写真、データなどのパソコンで扱ういろいろなファイルを、ディスクに書き込むオーサリングツールです。

DVD MovieWriter の使い方

DVD MovieWriter はビデオや写真、データなどのパソコンで扱うさまざまなファイルをディスクに書き込む統合ツールです。また、ディスクに書き込んだデータを読み込んで再編集したり追記したりすることもでき、ディスクを有効活用することができます。

DVD MovieWriter を起動すると、「ラウンチャ」画面が表示されます。タブをクリックして目的の機能を選びます。各タブでできることは、以下の通りです。



[ホーム] タブ

「ホーム」にはビデオディスクやスライドショーディスク、データディスク、オーディオディスクを作成する機能が用意されていて、各操作のタブをクリックして機能を選択することなく、素早く各ディスクの作成ツールを起動できます。



[キャプチャ & インポート] タブ

映像や画像、音楽ファイルなどをパソコンに取り込むときに使用します。ビデオカメラで撮影したビデオやデジタルカメラで撮影した写真、音楽CDの曲などをパソコンにデジタルデータとして取り込みます。また、市販のBlu-rayやDVDレコーダーと同じようにビデオカメラの映像を直接各ディスクに書き込むことができます。



※ DVカメラから映像を取り込むには、パソコンにIEEE1394ポートが搭載されているか確認してください。搭載されていない場合は、IEEE1394カードを増設します。

※ テレビ番組を録画するには、テレビチューナー機能を搭載していないパソコンではソフトウェアエンコードタイプのテレビチューナーカード/ユニットが必要です。

※ ビデオデッキなどからビデオを取り込むには、ビデオキャプチャ機能を搭載していないパソコンではビデオキャプチャカードが必要です。

【作成 & 編集】タブ

ビデオディスクやスライドショーディスクを作成するときに使用します。ディスクのラベルを作成するツールや作成したビデオディスクを直接編集する機能も用意されています。



【書き込み】タブ

作成したビデオディスクをコピーしたり、オーディオディスクやデータディスクを作成します。

注意

DVD MovieWriterでは、コピーガードやスクランブルなどの著作権保護がかかっている製品をDVDディスクに録画することはできません。



【DVD MovieWriter Suite】タブ

DVD MovieWriterに用意されている各アプリケーションを直接起動するときに使用します。

「Label@Once」は、作成したDVDディスクのラベルを作成することができます。市販のラベル用紙に印刷して、オリジナルディスクに貼り付けます。「QuickDrop3」は、パソコンのデータやオーディオファイルをQuickDropにドラッグして「ディスクに書き込む」ボタンをクリックするだけで、データのバックアップディスクやオーディオCDが作成できる便利なツールです。



【環境設定 & ディスクツール】タブ

作業用のフォルダを指定したり、Webサイトから製品のアップデート情報を得たり、オンライン登録を行う「環境設定」、ディスクの初期化や消去、ファイナライズを行う「ディスクツール」があります。また、パソコンにセットしたDVDディスクについての情報やパソコンに搭載しているDVDドライブの情報を表示します。



DVDビデオの作り方

DVD MovieWriter は、各種ビデオカメラで撮影した映像やビデオ機器で録画した映像、録画したテレビ番組、ビデオファイルなどをパソコンに取り込み、それらを編集してDVDディスクに書き込むオーサリングツールです。

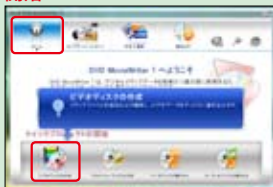
DVD MovieWriter の操作

DVD MovieWriter は、ビデオ素材をパソコンに取り込み、取り込んだビデオを加工する「入力」、ディスクのメニュー画面を作成する「メニュー作成」、できあがったビデオをDVDディスクに書き込む「出力」の3つのステップで操作します。DVD MovieWriter の流れに沿って作成すれば、初心者の方でも迷うことなくDVDディスクを作成できます。DVD MovieWriter は、以下の流れでDVDディスクを作成します。

DVDビデオを作る

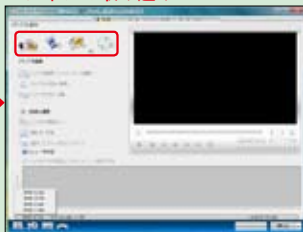
新規にDVDビデオを作成するには、DVカメラの映像やビデオテープ、ビデオファイルなどをパソコンに取り込み、DVD MovieWriter でそれらのビデオを編集して、新しいDVDディスクに書き込みます。

開始



新規にDVDビデオを作成するには、「ラウンチャ」画面の「ホーム」タブにある「クイックプロジェクトの開始」から「ビデオディスクの作成」を選択します。

メディアの取り込み



「ソースの選択とインポート」画面で、ディスクに書き込むビデオ素材をDVカメラやビデオ機器、DVDディスクから取り込みます。

DVDビデオを編集する

一度書き込んだDVDビデオディスクにビデオやスライドショーを追加したり、内容を編集することができます。また、DVDレコーダーで録画したDVDディスクを編集することもできます。

開始



一度書き込んだDVDディスクにビデオを追加したりディスクの内容を編集するには、「ラウンチャ」画面の「作成 & 編集」タブから「ビデオディスクの編集」を選択します。

メディアの取り込み



「ソースの選択とインポート」画面が表示され、メディアリストにはディスクに書き込まれたビデオなどが表示されます。

DVDに直接録画する

DVD MovieWriter は、DVカメラやビデオ機器の映像をパソコンを通して家庭用DVDレコーダーと同形式で直接DVDディスクに書き込むことができます。編集する必要のないビデオをそのままDVDディスクに保存しておきたいときに使用します。

開始



DVカメラやビデオ機器からビデオを直接DVDディスクに書き込むには、「ラウンチャ」画面の「キャプチャ & インポート」タブから「ディスクに直接録画」を選択します。

メディアの取り込み



「ディスクに直接録画」画面が表示されます。DVDに書き込むDVカメラやビデオ機器を接続します。

メニュー付きの Blu-ray ディスクの作成にも対応した DVD MovieWriter 7

Blu-ray ディスクの作成 & 編集



Blu-ray ディスクの作成や編集ができます。Blu-ray ディスクにもメニュー画面が作成できるようになり、ビデオの再生中に、メニューに収録しているビデオの一覧を表示して、そこから見たいビデオにジャンプできます。

新しくなった「ラウンチャ」画面



「ラウンチャ」画面は、ユーザビリティを考慮して、わかりやすいメニューに作り替えました。ビデオやスライドショー、オーディオディスクの作成など、よく使う機能は「クイックプロジェクトの開始」からすぐにアクセスでき、目的の機能もタブから選べます。

モニタの全画面表示に対応



モニタの大型化に対応して、「最大化」ボタンをクリックすると、全画面表示が可能になりました。大型モニタをお使いの場合、スペースが広がり、タイムラインの編集もより効率よく作業できます。

ビデオの編集



取り込んだビデオの先頭と終わりの不要部分を取り除き、ビデオの分割やチャプタを設定して、DVD に書き込むビデオを編集します。

メニューの作成



DVD ビデオのオープニング画面になるシーン選択メニューを作成します。メニューには、たくさんのテンプレートが用意されています。

DVD に書き込む



各 DVD ディスクに書き込むときの出力設定を行い、DVD ディスクにビデオを書き込みます。

ビデオの編集



さらにビデオ素材を追加したり、必要のないビデオを削除したり、異なる効果を加えたり削除したりなどの編集ができます。

メニューの作成



メニューを他のテンプレートに変更したり、メニューに使うボタンやタイトル、サムネイルのフレーム、BGMなどをカスタマイズできます。

DVD に書き込む



追加や削除、変更したプロジェクトを DVD ディスクに書き込みます。

メニューの作成



DVD ディスクに直接ビデオを録画する場合もメニュー画面を作成できます。「メニューの作成」画面でメニューに使用するテンプレートを選んだり、メニューが表示されている間に流れるBGM、メニューの背景画像などを設定できます。

メニューを作成しない場合は、「ディスクに直接書き込む」画面へ進みます。

DVD に書き込む



「キャプチャを開始」ボタンをクリックして DV カメラやビデオ機器を再生し、映像を DVD ディスクに録画します。

DVDビデオの完成

インストール

DVD MovieWriterをパソコンにインストールします。

必要システム

DVD MovieWriterをインストールするには、お使いのパソコンに以下のシステムが必要です。

【コンピュータ本体】

Intel Pentium 4 1.8GHz、またはAMD Athlon XP 1800+ 以上 (AVCHDのインポートの場合は Pentium 4 HT 3.0GHz、またはAMD Athlon 64 3800+ 以上を推奨)

【メモリ】

512MB 以上 (1GB 以上を推奨)

【日本語オペレーティングシステム】

Windows Vista、Windows XP SP2

【ハードディスク】

900MB の空き領域 (プログラムインストール用)

※2時間のDVDビデオオーサリングおよび書き込みの場合は、ハードディスク上に10GB以上の空き領域が必要。

※2時間のハイビジョン画質オーサリングおよび書き込みの場合は、ハードディスク上に30GB以上の空き領域が必要。

【必要ソフトと周辺機器】

- Direct X 9.0c、Windows Media Format 9、Macromedia Flash Player 7 以上
- Windows対応のサウンドカード
- 解像度 1024×768 以上の Windows 対応のディスプレイ
- Windows 対応の AGP または PCI グラフィックカード (オーバーレイサポートを推奨)

【その他の条件】

- DV/TV チューナーからDVD ディスクに直接キャプチャして書き込む場合は、Intel Pentium 4 HT 3.0GHz、AMD Athlon 64 3800+ 以上のパソコン
- DV/D8ビデオカメラを使用する場合は、OHCI規格に準拠したIEEE1394 (FireWire) インターフェース
- アナログキャプチャの場合は、PCI、TV チューナー、USB キャプチャ装置 (WDM サポート)
- Windows 対応 DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD-RAM、CD-R/RW、Blu-rayドライブ
- インターネット接続環境 (ユーザーサポートをお受けいただくため)

※本製品にはWindows Vista、Windows XPなどのオペレーティングシステムは含まれていません。

※必要メモリおよび必要ハードディスク容量は、お使いのシステムによって異なる場合があります。

注：ハードウェアMPEGエンコーダーを持つキャプチャ機器からのキャプチャはできません。それらの機器に付属するソフトウェアでキャプチャしたファイルを読み込んでご利用いただくことになります。

ハードウェアのチェック

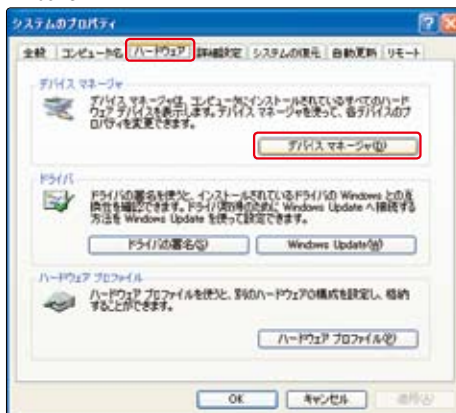
DVカメラのキャプチャ機能を利用するには、以下のドライバが設定されていることをご確認ください。

- 1 実行中のすべてのアプリケーションを終了します。DVカメラをパソコンに接続して、DVカメラの電源を入れます。
- 2 「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択して、Windows Vistaでは「システムとメンテナンス」→「システム」をクリック、Windows XPでは「システム」をダブルクリックします。
- 3 Windows Vistaでは、タスクから「デバイスマネージャ」をクリックします。Windows XPでは、「システムのプロパティ」ダイアログボックスの「ハードウェア」タブをクリックして、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

Windows Vista



Windows XP



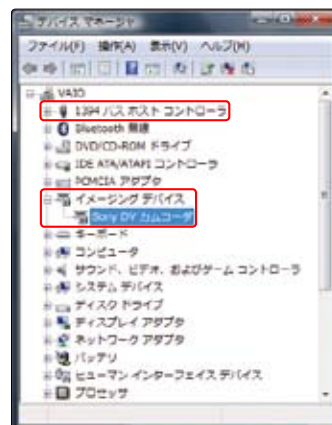
- 4 「デバイスマネージャ」画面の各デバイスの項目名をダブルクリックすると、ドライバ名が表示されます。

Windows Vistaの場合

- IEEE1394バスコントローラ
- イメージングデバイス：「(メーカー名) DVカメラ」または「(メーカー名) AVデバイス」と表示されていればOKです。

Windows XPの場合

- IEEE1394バスコントローラ
- 61883デバイスクラス
- AVCデバイスクラス
- イメージングデバイス：「(メーカー名) DVカメラ」または「(メーカー名) AVデバイス」と表示されていればOKです。



Windows Vistaの「デバイスマネージャ」

インストール前の注意点

DVD MovieWriterをインストールする前に、以下のことを確認してください。

- 起動しているアプリケーションは終了してください。
- 各種ウイルスチェックプログラムをご使用の場合は、必ず終了してください。
- スクリーンセーバーを設定している場合は、必ず起動しないようにしてください。
- ディスプレイやハードディスクの「省電力機能」を使用している場合は、電源が切れない設定にしてください。
- ノートパソコンにインストールする場合は、バッテリーの容量が切れないようにACアダプタを使用してください。

※ 各アプリケーションの終了方法は、それぞれのソフトウェアのマニュアル等をご確認ください。

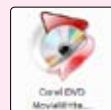
インストール

1 DVD MovieWriterのCD-ROMをCD/DVDドライブにセットします。自動的にDVD MovieWriterのインストール画面が表示されます。「DVD MovieWriter 7のインストール」をクリックします。

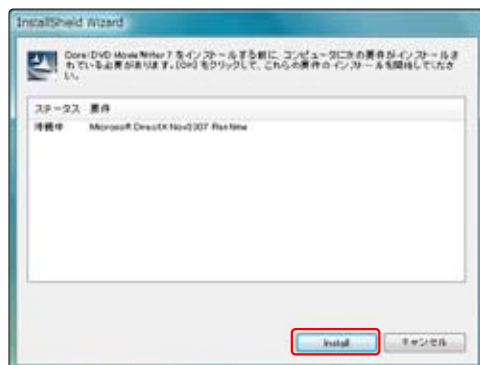


注意

自動的にインストール画面が表示されない場合は、デスクトップの「コンピュータ (XPではマイコンピュータ)」をダブルクリックして、DVDドライブアイコンをダブルクリックします。
これで、インストール画面が表示されます。



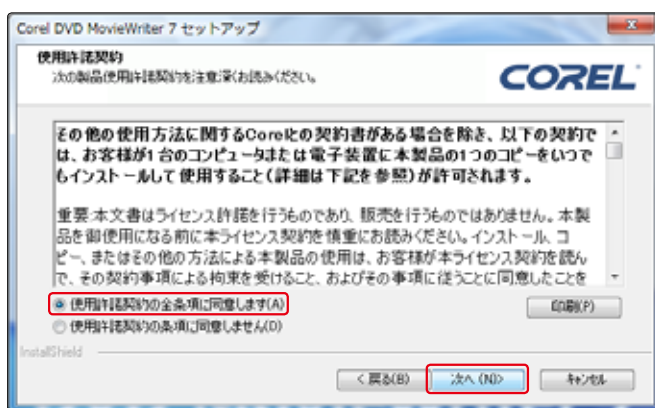
2 インストールの最初に右の画面が表示されることがあります。「Install」ボタンをクリックすると、DVD MovieWriterのインストール画面に進みます。



- 3 セットアップ画面で「次へ」ボタンをクリックします。



- 4 使用許諾契約書が表示されます。使用許諾契約の条項を読み、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックします。契約書の下の部分を読むには、「Page Down」キーを押します。

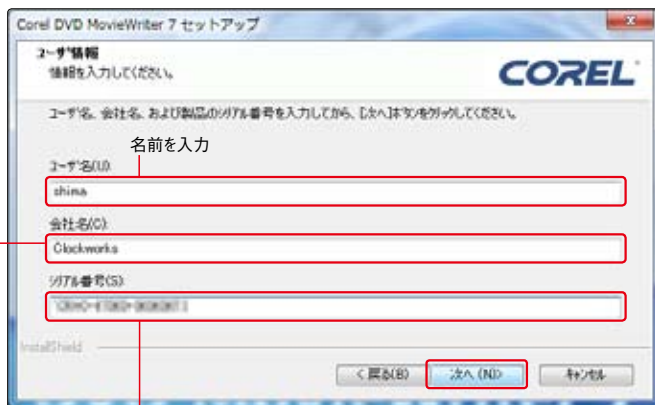


注意

「使用許諾契約の条項に同意しません」にチェックを入れると、DVD MovieWriter はインストールされません。

- 5 ユーザ情報を入力します。「ユーザ名」と「会社名」、「シリアル番号」を入力して、「次へ」ボタンをクリックします。

「会社名」や「学校名」、「自宅」
などのお使いの場所を入力



注意

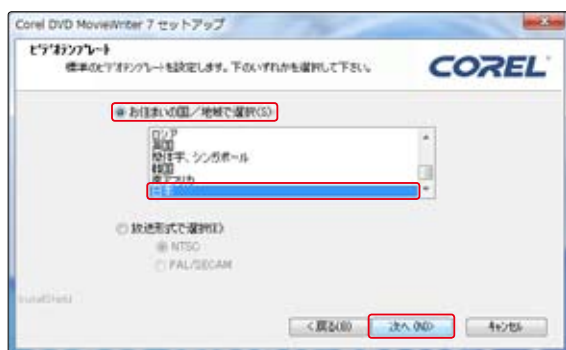
「会社名」にはお勤め先や学校名、「自宅」などのお使いの場所を入力してください。未記入では「次へ」ボタンが押せずに、次の画面に進めません。

パッケージに同梱されているCD ケースの裏に明記されているシリアル番号を半角英数字で入力

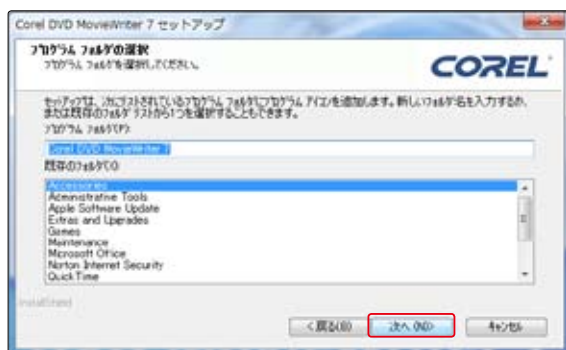
- 6** 「インストール先の選択」ダイアログボックスが表示されます。インストール先のフォルダを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。



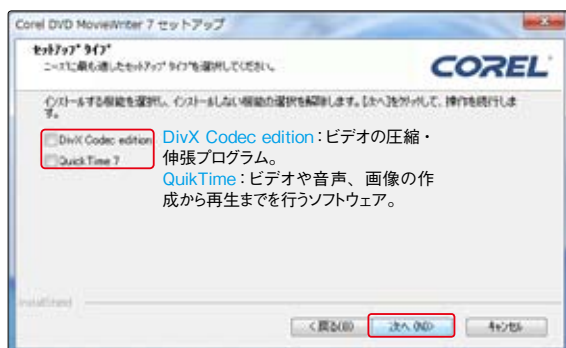
- 7** 「ビデオテンプレート」ダイアログボックスが表示されます。「お住まいの国／地域で選択」をクリックして、「日本」を選びます。「次へ」ボタンをクリックします。



- 8** 「プログラムフォルダの選択」ダイアログボックスが表示されます。そのまま「次へ」ボタンをクリックします。



- 9** 「セットアップタイプ」ダイアログボックスが表示されます。ここではDVD MovieWriterと一緒にインストールするソフトウェアを選択します。お使いのパソコンにインストールされていないソフトウェアにチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックします。



- 10** 「ファイルコピーの開始」ダイアログボックスが表示され、インストールする内容が表示されます。確認して、「次へ」ボタンをクリックします。



- 11** セットアップが開始されるので、そのまま待ちます。



- 12** 「InstallShield Wizard の完了」ダイアログボックスが表示されます。「完了」ボタンをクリックします。これでお使いのパソコンに「DVD Movie Writer 7」がインストールされます。



READY

Section

4

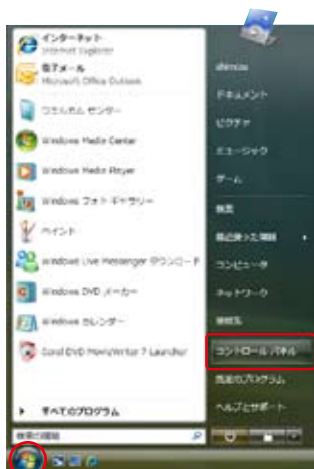
アンインストール

DVD MovieWriterをお使いのパソコンからアンインストールします。

DVD MovieWriterを使わなくなったときやインストールしたときの初期状態に戻したい場合は、DVD MovieWriterをパソコンからアンインストール(削除)します。

1

「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックします。



Windows Vista



Windows XP

2

Windows Vistaでは、「コントロールパネルホーム」から「プログラムのアンインストール」をクリックします。Windows XPでは、「コントロールパネル」ウィンドウから「プログラムの追加と削除」をクリックします。

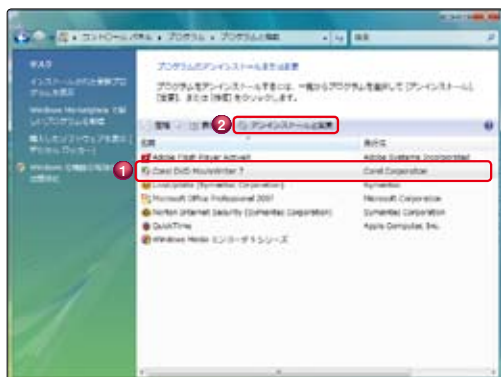


Windows Vista

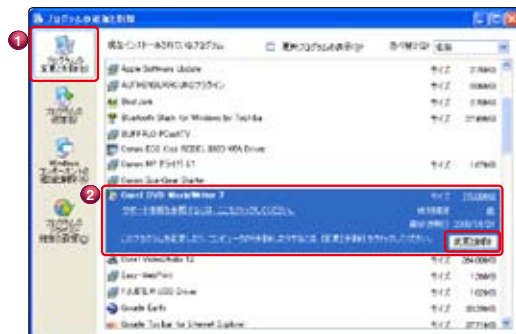


Windows XP

- 3 Vistaではプログラムの一覧から「Corel DVD MovieWriter 7」を選択して、「アンインストールと変更」をクリックします。XPでは「プログラムの追加と削除」画面の「プログラムの変更と削除」をクリックします。表示される「現在インストールされているプログラム」の一覧から「Corel DVD MovieWriter 7」を選択して、「変更と削除」ボタンをクリックします。



Windows Vista



Windows XP

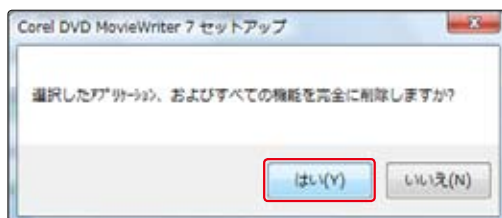
- 4 「Corel DVD MovieWriter 7 セットアップ」ウィザードが表示されます。「修正」か「削除」をチェックして、「次へ」ボタンをクリックします。

DVD MovieWriterを再インストールするには、「修正」をチェックします。インストールされているすべてのファイルを再インストールします。なお、その際にはインストールに使用したCD-ROMが必要になります。

DVD MovieWriterをコンピュータから取り除くには、「削除」をチェックします。



- 5 「ファイル削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。「はい」ボタンをクリックすると、DVD MovieWriterがアンインストールされます。

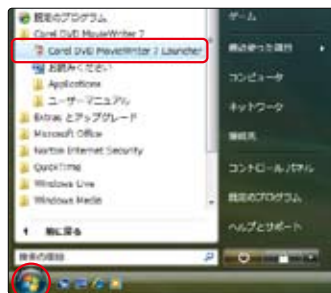


起動と終了

DVD MovieWriter の起動方法と終了の仕方を解説します。

DVD MovieWriter の起動

「DVD MovieWriter」を起動するには、デスクトップに表示されている「Corel DVD MovieWriter 7 Launcher」のアイコンをダブルクリックします。または、「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」→「Corel DVD MovieWriter 7」→「Corel DVD MovieWriter 7 Launcher」を選択しても起動します。



はじめて Corel DVD MovieWriter を起動したときは、「ユーザー登録」画面が表示されます。インターネットに接続できる環境の場合、「今すぐ登録」ボタンをクリックすると、ユーザー登録サイトにアクセスできます。ここでユーザー登録を行ってください。



DVD MovieWriter の終了

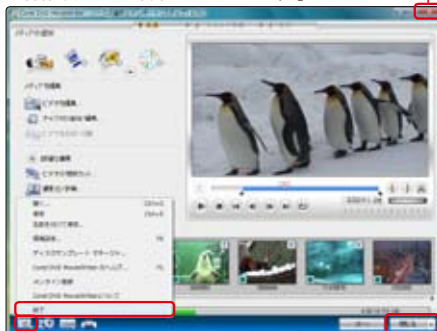
DVD MovieWriter を終了するには、それぞれのツールで「終了」を選びます。

■「ラウンチャ」画面での終了



「X」ボタンをクリック

■各作業画面での終了



「設定とオプション」ボタンをクリックして、「終了」をクリック

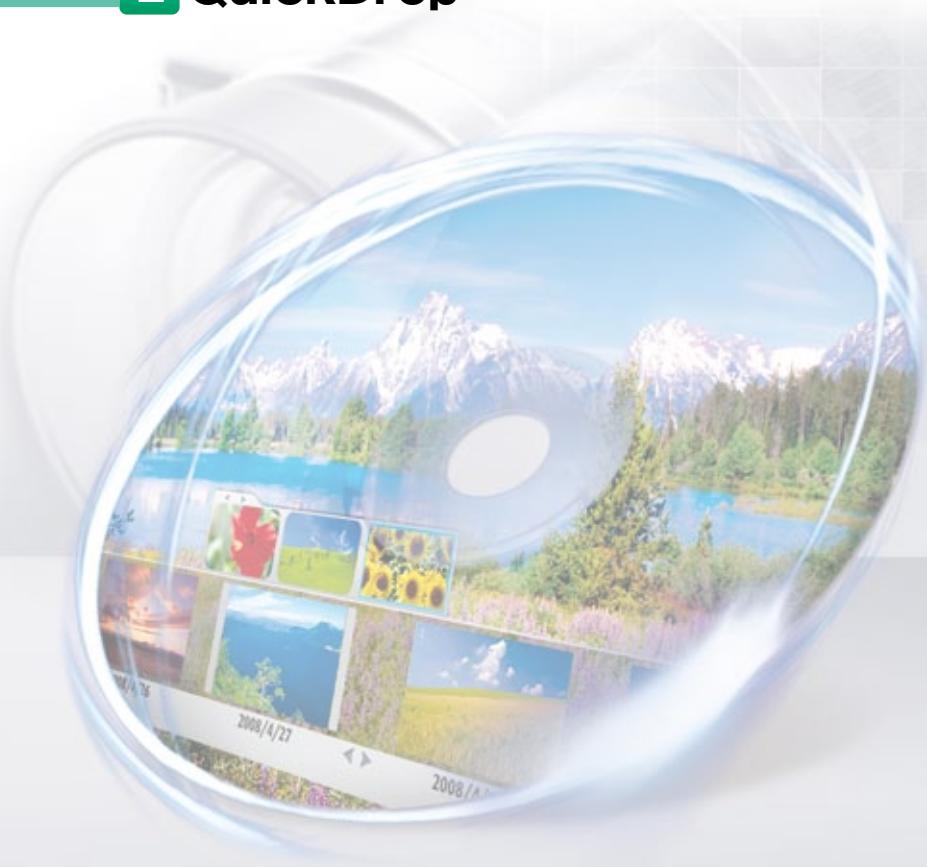
「閉じる」ボタンをクリック。または、「▼」ボタンをクリックして表示されるメニューから「終了」を選択

PART 1

ラウンチャとQuickDrop

Section 1 ラウンチャ

Section 2 QuickDrop



ラウンチャ

DVD MovieWriterの起動画面は「ラウンチャ」と呼び、DVD MovieWriterでできる機能が一同に集まっています。

DVD MovieWriterが起動すると、「ラウンチャ」画面が表示されます。各タブを選択して、作業したいメニューボタンをクリックし、作業に取り掛かります。「ホーム」タブにはよく使うディスクの作成機能が配置されています。まずは、「ホーム」タブの機能を確認しておきましょう。



クイックプロジェクトの開始

「ホーム」タブをクリックすると、「クイックプロジェクトの開始」メニューが表示されます。ここには各種ディスクを作成するメニューが用意されています。作成するディスクに合わせてアイコンをクリックします。

1 「ビデオディスクの作成」

新しいディスクにビデオを書き込むときに選択します。DVD-R/-RW/+R/+RWディスクはDVD-Video形式で、DVD-RW/RAMディスクはDVD-VR形式で、CD-R/RWはVideoCDかSVCD形式で書き込みます。また、Blu-rayディスクに書き込むこともできます。(→P.24へ)

2 「スライドショーディスクの作成」

デジタルカメラで撮影した写真などでオリジナルのスライドショーを作成して、DVDやCDディスクに書き込みます。(→P.106へ)

3 **【データディスクの書き込み】**
ハードディスクに保存してあるデータファイルをCDやDVD、Blu-rayディスクに書き込みます。(→ P.116へ)

4 **【オーディオディスクの書き込み】**
音楽CDやパソコン上のオーディオファイルを集めてオーディオCD/DVDを作成します。(→ P.112へ)

機能の選択

「クイックプロジェクトの開始」に掲載されていない機能は、各タブをクリックして、それぞれのメニューから選択します。各タブにある機能は以下の通りです。

5 **【キャプチャ & インポート】タブ**
映像や画像、音楽ファイルなどをパソコンに取り込むときに使用します。ビデオカメラで撮影したビデオやデジタルカメラで撮影した写真、音楽CDの曲などをパソコンにデジタルデータとして取り込みます。また、市販のBlu-rayやDVDレコーダーと同じようにビデオカメラの映像を直接各ディスクに書き込むことができます。

6 **【作成 & 編集】タブ**
ビデオディスクやスライドショーディスクを作成するときに使用します。ディスクのラベルを作成するツールや作成したビデオディスクを直接編集する機能も用意されています。

7 **【書き込み】タブ**
作成したビデオディスクをコピーしたり、オーディオディスクやデータディスクを作成します。

8 **【DVD MovieWriter Suite】タブ**
DVD MovieWriterに用意されている各アプリケーションを直接起動するときに使用します。「Label@Once」は、作成したDVDディスクのラベルを作成することができます。市販のラベル用紙に印刷して、オリジナルディスクに貼り付けます。「QuickDrop3」は、パソコンのデータやオーディオファイルをQuickDropにドラッグして「書き込み」ボタンをクリックするだけで、データのバックアップディスクやオーディオCDが作成できる便利なツールです。

9 **【環境設定 & ディスクツール】タブ**
作業用のフォルダを指定したり、Webサイトから製品のアップデート情報を得たり、オンライン登録を行う「環境設定」、ディスクの初期化や消去、ファイナライズを行う「ディスクツール」があります。また、パソコンにセットしたDVDディスクについての情報やパソコンに搭載しているDVDドライブの情報を表示します。

10 **【インターネット】アイコン**
このアイコンをクリックすると、Webブラウザが起動して、コーレルのWebサイトが表示されます。

11 **【終了】ボタン**
ラウンチャを閉じるには、「終了」ボタンをクリックします。

PART 1

Section

2

QuickDrop

QuickDropにファイルをドラッグして、Blu-rayやDVDビデオ、音楽CD、データディスクを作成します。Windows Vistaをお使いの場合は、ガジェットとして使用できます。

「QuickDrop」は、Blu-rayやDVDディスクを手軽に作成するためのツールです。QuickDropにデータや音楽ファイル、ビデオファイル、フォルダをドラッグしてディスクに書き込みます。

1 「QuickDrop」を起動するには、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Corel DVD MovieWriter 7」→「アプリケーション」→「Corel QuickDrop 3」をクリックします。Windows Vistaにインストールした場合は、サイドバーにガジェットとして表示されます。

2 「▼」をクリックして、作成するディスクの種類を選びます。ディスクに書き込むフォルダやファイルを、QuickDropにドラッグします。

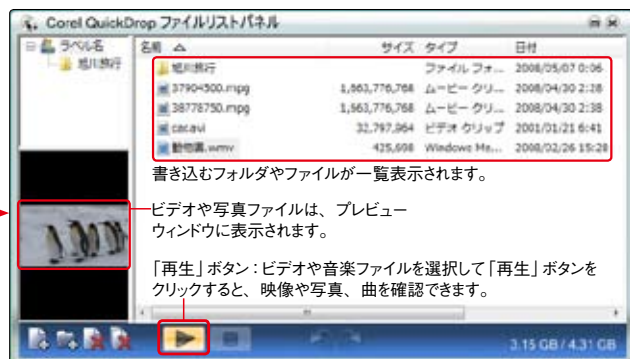
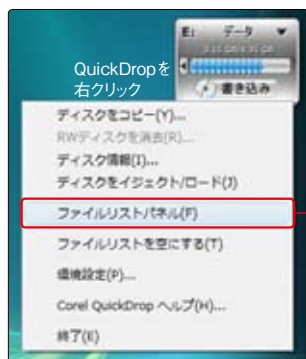


ディスクに書き込むフォルダやファイルをドラッグ



「▼」をクリックして、作成するディスクの種類を選択

3 ディスクに書き込む内容を確認したり、一覧表でフォルダやファイルの追加、削除を行うには、QuickDropを右クリックして、表示されるメニューから「ファイルリストパネル」をクリックします。ファイルリストパネルには、フォルダやファイルの追加・削除ができ、ビデオや音楽、写真などのファイルの内容を確認することができます。



書き込むフォルダやファイルが一覧表示されます。

ビデオや写真ファイルは、プレビューウィンドウに表示されます。

「再生」ボタン：ビデオや音楽ファイルを選択して「再生」ボタンをクリックすると、映像や写真、曲を確認できます。

4 ディスクに書き込む容量がグラフに表示されます。パソコンに、書き込むディスクをセットします。「書き込み」ボタンをクリックすると、ディスクにデータが書き込まれます。

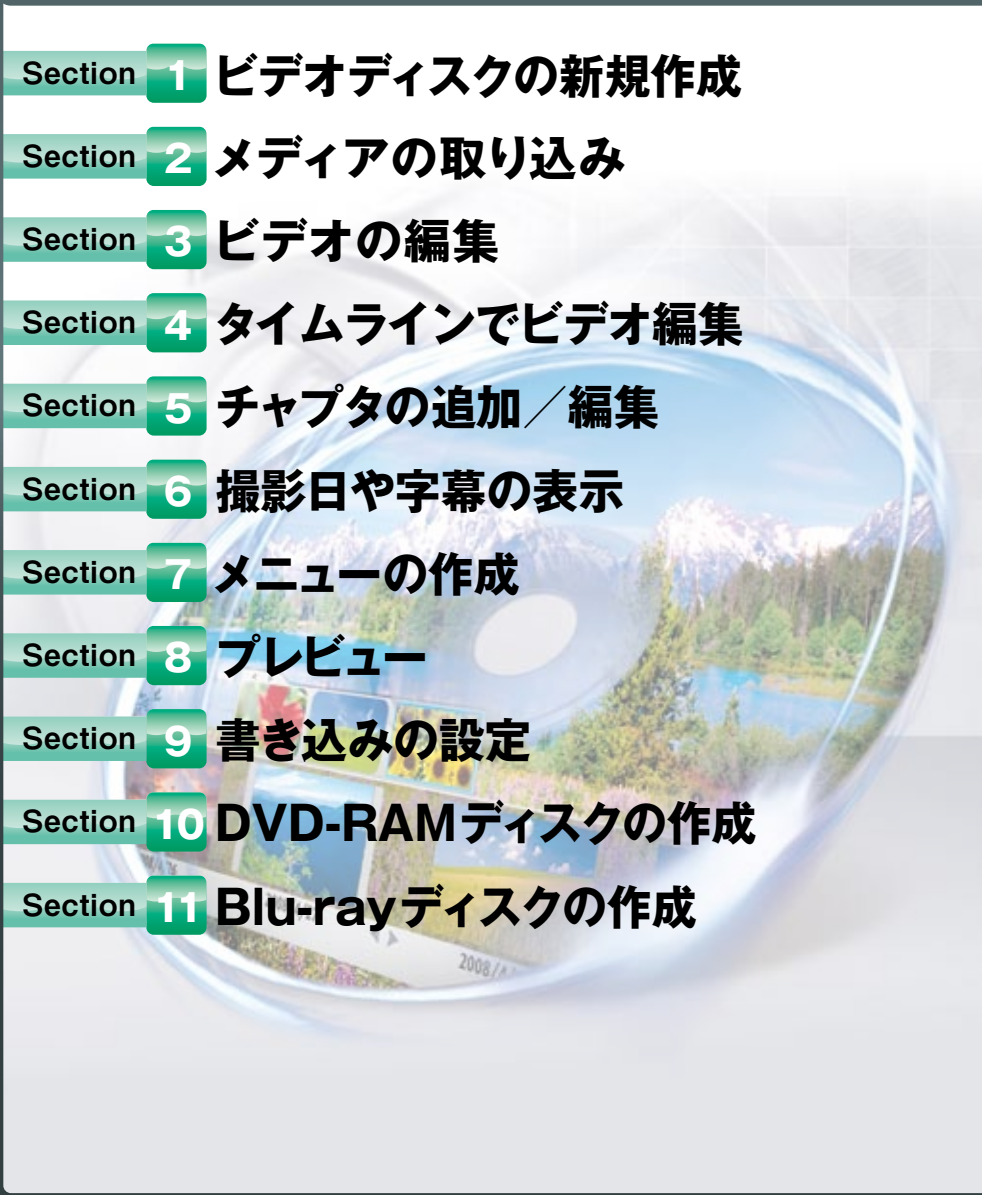


書き込み容量を表すグラフ

「書き込み」ボタン

PART 2

ビデオディスクの作成

- 
- Section 1 ビデオディスクの新規作成
 - Section 2 メディアの取り込み
 - Section 3 ビデオの編集
 - Section 4 タイムラインでビデオ編集
 - Section 5 チャプタの追加／編集
 - Section 6 撮影日や字幕の表示
 - Section 7 メニューの作成
 - Section 8 プレビュー
 - Section 9 書き込みの設定
 - Section 10 DVD-RAMディスクの作成
 - Section 11 Blu-rayディスクの作成

PART 2

Section

1

ビデオディスクの新規作成

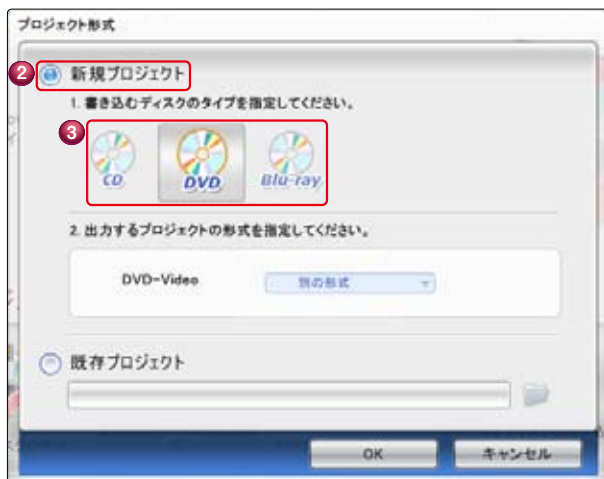
ビデオディスクを作成するには「クイックプロジェクトの開始」から「ビデオディスクの作成」を選択して、DVカメラやビデオテープの映像、ビデオファイルをパソコンに取り込み、新しいBlu-rayやDVDディスクに書き込みます。

- 1 新しくビデオディスクを作成するには、DVD MovieWriterを起動して、「ラウンチャ」画面の「ホーム」タブにある「クイックプロジェクトの開始」から「ビデオディスクの作成」をクリックします。



- 2 「プロジェクト形式」ダイアログボックスが表示されます。ディスクを作成するには、「新規プロジェクト」をクリックします。

- 3 作成するディスクの種類をクリックして選択します。

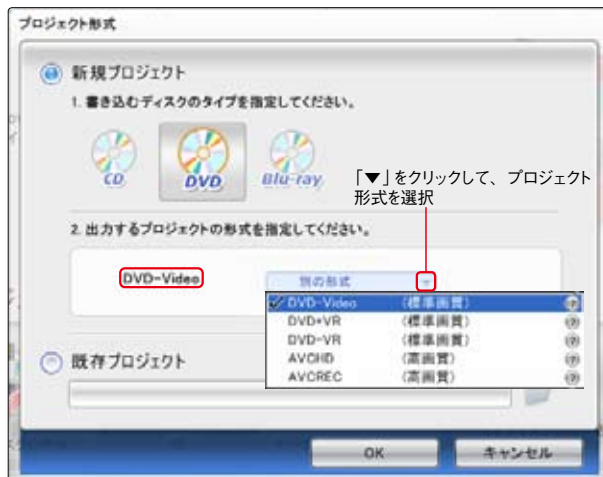


DVD MovieWriterは、作成するディスクに書き込む内容をひとつの「プロジェクト」として管理します。プロジェクトには取り込んだビデオやメニュー画面の設定、ビデオの編集内容が保存されます。

4 各ディスクに書き込み可能なディスクの書き込み形式が表示されます。他の書き込み形式に変更するには「別の形式」の「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューから選択します。

各ディスクの書き込み形式は以下の通りです。

「OK」ボタンをクリックします。



[CD]

CDディスクにビデオを書き込みます。「VCD」はMPEG-1フォーマットでビデオを書き込みます。CD-ROMドライブやVCDプレーヤー、DVDプレーヤーなどで再生できます。「SVCD」はCDディスクに可変ビットレート(VBR)または固定ビットレート(CBR)で、MPEG-2フォーマットでビデオを書き込みます。

[DVD]

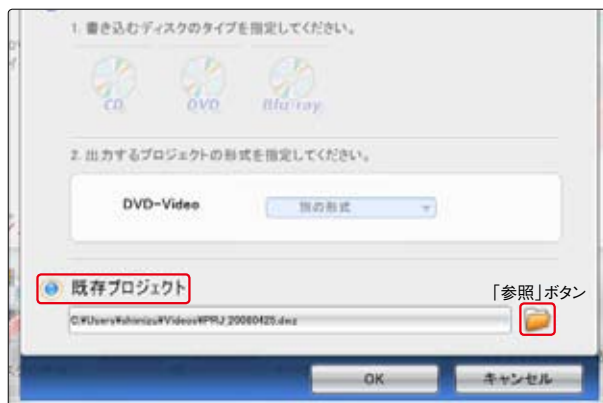
メニュー付きのDVDビデオディスクを作成できます。ディスクの書き込み形式を選択します。DVD-R/+R/+RWディスクはDVD-Video形式を、DVD-RW/RAMディスクはDVD-VR形式を選択します。DVD-VR形式での書き込みでは、メニューは作成できません。

AVCHDに対応したデジタルビデオカメラから映像をハイビジョン画質で取り込み、メニュー付きのDVDディスクを作成するには、「AVCHD」を選択します。

[Blu-ray]

Blu-rayディスクにビデオを書き込みます。ビデオはメニューありの「BDMV」形式とメニューなしの「BD-AV」形式で書き込みます。

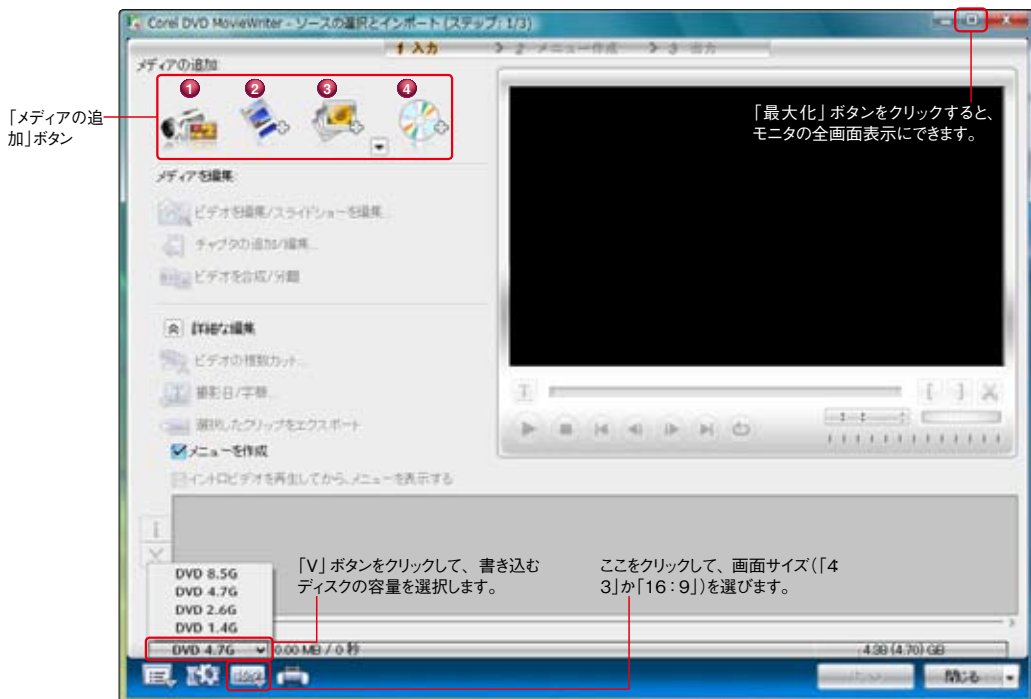
5 すでに作成したプロジェクトを使用するには、「既存のプロジェクト」にチェックを入れます。「参照」ボタンをクリックして、表示される「ファイルを開く」ダイアログボックスで保存したプロジェクトファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。ファイル名が表示されるので、「OK」ボタンをクリックして、「ソースの選択とインポート」画面に進みます。



メディアの取り込み

DVD MovieWriterではDVカメラの映像やビデオテープ、テレビ番組をキャプチャ（パソコンにデータとして取り込むこと）したり、ビデオファイルを取り込んで編集したりすることができます。

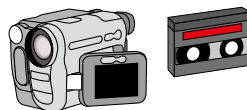
「ソースの選択とインポート」画面では、ディスクに書き込む素材を取り込んで編集します。取り込める素材はDVカメラやビデオデッキ、テレビからの映像、ビデオファイル、デジタルカメラで撮影した写真などです。取り込む素材に合わせて「メディアの追加」ボタンをクリックします。



- 1 **【ビデオ装置からビデオをキャプチャ】** DVカメラの映像やビデオテープ、テレビ番組を取り込むときに選択します。(→P.27へ)
- 2 **【ビデオファイルの追加】** すでにパソコンに保存してあるビデオファイルを取り込むときに選択します。(→P.34へ)
- 3 **【スライドショーの作成】** デジタルカメラで撮影した写真や画像ファイルを読み込むときに選択します。(→P.36へ)
- 4 **【ディスクやハードディスクからDVD-Video/DVD-VR/AVCHDのインポート】** DVDディスクやハードディスク内にあるDVD-VideoやDVD-VRファイル、AVCHDに対応したDVDビデオカメラなどから映像を取り込むときに選択します。(→P.32、35へ)

ビデオの追加

DVテープ型やハードディスク型ビデオカメラの映像、ハードディスクレコーダー、ビデオテープから映像を取り込むには、「ビデオ装置からビデオをキャプチャ」ボタンをクリックします。DVカメラは、DVケーブルでパソコンのIEEE1394 (DV) 端子に接続します。USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続する機種もあります。Hi-8 などのアナログビデオカメラやハードディスクレコーダー、ビデオデッキは、AV ケーブルでパソコンの AV 入力端子に接続します。



「DV テープ」型ビデオカメラ



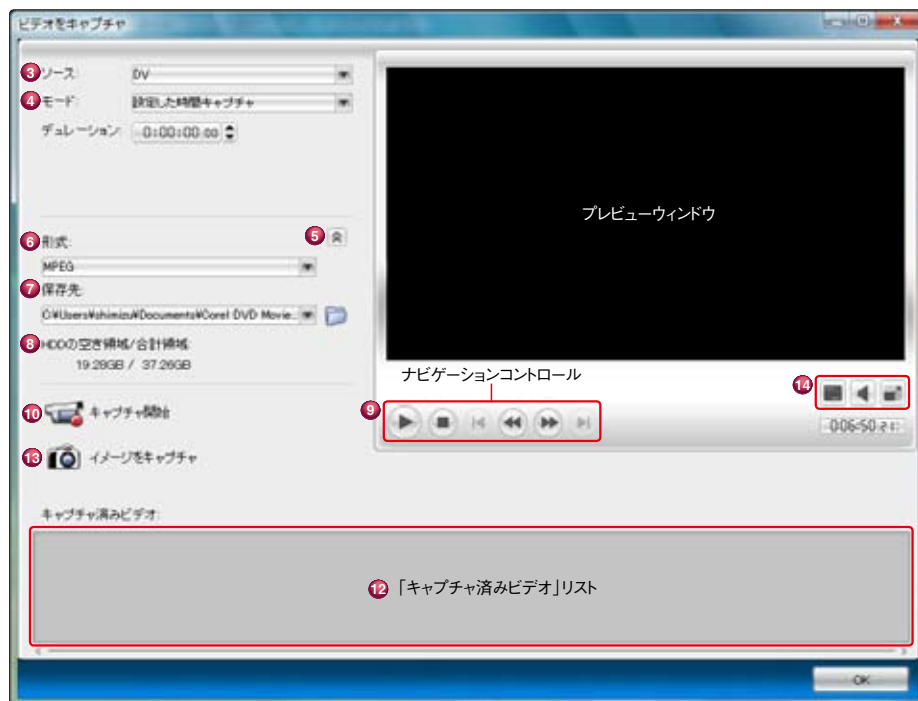
「ハードディスク」型ビデオカメラ

- 1 ビデオ機器から映像を取り込むには、「ソースの選択とインポート」画面の「メディアの追加」から「ビデオ装置からビデオをキャプチャ」ボタンをクリックします。



「ビデオ装置からビデオをキャプチャ」ボタン

- 2 「ビデオをキャプチャ」画面が表示されます。

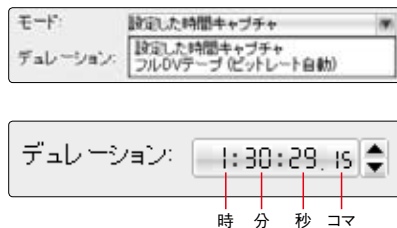


- 3 「ソース」の「▼」ボタンをクリックして、取り込むビデオ機器を選びます。テレビ番組を録画するには、30 ページをお読みください。

- 4** 「モード」の「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューから取り込み方を設定します。

「設定した時間キャプチャ」デュレーションに入力した時間だけキャプチャを行います。何も入力しない場合は、ディスクの空き容量いっぱいまで記録できる時間がキャプチャ時間に設定されます。

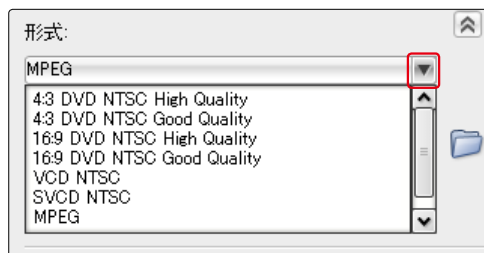
「フルDVテープ」DV機器を接続している場合のみ有効なモードです。一度テープの頭まで巻き戻し、最初から早送りスキャンでテープに収録されている時間を確認。再度頭に巻き戻し、ディスクがいっぱいになるビットレートを自動で設定してキャプチャを行います。



- 5** 「高度なキャプチャ設定」ボタンをクリックすると、ビデオの取り込みに関する細かい設定ができます。

注意 DV機器の動作は機種ごと、または同一機種でも製造時期によって異なる場合があります。すべての機器に対して動作を保証するものではありません。

- 6** 「形式」では、取り込むビデオの形式やコリティを設定します。「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューから選択します。なお、キャプチャするビデオ機器によって、表示されるキャプチャ形式は変わります。



- 7** 「保存先」で取り込むビデオの保存場所を設定します。設定場所を変更するには、「フォルダ」アイコンをクリックします。

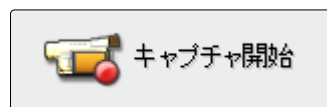


- 8** ハードディスクの容量を確認します。画面には「保存先」に指定したハードディスクの総容量と空いている容量が表示されます。空き容量が少ない場合はハードディスク内のいらないファイルを削除して容量を空けるか、「保存先」で空き容量の多い別のハードディスクを指定します。

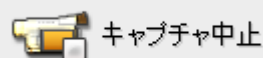
- 9** ナビゲーションコントロールでDVカメラを制御して、取り込みたいビデオの頭出しをします。DVカメラの映像はプレビューウィンドウに表示されます。また、DVカメラの液晶モニターでも確認できます。ビデオ機器の場合は、ビデオ機器側で操作します。



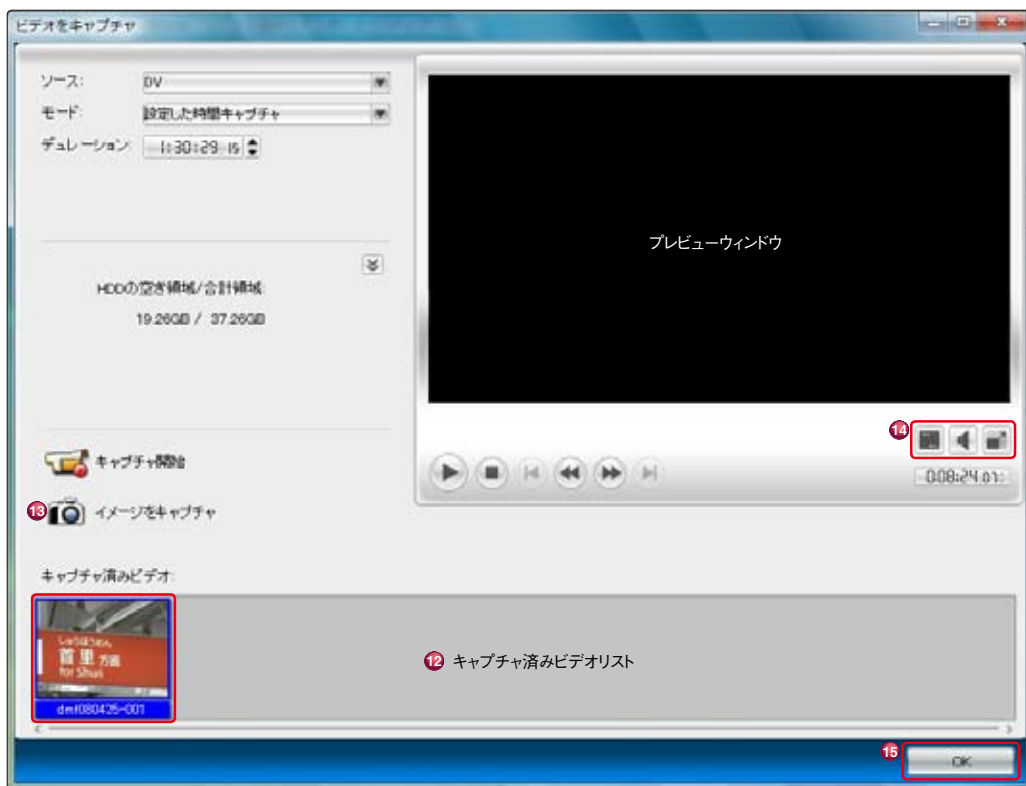
- 10** 取り込み準備が整ったら、「キャプチャ開始」ボタンをクリックします。ビデオの取り込みが始まります。ビデオ機器の場合は、ビデオを再生してから「キャプチャ開始」ボタンをクリックします。



- 11** 必要な映像を取り込んだら、「キャプチャ中止」ボタンをクリックしてビデオの取り込みを終了します。DVカメラやビデオ機器を停止します。



- 12** 取り込んだビデオは、「キャプチャ済みビデオリスト」に表示されます。



- 13** DVカメラやビデオ機器からの映像を一時停止して「イメージをキャプチャ」ボタンをクリックすると、そのシーンを画像ファイルとして保存することができます。

- 14** 「プレビューウィンドウ」の下には、ビデオの取り込みをサポートするツールが用意されています。

[オンスクリーンディスプレイ情報]
音量などの情報をプレビューウィンドウに表示します。



[全画面表示]ビデオの映像がパソコンのモニタにフル表示されます。ダブルクリックすると、元のサイズに戻ります。

[音量]ビデオの取り込み時にボリュームを調整します。音声の取り込み音量には影響しません。

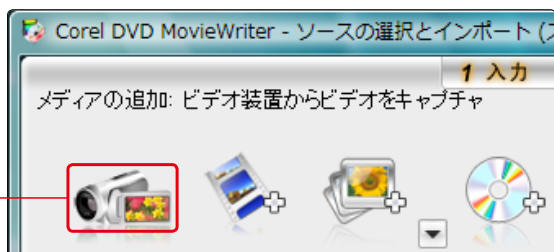
- 15** ビデオの取り込みが終了したら、「OK」ボタンをクリックします。「ソースの選択とインポート」画面に戻ります。

テレビ番組の録画

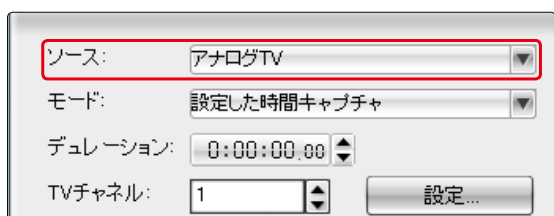
ソフトウェアエンコードタイプのテレビチューナーカード／ユニットを搭載しているパソコンでは、テレビ番組を録画して、Blu-rayやDVDディスクに書き込むことができます。取り込んだテレビ番組のCMをカットして、連続ドラマなどのライブラリをつくることができます。

- 1 テレビ番組を録画するには、「ソースの選択とインポート」画面の「メディアの追加」から、「ビデオ装置からビデオをキャプチャ」ボタンをクリックします。

「ビデオ装置からビデオをキャプチャ」ボタン



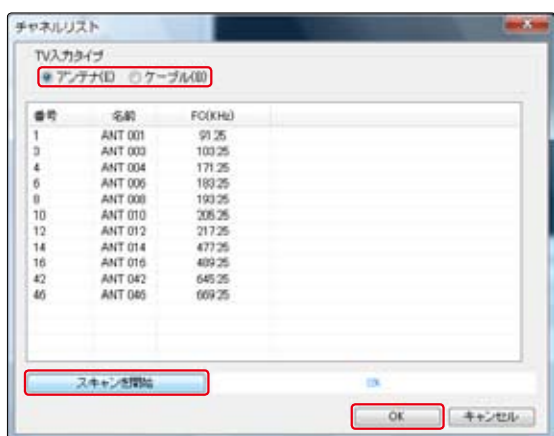
- 2 「ソース」から「アナログTV」を選択します。



- 3 はじめて使用するとき、 「チャンネルスキャン」を実行するかを確認するダイアログボックスが表示されるので、「OK」をクリックします。



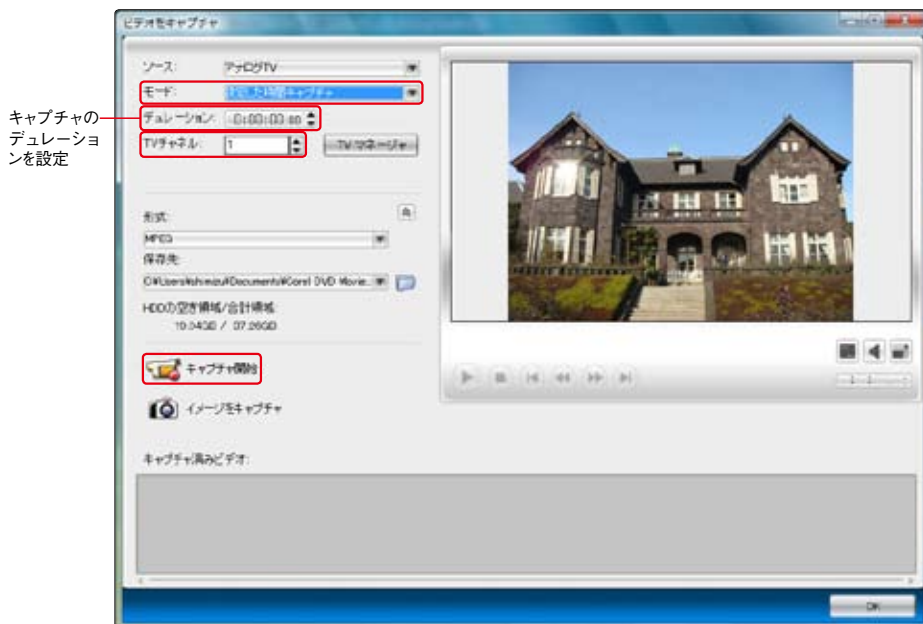
- 4 「チャンネルリスト」ダイアログボックスが表示されます。「TV 入力タイプ」で「アンテナ」か「ケーブル」（ケーブルテレビの場合）にチェックを入れます。「スキャンを開始」ボタンをクリックすると、視聴できるチャンネルが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



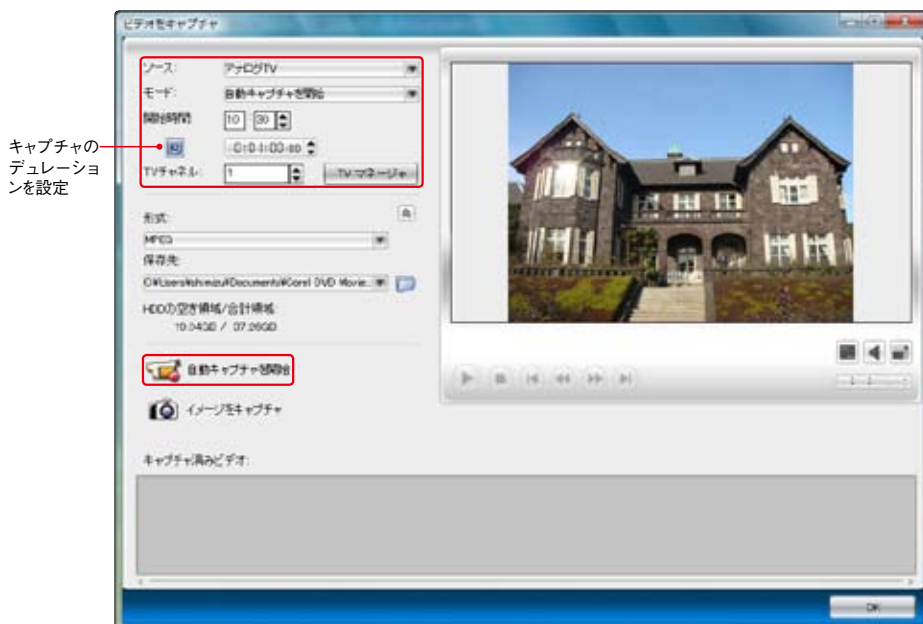
注意

テレビチューナーやビデオデッキなどから映像を取り込む場合は、ソフトウェアエンコードタイプのキャプチャ機器に接続してください。ハードウェアエンコードタイプのキャプチャ機器からは取り込めません。

- 5 「TVチャンネル」の「▲」「▼」ボタンをクリックしてチャンネルを合わせます。「モード」から「設定した時間キャプチャ」を選択して、「キャプチャ開始」ボタンをクリックします。
「キャプチャのデュレーションを設定」に取り込み時間を入力すると、設定時間分だけ録画されます。



- 6 予約録画するには、「TVチャンネル」で録画するチャンネルを選び、「モード」から「自動キャプチャを開始」を選択して、「開始時間」を入力します。「キャプチャのデュレーションを設定」に録画時間を入力して、「自動キャプチャを開始」ボタンをクリックします。



AVCHD に対応したデジタルビデオカメラからの取り込み

AVCHD 規格に対応したDVD ディスクタイプやSD カードタイプ、ハードディスクタイプのデジタルビデオカメラから映像を取り込むことができます。ハイビジョン映像を編集してDVD に書き込むことができます。



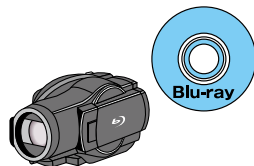
AVCHD 対応の「SD カード」型ビデオカメラ



AVCHD 対応の「DVD ディスク」型ビデオカメラ



AVCHD 対応の「ハードディスク」型ビデオカメラ



AVC/H.264 対応の「ブルーレイディスク」型ビデオカメラ

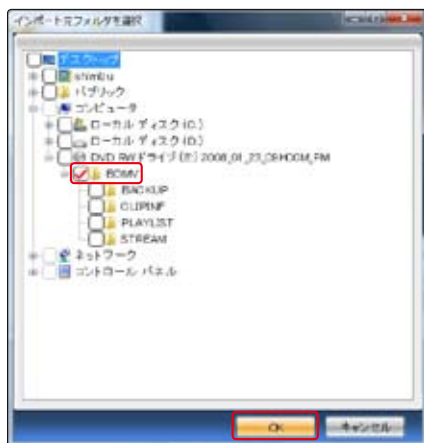


- 1 DVD ディスクやSD カードをパソコンにセットして、「ディスクかハードディスクからDVD-Video/DVD-VR/AVCHDをインポート」ボタンをクリックします。

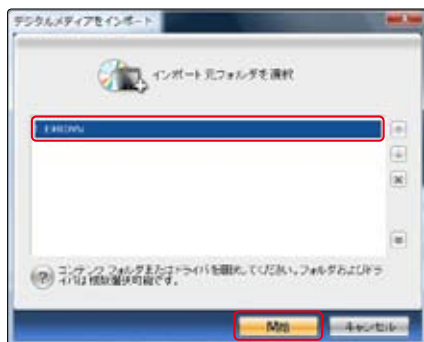


「ディスクかハードディスクからDVD-Video/DVD-VR/AVCHDをインポート」ボタン

- 2 「インポート元フォルダを選択」ダイアログボックスが表示されます。取り込む映像が保存されているフォルダにチェックを入れて「OK」ボタンをクリックします。



- 3 「デジタルメディアをインポート」ダイアログボックスで取り込むフォルダをクリックして、「開始」ボタンをクリックします。

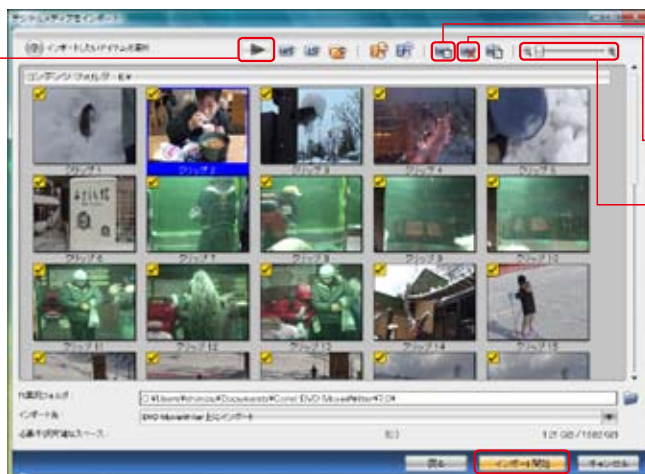


4 映像がクリップで表示されます。取り込みたい映像クリップにチェックを入れて、「インポート開始」ボタンをクリックします。

クリップの映像を確認するにはクリップをクリックして、「クリップのプレビュー」ボタンをクリックします。「プレビュー」画面が表示されるので、「再生」ボタンをクリックします。



「再生」ボタン

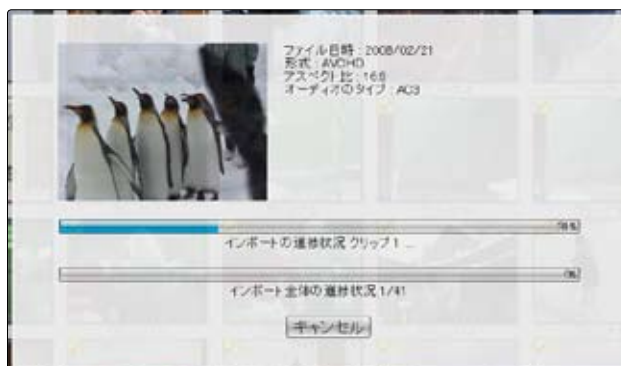


「すべてのクリップを選択」ボタン
すべてのクリップを選択します

「すべて解除」ボタン
すべての選択を解除します

「サムネイルのサイズ変更」
スライダーをドラッグして、クリップの表示を見やすいサイズに変更します

5 映像が取り込まれるので、しばらく待ちます。



6 映像の取り込みが終了すると、「ソースの選択とインポート」画面に戻ります。取り込んだ映像はビデオクリップとしてメディアリストに表示されます。



ビデオファイルの追加

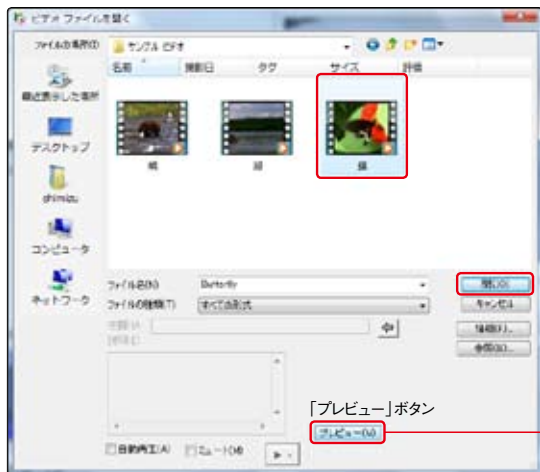
すでにハードディスクなどに保存されているビデオファイルを使用することができます。DVD MovieWriterで扱えるビデオファイルは、MPEG-1、MPEG-2、MPEG-4、WMV、MOV、AVI、DivXです。

- 1** ビデオファイルを追加するには、「ビデオファイルを追加」ボタンをクリックします。

「ビデオファイルを追加」ボタン

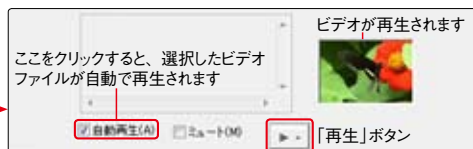


- 2** 「ビデオファイルを開く」ダイアログが表示されます。ビデオファイルが収録されているフォルダを選択して、使用するビデオファイルを選択します。選択したビデオファイルをクリックして「プレビュー」ボタンをクリックすると、ビデオファイルが表示されます。「再生」ボタンをクリックするとビデオが再生され、内容が確認できます。複数のビデオファイルを選ぶには、「Ctrl」キーを押しながらビデオファイルをクリックします。「開く」ボタンをクリックします。



ビデオ

複数のビデオファイルを選択した場合、「クリップの並べ替え」ダイアログボックスが表示されます。ここでメディアリストに表示する順番を入れ替えることができます。ビデオファイルをクリックして再生する箇所にドラッグします。



- 3** 取り込んだビデオファイルは、メディアリストに表示されます。



「再生」ボタン

「i」ボタン：ビデオの情報（サイズや容量など）を表示します

「x」ボタン：不要なビデオを選択して削除します

DVDビデオの映像を取り込む

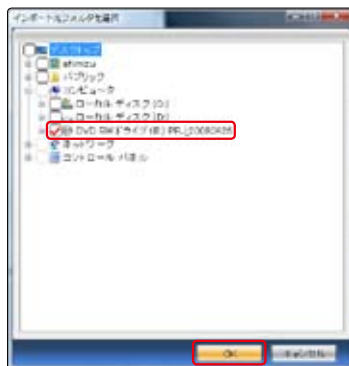
すでに作成したDVDディスクやハードディスクに保存してあるDVD形式のビデオを取り込むことができます。なお、市販の著作権が保護されているDVDビデオなどからは、映像を追加することはできません。

- 1 DVDディスクをパソコンにセットして、「ディスクかハードディスクからDVD-Video/DVD-VR/AVCHDをインポート」ボタンをクリックします。



「ディスクかハードディスクからDVD-Video/DVD-VR/AVCHDをインポート」ボタン

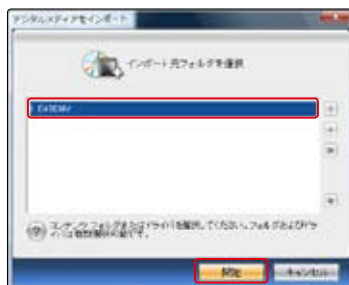
- 2 「インポート元フォルダを選択」ダイアログボックスが表示されます。取り込む映像が保存されているディスクドライブやフォルダにチェックを入れて「OK」ボタンをクリックします。



注意

DVDビデオから写真や画像ファイルで作成したスライドショーを取り込む場合、スライドショーによっては設定されたBGMを取り込むことができない場合があります。

- 3 「デジタルメディアをインポート」ダイアログボックスで取り込むディスクドライブやフォルダをクリックして、「開始」ボタンをクリックします。



注意

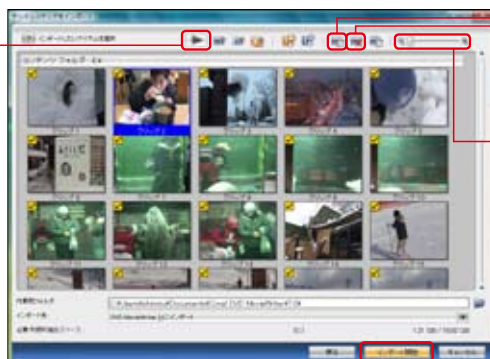
市販の著作権が保護されているDVDビデオなどからは、映像を追加することはできません。

- 4 映像がクリップで表示されます。取り込みたい映像クリップにチェックを入れて、「インポート開始」ボタンをクリックします。

クリップの映像を確認するにはクリップをクリックして、「クリップのプレビュー」ボタンをクリックします。「プレビュー」画面が表示されるので、「再生」ボタンをクリックします。



「再生」ボタン



「すべてのクリップを選択」ボタン
すべてのクリップを選択できます

「すべて解除」ボタン
すべての選択を解除します

「サムネイルのサイズ変更」
スライダーをドラッグして、クリップの表示を見やすいサイズに変更します

写真などの画像の取り込み

DVD MovieWriterでは、デジタルカメラで撮影した写真や画像ファイルを取り込むことができます。取り込んだ画像は、スライドショーにしてDVDディスクに書き込むことができます。スライドショーにはBGMをつけたり、画像と画像が切り替わる時に映像効果を付けたりすることができます。

- 1 写真などの画像を取り込んでスライドショーをつくるには、「スライドショーの作成」ボタンをクリックします。

TIPS

使用できる画像のファイル形式はBMP、JP2、JPC、JPG、TIF、PNG、TGAです。



複数のフォルダにある写真をすべて取り込むには、「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「一括収集」をクリックします。表示される「一括収集」ダイアログボックスで、取り込むフォルダを指定します。

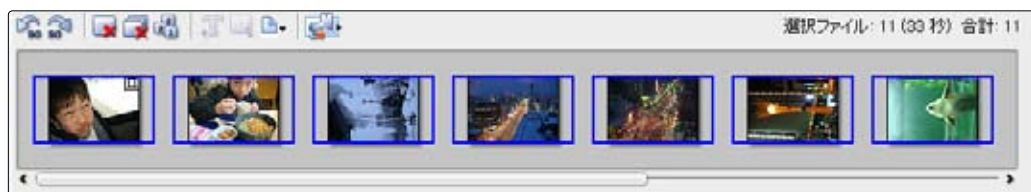
- 2 「スライドショーを追加」画面が表示されます。左のウィンドウから取り込みたい写真などの画像が入っているフォルダを選択すると、右のウィンドウに画像のサムネイルが表示されます。ここから取り込む画像をクリックして選択し、「写真を追加」ボタンをクリックします。



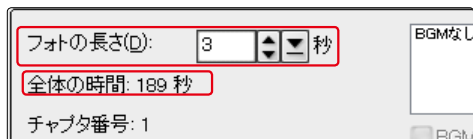
ポイント

フォルダ内のすべての写真を選ぶには、「すべて追加」ボタンをクリックします。複数の写真を選択する場合は、「Ctrl」キーを押しながら写真をクリックして、「写真を追加」ボタンをクリックします。

- 3 追加した写真は、リストに表示されます。



- 4** 1枚の写真を表示する時間は、「フォトの長さ」で秒数を設定します。下側にはスライドショー全体の再生時間が表示されます。



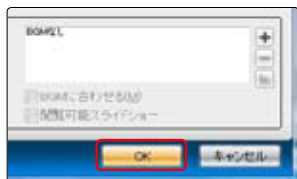
- 5** スライドショーにはBGMを付けることができます。「BGMを設定」ボタンをクリックして、表示される「オーディオファイルを開く」ダイアログから音楽ファイルを選択します。「BGMに合わせる」にチェックを入れると、BGMの再生時間ちょうどで写真が表示されるように、1枚の写真の表示時間を調整してくれます。



- 6** スライドショーを確認するには、「プレビュー」ボタンをクリックします。



- 7** スライドショーにする写真が用意できたら、「OK」ボタンをクリックします。「ソースの選択とインポート」画面のメディアリストに、スライドショーが表示されます。



静止画は、500枚まで追加することができます。

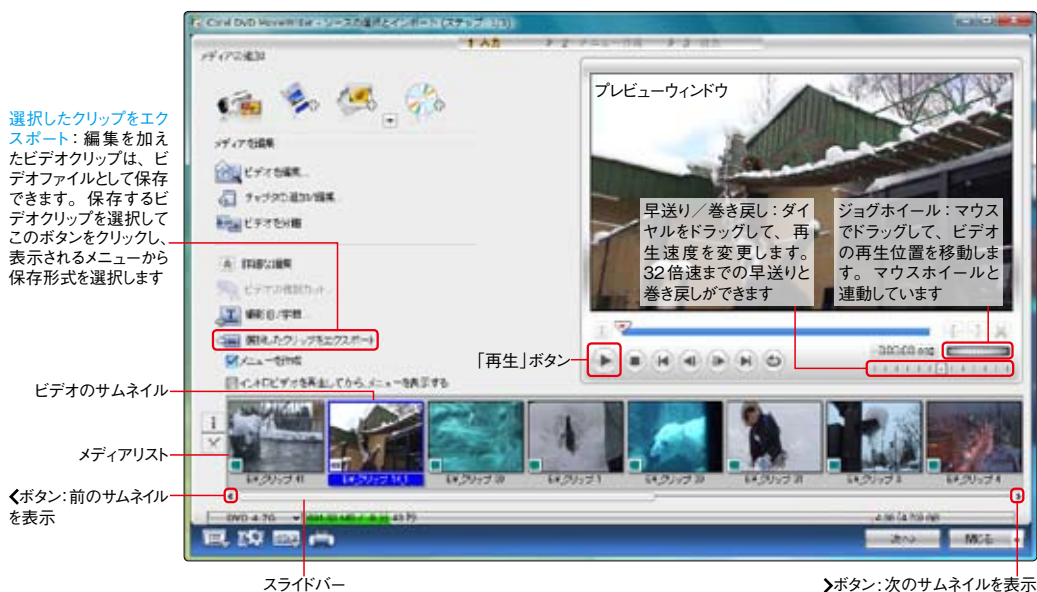
スライドショーではその他にも「パン&ズーム」や「トランジション効果」をはじめ、写真の表示の豊富な機能が用意されています。さらに編集を加えるにはP.106の「スライドショーディスクの作成」をお読みください。

ビデオの編集

取り込んだビデオの先頭や終わりのいらない部分を取り除いたり、ビデオの分割や結合を行ったりして、ディスクに書き込むビデオを編集します。

取り込んだビデオの確認

- 取り込んだビデオやスライドショーは、「メディアリスト」にサムネイルで表示されます。いくつかの素材を取り込んだ場合は、スライドバーや三角ボタンを使ってメディアリストに表示します。



- 取り込んだビデオの内容を確認するには、メディアリストからビデオクリップを選択します。選択したビデオがプレビューウィンドウに表示されます。ナビゲーションコントロールの「再生」ボタンを押すと、ビデオが再生されます。
- 確認していない映像は、ビデオクリップを選択し、「×」ボタンをクリックして削除します。また、ビデオクリップをクリックして「i」ボタンをクリックすると、その映像の情報が表示されます。

選択したビデオクリップの情報を表示



選択したビデオクリップを削除

ビデオクリップをクリック

再生の順番を入れ替える

ビデオの再生順を入れ替えるには、メディアリストでビデオクリップをドラッグします。移動する位置に黄色い線が表示されるので、そこでビデオクリップを離します。

TIPS

DVD MovieWriterは「16:9」のワイド画面に対応しています。「4:3」で取り込んだビデオは、映像を拡張したり上下をカットすることなく、元映像のアスペクト比を維持したままで「16:9」のワイド映像に変換することができます。操作については、「表示アスペクト比」(→P.83)をお読みください。



オープニングムービーの作成

DVDディスクをドライブにセットすると、自動でオープニングムービーが流れるようになります。オープニングムービーにしたいビデオクリップをメディアリストの先頭に配置して、「イントロビデオを再生してから、メニューを表示する」にチェックを入れます。

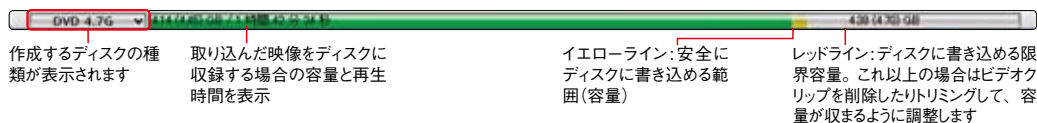


注意

オープニングムービーは、ディスクを入れたときだけに再生され、本編ではメニューに表示されません。リモコンなどで何度も再生したい場合は、オープニングムービーをもう一度取り込んで、メディアリストに配置します。

ディスク容量の確認

画面下の部分に現在の設定でどのぐらいのディスク容量になるかの目安が表示されます。これを参考に、ファイル数やビットレート、音声形式を調整します。

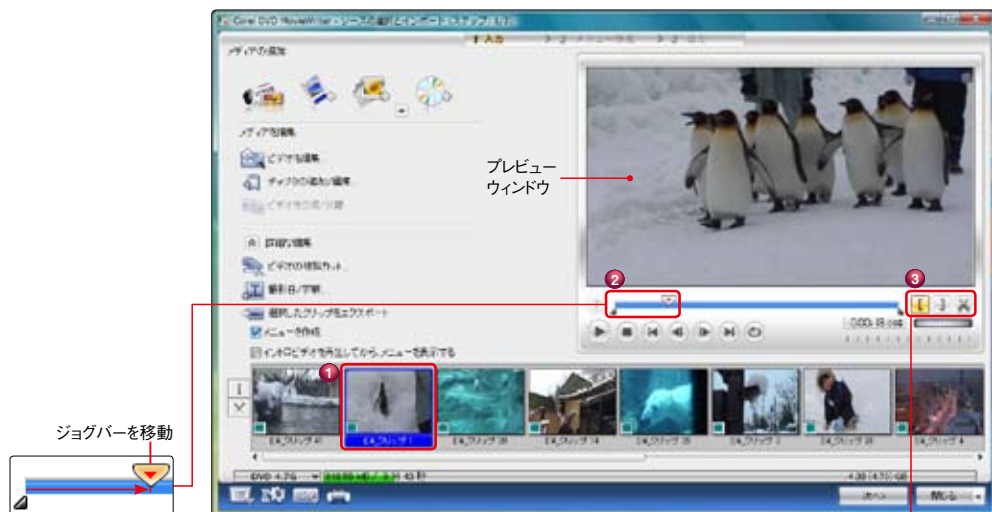


カット編集

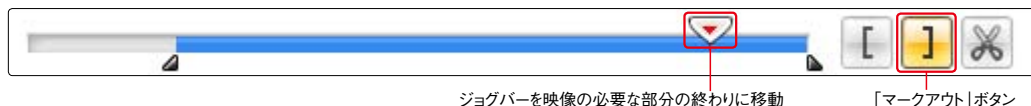
DVD MovieWriterでは、取り込んだビデオのカット編集ができます。DVテープやビデオテープなどからビデオをキャプチャしたときに、先頭や終わりにいらぬ映像まで取り込んでしまう場合があります。そんなときはいらぬ部分をカットして必要なビデオだけにします(ビデオのトリミング)。

また、パソコンに保管してあるビデオファイルやDVDディスクから取り込んだビデオのカット編集をすることもできます。

- 1 「メディアリスト」からトリミングするビデオクリップをクリックして選択します。
- 2 選択したビデオクリップの映像がプレビューウィンドウに表示されます。ジョグバーを使用する映像の先頭に移動します。



- 3 「マークイン」ボタンをクリックすると、その位置から映像が再生されます。
- 4 映像の終わりのいらぬ部分を取り除くには、ジョグバーを必要な映像の終わりに移動して、「マークアウト」ボタンをクリックします。



ビデオを1コマずつ移動するには、「次のフレームへ」や「前のフレームへ」ボタンをクリックします。

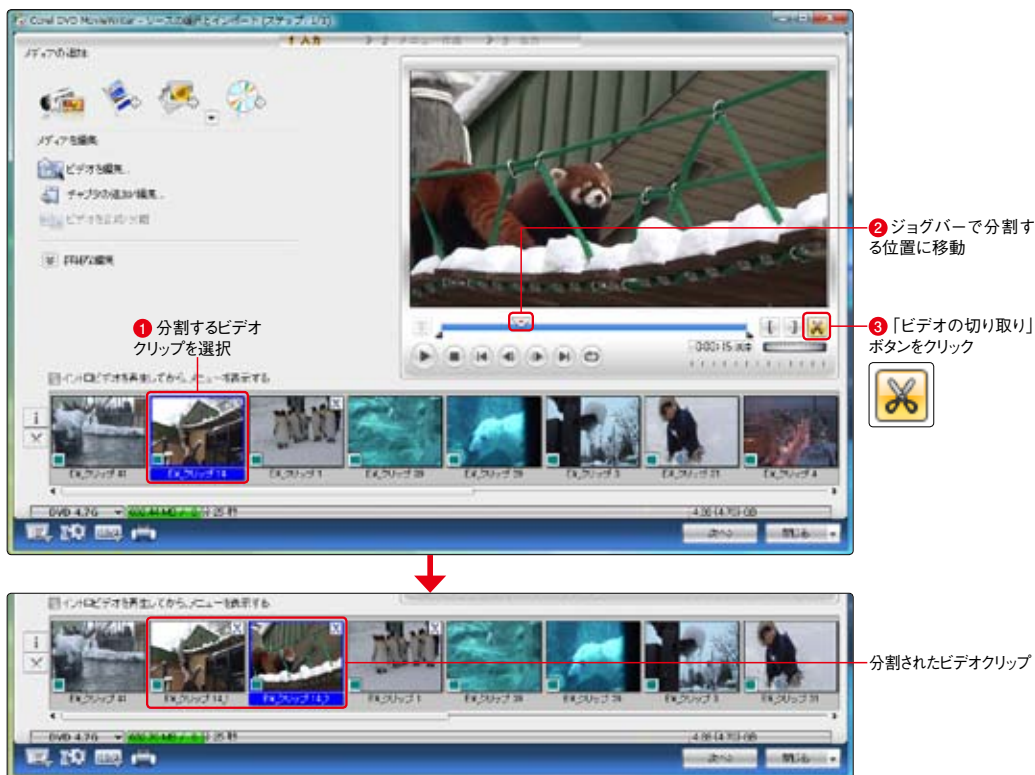


- 5** ビデオのいらない部分がカットされた映像ができあがります。同様に他のビデオのイン点とアウト点を設定します。



ビデオの分割

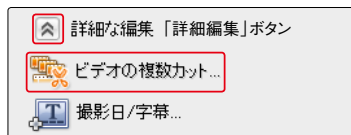
ビデオを分割するには、分けたい位置にジョグバーを移動して、「ビデオの切り取り」ボタンをクリックします。メディアリストには、分割した前半と後半の2つのビデオクリップに分かれて表示されます。



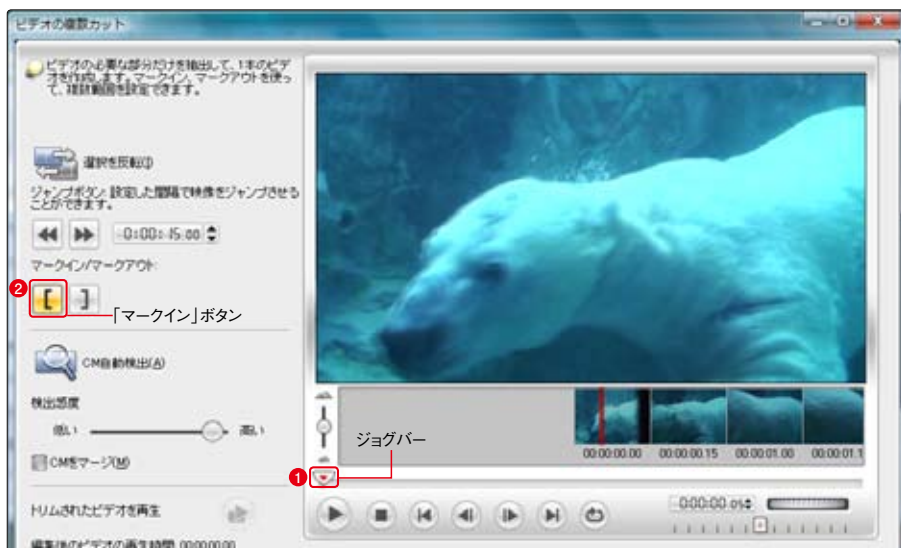
CMや不要なシーンを一度にカット

「ビデオの複数カット」を使うと、ビデオクリップのなかで、いらないシーンだけをカットすることができます。DVテープから不要なシーンだけをカットしたり、録画したテレビ番組から必要なシーンだけを一度に取り出すときなどに便利です。

- 1 「ビデオの複数カット」を使うには、「詳細編集」ボタンをクリックします。途中をカットしたいビデオクリップを選択して、「ビデオの複数カット」ボタンをクリックします。

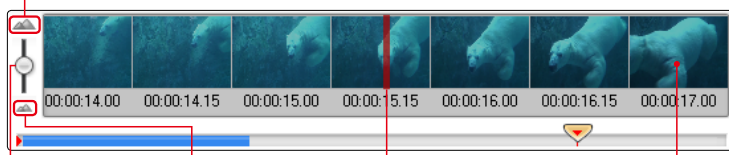


- 2 「ビデオの複数カット」画面が表示されます。ジョグバーを移動して、映像の必要部分の先頭で「マークイン」ボタンをクリックします。



- 3 「マークイン」点や「マークアウト」点を正確に設定するには、「フレーム表示」ウィンドウで確認します。初期設定では15フレームごとに表示され、ジョグバーの位置は赤いラインで表示されます。表示するフレーム間隔を変更するには、ズームボタンをクリックします。フレーム間隔を大きくするには「ズームイン」ボタンを、間隔を狭くするには「ズームアウト」ボタンをクリックします。

「ズームイン」ボタン

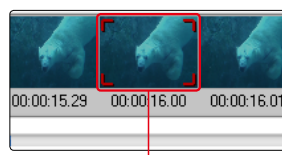


このボタンを上下にドラッグしてもフレーム間隔を変更することができます。

「ズームアウト」ボタン

ジョグバーの表示位置

フレーム表示



拡大率を最大にすると、1フレーム単位で編集できます。ウィンドウには選択されたフレームが赤い枠で囲まれます。

- 4 必要な映像の最後の位置にジョグバーを移動して、「マークアウト」ボタンをクリックします。



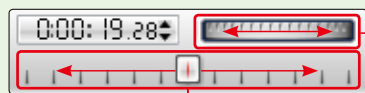
- 5 不要な部分を飛ばして、次に必要な映像の先頭で「マークイン」ボタンをクリックし、必要な映像の終わりの部分で「マークアウト」ボタンをクリックします。



- 2 必要な映像の終わりにジョグバーで移動して「マークアウト」ボタンをクリック

TIPS

映像の頭出しには、「ジョグホイール」や「倍速巻き戻し／早送り」を使うと素早く操作できます。「倍速巻き戻し／早送り」で頭出ししたい大まかな位置に移動して、「ジョグホイール」で目的のフレームに移動します。



ジョグホイール：マウスでドラッグして、ビデオの再生位置を移動します。右にドラッグすると次のフレームへ、左にドラッグすると巻き戻します。マウスホイールと連動していて、マウスホイールを下に回すと次のフレームへ、上に回すと巻き戻します。

「早送り／巻き戻し」ボタン：ダイヤルをドラッグして、再生速度を変更します。ボタンを右にドラッグすると早送り、左にドラッグすると巻き戻しができます。32倍速までの早送りと巻き戻しができます。

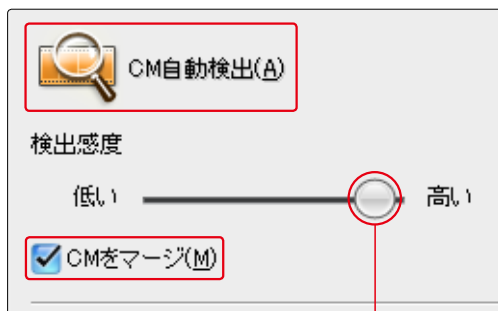
- 6** 必要なビデオ部分だけが「ビデオリスト」に表示されます。この作業を何回か繰り返して、ビデオの必要な部分だけを抽出します。「OK」ボタンをクリックすると、必要な映像だけがつながったビデオができあがります。



ヒント

「マークイン」や「マークアウト」は、ひとつのビデオクリップにいくつも設定できます。

- 7** 録画したテレビ番組からCMを切り取って番組本編だけを自動でつなげることができます。「CM自動検出」ボタンをクリックすると、番組とCMが分離されて「ビデオリスト」に表示されます。「CMをマージ」にチェックを入れると、1本ずつ表示されていたCMのビデオクリップがひとつに結合されます。CMのビデオクリップを削除します。これで本編だけのテレビ番組になります。

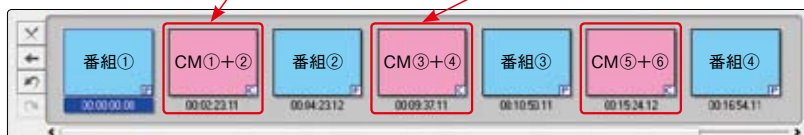


CMがうまくカットされていない場合は、「検出感度」のボタンを「高い」にドラッグして、再度「CM自動検出」ボタンをクリックしてください。

「CM自動検出」の結果。番組のビデオクリップには[P]マークが、CMのビデオクリップには[C]マークが付きます。



「CMをマージ」の結果。CMが結合されます。CMを削除して本編だけにします。



注意

録画したテレビ番組によっては、CMを正常に検出できない場合もあります。

- 8** チャプタとして設定するかを確認するダイアログで「はい」をクリックすると、複数の分割したビデオクリップごとにチャプタが設定されます。



ビデオの結合と分離

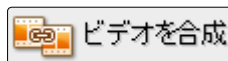
メディアリストに表示されているビデオクリップは、「メニューの作成」(→P.60)でメニュー画面を作成した場合、各ビデオクリップがメニュー項目として表示されます。

複数のビデオクリップをひとつのビデオとして表示したり再生したりするには、ビデオクリップを結合します。

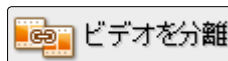
- 1** メディアリストで、「Ctrl」キーを押しながら結合するビデオクリップを選びます。



- 2** 「ビデオを結合」ボタンをクリックすると、ひとつのビデオクリップになります。



- 3** 一度結合したビデオを元に戻すには、結合したビデオクリップを選択して、「ビデオを分割」ボタンをクリックします。



ヒント

「メディアを編集」では、選択したビデオクリップによって作業できる項目が限定されたり、異なって表示されます。

メディアを編集:

- ビデオを編集...
- チャプタの追加/編集...
- ビデオを合成/分離

選択したビデオクリップによって表示される項目が変わったり、操作できない機能があります。

ヒント

ビデオのワンシーンを静止画にして保存することができます。プレビュー画面を右クリックして、表示されるメニューから「イメージをキャプチャ」を選択します。表示される「名前を付けて保存」ダイアログボックスで、「ファイル名」を付けて「保存」ボタンをクリックします。静止画はメニュー画面の背景に使用することができます。

「プレビュー画面」を右クリックして、「イメージをキャプチャ」をクリック



ヒント

作成したスライドショーを編集するには、メディアリストからスライドショーを選択し、「スライドショーを編集」ボタンをクリックします。「スライドショーの編集」画面が表示されるので、ここで再編集します。

メディアを編集:

- スライドショーを編集...

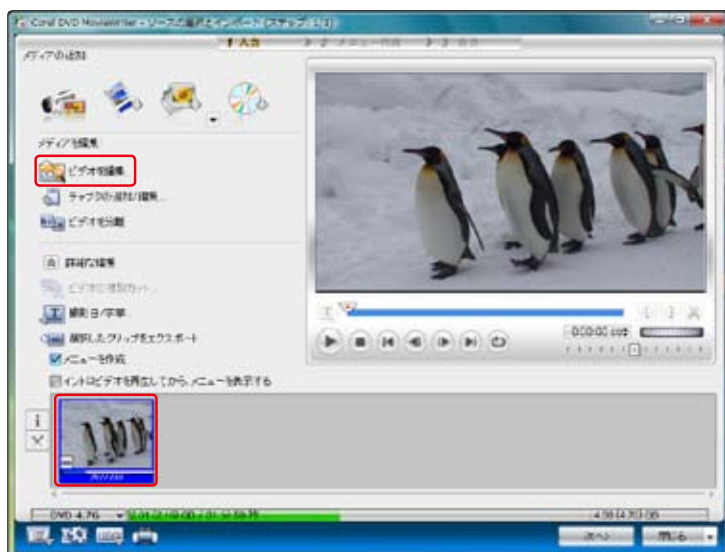
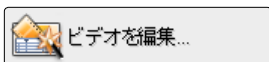
タイムラインでビデオ編集

DVD MovieWriterには、簡易ビデオ編集機能を搭載しています。取り込んだビデオにタイトルなどのテキストを追加したり、BGMやチャプタをつけたりすることができます。また、テーマを選ぶだけの「おまかせ編集」機能も搭載しています。

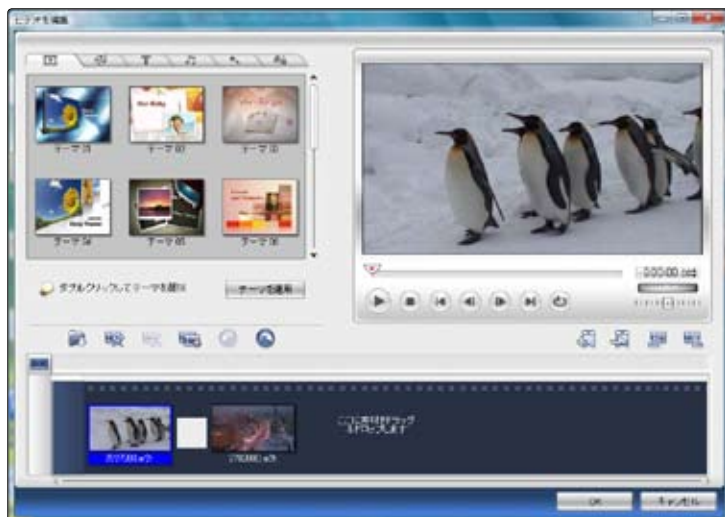
簡易ビデオ編集

DVD MovieWriterには簡易ビデオ編集機能が搭載され、取り込んだビデオクリップを「ストーリーボード」や「タイムライン」に並べて編集したり、タイトルやBGM、チャプタを付けることができます。

- 1** 取り込んだビデオを編集するには、ビデオクリップを選択して「ビデオを編集」ボタンをクリックします。



- 2** 「ビデオを編集」画面が表示されます。ここでおまかせ編集やテキスト、BGM、ナレーション、ビデオの切り替え効果を追加することができます。



おまかせ編集

「テーマ」は、作成したビデオにオープニングビデオやエンドビデオが自動で付き、ビデオとビデオが切り替わるときに効果がつきます。これらがセットになっていて、テーマを選ぶだけでビデオが編集されます。

1 おまかせ編集を行うには、「テーマ」タブをクリックします。一覧から「テーマ」をクリックして、「テーマを適用」ボタンをクリックします。

2 ビデオにテーマが適用されて、オープニングのビデオやビデオの切り替え効果、BGMが自動で挿入されます。



オープニングビデオが挿入されます

ビデオの切り替え効果が追加されます

エンドビデオが挿入されます

■「テーマ」を適用した例



ビデオの先頭にはオープニングビデオが、ビデオとビデオの間に切り替え効果が、ビデオの終わりにエンドビデオが挿入されます。

3 ビデオの編集は、大まかに編集する「ストーリーボード」と1コマ単位で詳細に編集する「タイムライン」を切り替えて行います。

■ストーリーボード

「タイムラインに切り替え」ボタン



■タイムライン

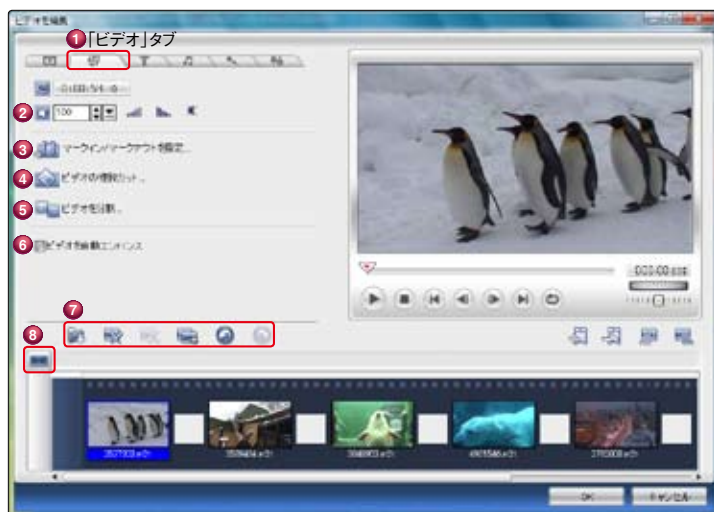
「ストーリーボードに切り替え」ボタン



ビデオをまとめて編集

- 1** ビデオのトリミングやCMカット、分割、チャプタ設定をまとめて行うには、「ビデオ」タブをクリックします。

編集を行った後は、「OK」ボタンをクリックします。「ソースの選択とインポート」画面に戻ります。



- 2** ビデオと同時に取り込んだ音声は、「オーディオ音量」で調整します。徐々に音声が大きくなる「フェードイン」や徐々に小さくなる「フェードアウト」、音声を消してビデオ映像のみにする「ミュート」の設定ができます。



- 3** ビデオクリップを選択して「マークイン／マークアウト」ボタンをクリックすると、「ビデオのトリム」画面が表示されます。

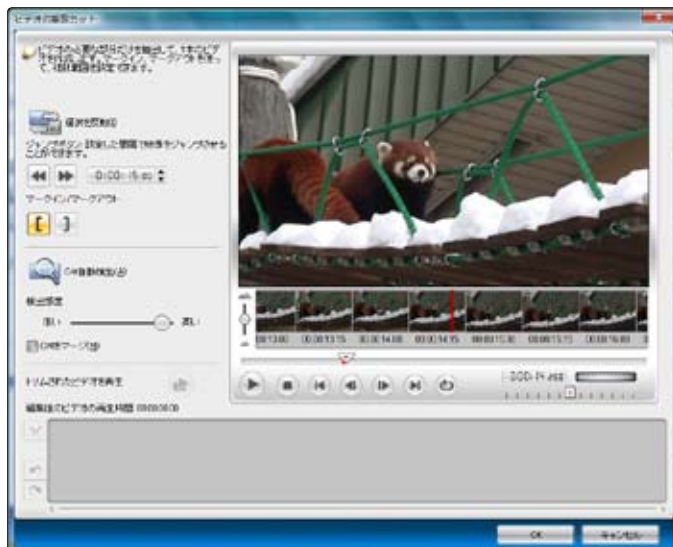
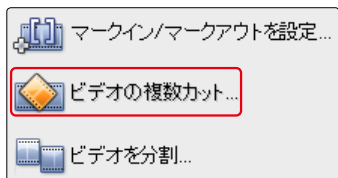
ビデオの必要な部分の先頭を「ナビゲーションコントロール」や「ジョグバー」、「ジョグホイール」、「早送り／巻き戻し」スライダで頭出しをして、「マークイン」ボタンをクリックします。

同じようにビデオの必要な部分の最後に移動して、「マークアウト」ボタンをクリックします。これで、ビデオの必要な部分だけの映像ができあがります。

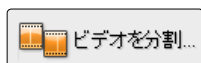
「OK」ボタンをクリックすると、「ビデオを編集」画面に戻ります。



- 4 「ビデオの複数カット」ボタンをクリックすると、「ビデオの複数カット」画面が表示されます。ここではテレビ番組からCMだけをカットしたり、必要なシーンだけをまとめることができます。詳しい操作方法は42ページを参照してください。



- 5 「ビデオを分割」ボタンをクリックすると、「シーンで分割」画面が表示されます。「一定間隔」にチェックを入れて時間を設定すると、設定した時間ごとにクリップが分割されます。「自動シーン検出」にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックすると、シーンの変わり目を自動で探してクリップを分割します。DVDのメニュー画面から各シーンを選んで再生する場合などに便利です。



ここにチェックを入れると、分割したクリップとクリップの間にビデオの切り替え効果が自動で挿入されます。



- 6 「ビデオを自動エンハンス」は、ビデオの色味を補整します。暗く撮影されたビデオなどを選択してこのボタンにチェックを入れると、自動でビデオの明度とコントラストを調整してくれます。

☒ ビデオを自動エンハンス

- 7 「ストーリーボード」や「タイムライン」の上には、便利なツールが並んでいます。これらを使用して効果的にビデオを編集します。各ツールは、どのタブの編集でも有効です。



- 8 ビデオの編集は、大まかに編集する「ストーリーボード」と1コマ単位で詳細に編集する「タイムライン」を切り替えて行います。

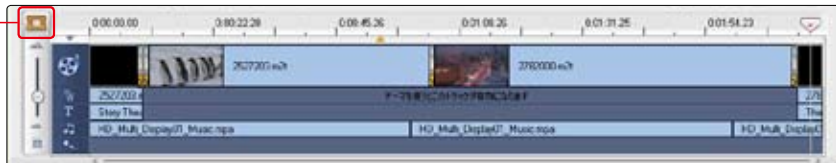
■ストーリーボード

「タイムラインに切り替え」ボタン



■タイムライン

「ストーリーボードに切り替え」ボタン

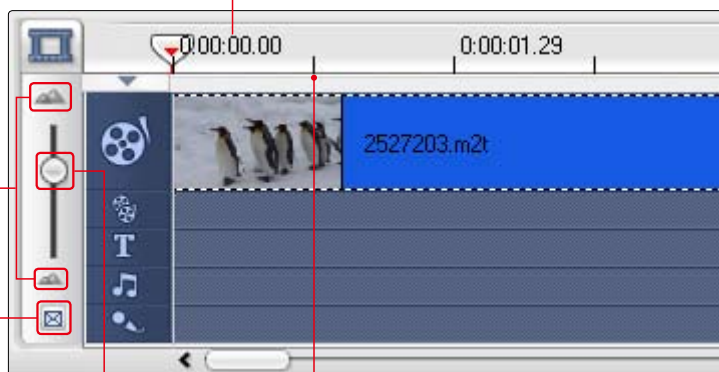


「タイムライン」ではビデオの再生時間の長さでクリップが表示されるので、より細かい編集が行えます。ビデオの再生時間は「ズームイン」や「ズームアウト」をクリックして、表示する範囲を調整します。

タイムコード(時間:分:秒:コマ)

「ズームイン」「ズームアウト」ボタン
ビデオトラックの時間表示間隔を大きくしたり小さくします

「タイムラインビューに合わせる」ボタン
配置したビデオクリップを画面のタイムライン上にちょうど収まるように時間の間隔を設定します

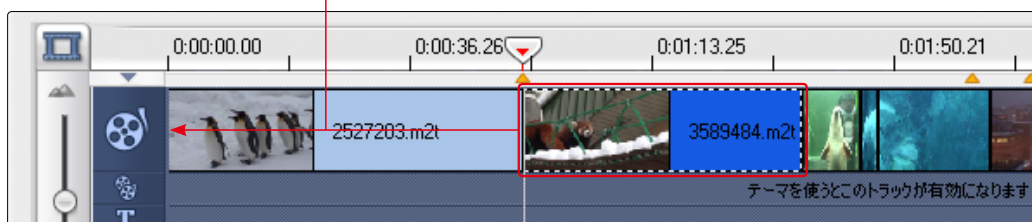


「ズーム倍率」ボタン
ビデオクリップを表示する時間の間隔を選んで設定

この例では1秒単位で目盛が表示され、ここが1秒の地点を表わします

「タイムライン」のビデオクリップを選択してドラッグすると、再生位置を変更することができます。

クリップをドラッグして移動



テーマを使うとこのトラックが有効になります

- 9 ビデオにチャプタを設定するには、チャプタを追加する位置にジヨグバーを移動して、「チャプタを追加」ボタンをクリックします。

1 チャプタを設定する位置にジヨグバーを移動

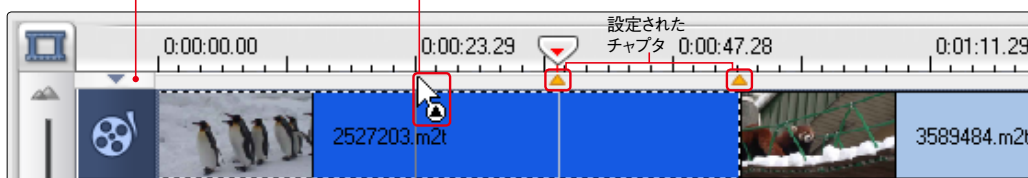
2 「チャプタを追加」をクリック



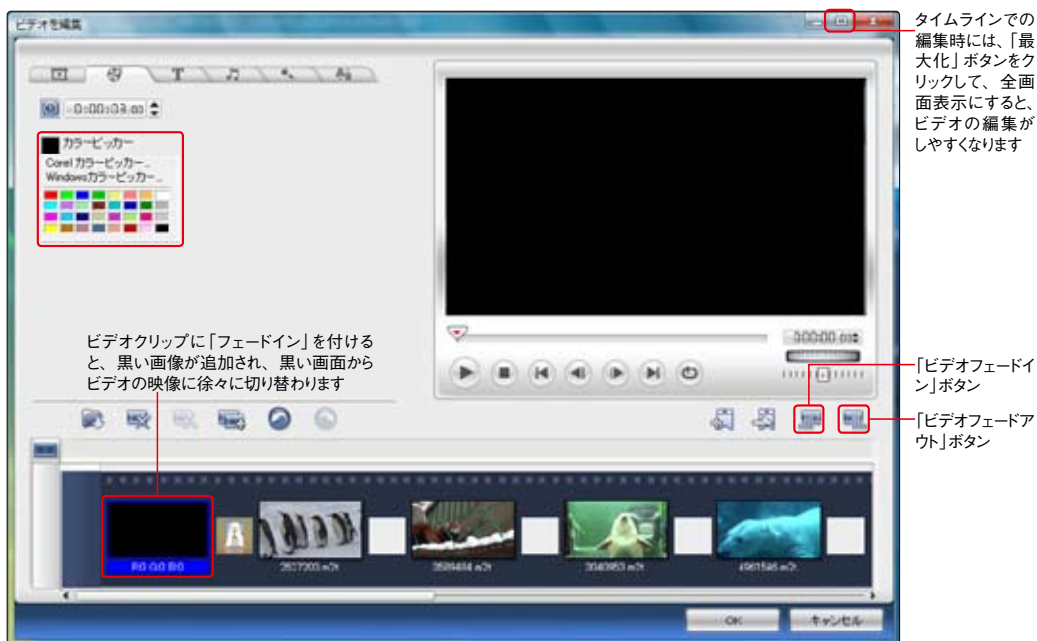
また、「タイムライン」では、チャプタを設定する位置の「チャプタマネージャ」ラインをクリックすると、チャプタが追加されます。

「チャプタマネージャ」ライン

チャプタを設定する位置の「チャプタマネージャ」ラインをクリック



- 10 ビデオクリップを選択して「ビデオフェードイン」や「ビデオフェードアウト」ボタンをクリックすると、ビデオが黒い画面から徐々に表示されたり、徐々に消えていく効果が付きます。標準では黒い画面からフェードインして、黒い画面へフェードアウトします。色は「カラーピッカー」をクリックし、表示されるメニューから選択して変更することができます。



52 DVD MovieWriter 7

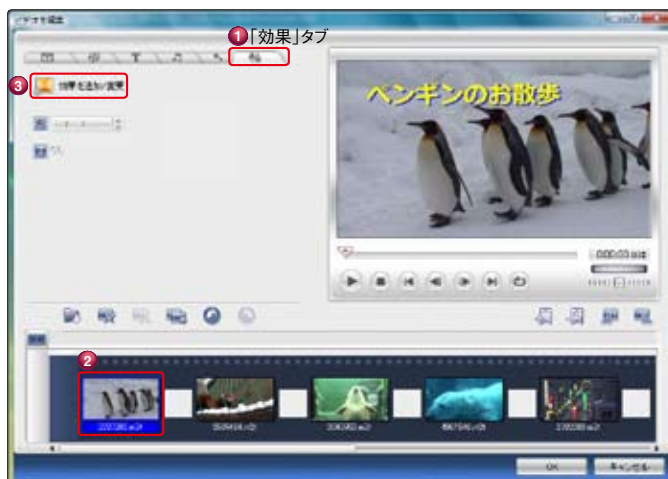
トランジションの追加

取り込んだビデオとビデオの間にトランジション効果を加えることができます。トランジションとは映像が切り替わるときに、次の映像が前の映像の右端から表示されたり、中央から現れたりする効果のことです。

1 トランジション効果を追加するには、「効果」タブをクリックします。

2 効果をかけたいビデオクリップをメディアリストから選びます。

3 「効果を追加／変更」ボタンをクリックします。



4 「効果」ダイアログボックスが表示されます。「グループの選択」から効果の種類を選び、一覧から効果を選択して「OK」ボタンをクリックします。

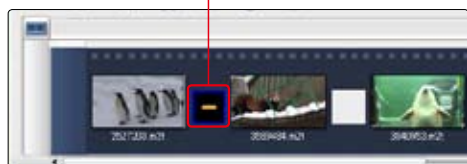


ヒント

効果をかける時間は、デフォルトで1秒に設定されています。これは、前の映像から次の映像まで1秒かけて切り替わります。効果をかける時間を変更するには、「効果の長さ」で時間を設定します。

5 ビデオクリップとビデオクリップの間にトランジション効果が挿入されます。他のトランジション効果を選択すると効果を変更できます。

挿入されたトランジション効果。効果を取り消すには、効果をクリックして「Delete」キーを押す



効果を変更するには効果をクリックして、「効果を追加／変更」ボタンをクリック。「効果」ダイアログで他の効果を選ぶ

ビデオとビデオの切り替え効果はデフォルトで1秒。効果時間を変更するには、「効果の長さ」に数値を入力



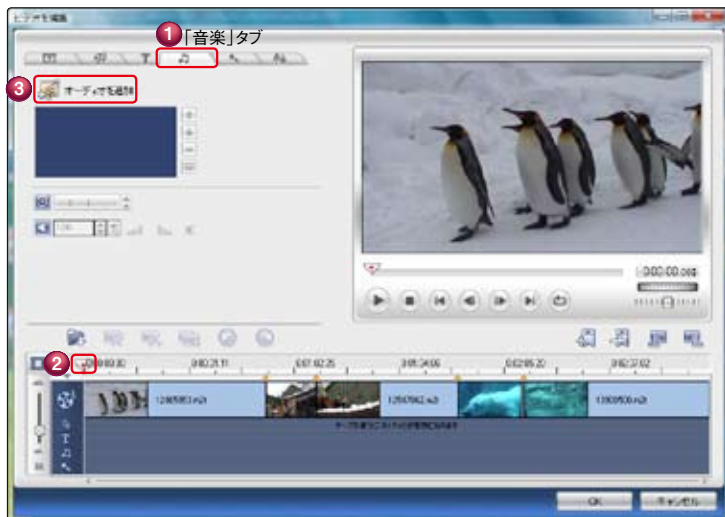
BGMや音声の追加

ビデオにはBGMやナレーションなどの音声を追加することができます。ビデオの撮影時の音声を消してBGMだけにしたり、ビデオの音声とBGMをミックスしたりすることができます。

1 BGMを挿入するには「音楽」タブをクリックします。

2 BGMを挿入する位置にジョグバーを移動します。

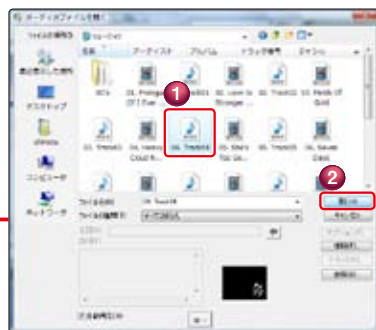
3 「オーディオを追加」ボタンをクリックします。



4 「オーディオファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。BGMに使用する音楽ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。ビデオにBGMが追加されます。



BGMは「ミュージックトラック」に挿入されます。

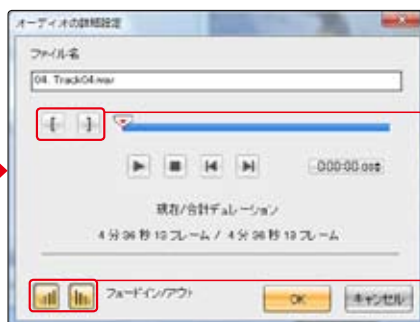


5 追加したオーディオは「BGMリストボックス」に表示されます。「オーディオのプロパティ」ボタンをクリックして、BGMの設定を行います。



追加したオーディオ
ファイル

「オーディオのプロ
パティ」ボタン



「マークイン」・「マークアウト」ボタ
ン：曲の開始や終わりの位置を設
定します。

「フェードイン」・「フェードアウト」ボ
タン：徐々に曲の音量が大きくな
ったり、消えていくように設定します。

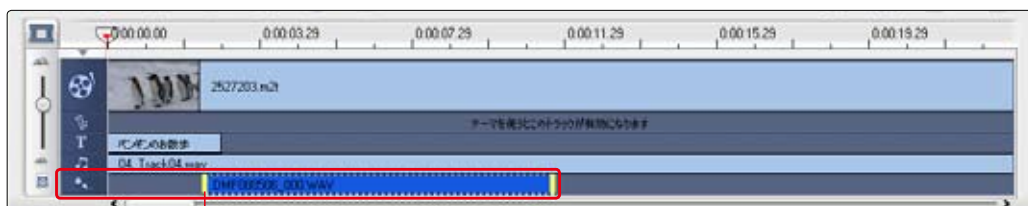
- 6** ビデオにナレーションを追加するには、お手持ちのマイクをパソコンの「マイク入力端子」に接続します。「音声」タブをクリックして、ナレーションを吹き込む位置にジョグバーを移動します。「録音」ボタンをクリックすると、ビデオが再生されるので、映像に合わせてナレーションを吹き込みます。



- 7** ナレーションの録音を終了するには、「録音を停止」ボタンをクリックします。

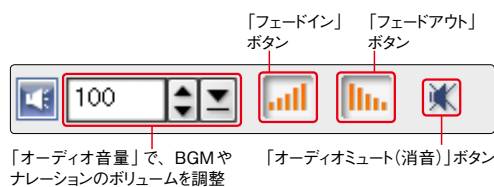


- 8** 録音したナレーションは、「ボイストラック」に追加されます。

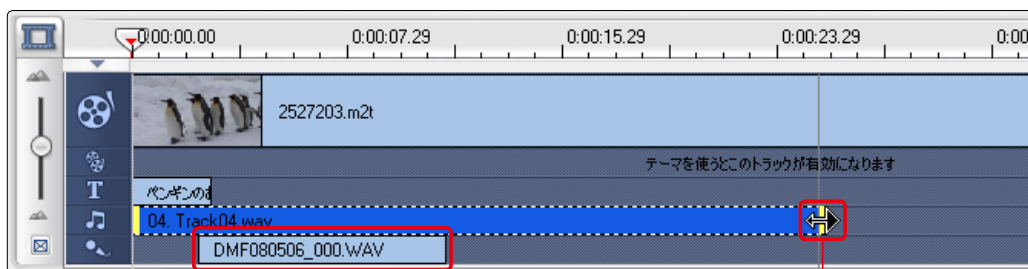


ナレーションは「ボイストラック」に挿入されます。

- 9** BGMやナレーションは、「オーディオ音量」で調整します。徐々に音量が大きくなる「フェードイン」や徐々に小さくなる「フェードアウト」、音声を消す「ミュート」の設定ができます。



- 10** BGMやナレーションは、「タイムライン」でトリミングや再生位置を調整することができます。



BGMやナレーションをドラッグして再生位置を調整

BGMやナレーションの先頭や終わりにマウスポインタを移動し、ドラッグしてトリミング

PART 2

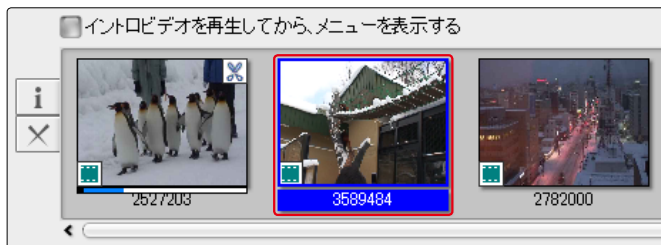
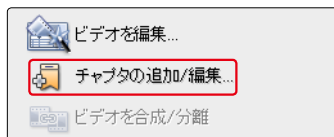
Section

5

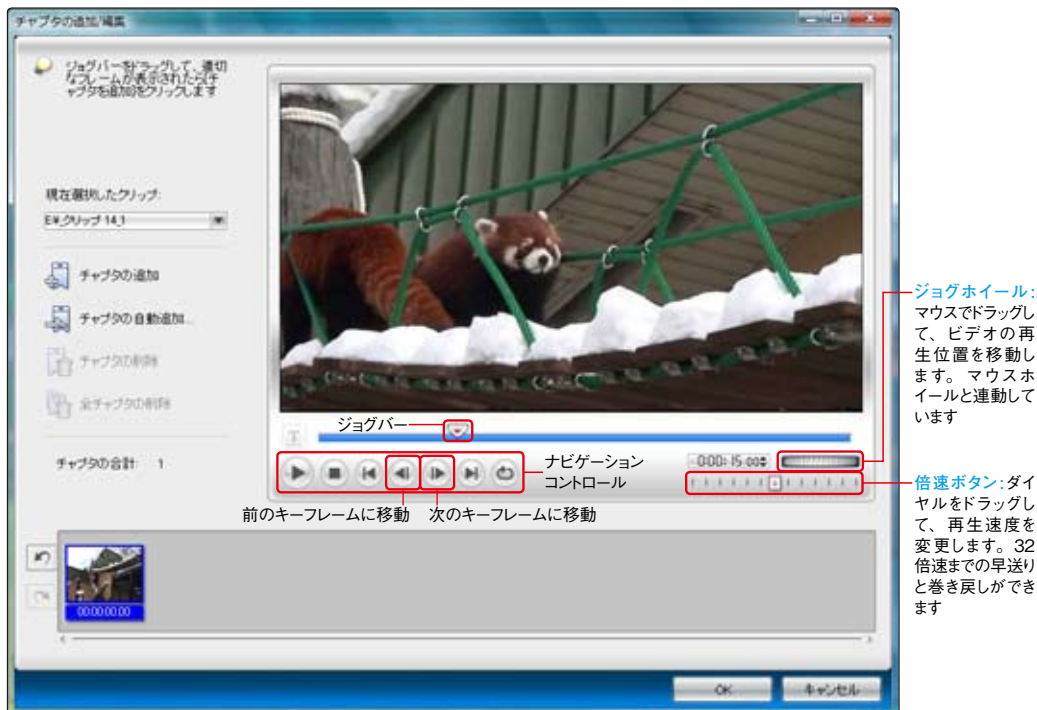
チャプタの追加／編集

ビデオクリップにチャプタを追加して、ビデオを飛ばして見たときのジャンプ先のシーンを設定します。ひとつのビデオクリップにいくつものジャンプ先を指定できます (99 シーンまで)。

- 1 ビデオクリップ内でジャンプするチャプタを追加するには、チャプタを設定するビデオクリップを選択し、「チャプタの追加／編集」ボタンをクリックします。



- 2 「チャプタの追加／編集」画面が表示されます。ジョグバーやナビゲーションコントロールを使って、ジャンプ先の映像を選びます。

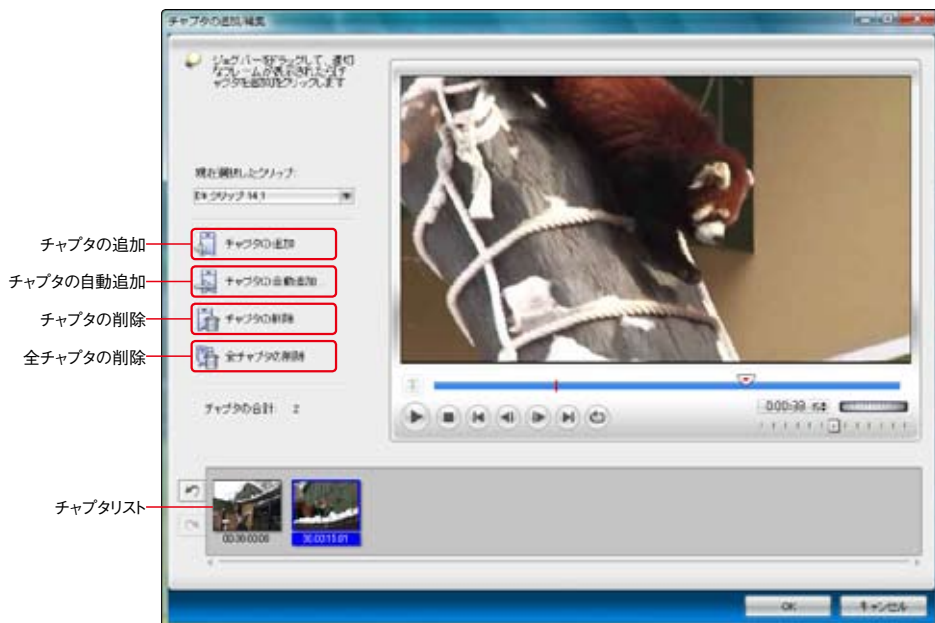


ジョグバーやナビゲーションコントロールを使ってチャプタを設定したい映像の頭出しをします

- 注意** チャプタは、GOP単位で設定されます。ジョグバーや「次のキーフレーム」、「前のキーフレーム」でジャンプ先のシーンを選ぶことができます。ジャンプ先のシーンは、その前後にあるIフレーム (シーンフレーム) になります。

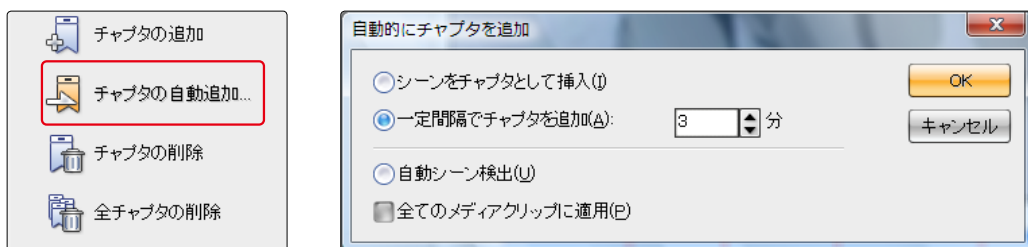
3 ジャンプ先のシーンを選び、「チャプタの追加」ボタンをクリックします。チャプタリストに追加されます。

チャプタを取り消すには、チャプタリストから削除したいチャプタを選択して、「チャプタの削除」ボタンをクリックします。すべてを取り消す場合は、「全チャプタの削除」ボタンをクリックします。

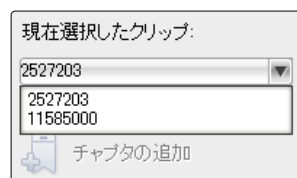


4 チャプタは、自動で設定することができます。「チャプタの自動追加」ボタンをクリックすると、「自動的にチャプタを追加」ダイアログボックスが表示されます。

「シーンをチャプタとして挿入」にチェックを入れると、DVカメラのオン・オフを検出して、そこにチャプタを設定します。「一定間隔でチャプタを追加」にチェックを入れると、一定時間ごとにチャプタを設定します。たとえば10分ごとに設定すると、10分後の映像にジャンプする設定ができます。「自動シーン検出」にチェックを入れると、ビデオ映像のシーンを自動で判断して、そこにチャプタを設定します。



5 他のビデオクリップにチャプタを設定するには、「現在選択したクリップ」でチャプタを設定したいビデオクリップを選び、チャプタを設定します。チャプタを設定したら「OK」ボタンをクリックして、元の画面に戻ります。



PART 2

Section

6

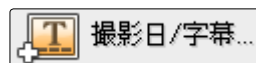
撮影日時や字幕の表示

ビデオには、取り込んだ映像に付随している撮影日時や字幕を表示することができます。

ビデオにDVテープに記録された撮影日時の情報や字幕を表示します。

撮影日時などの表示

- 1 撮影日時を表示するビデオクリップを選択して、「撮影日／字幕」ボタンをクリックします。



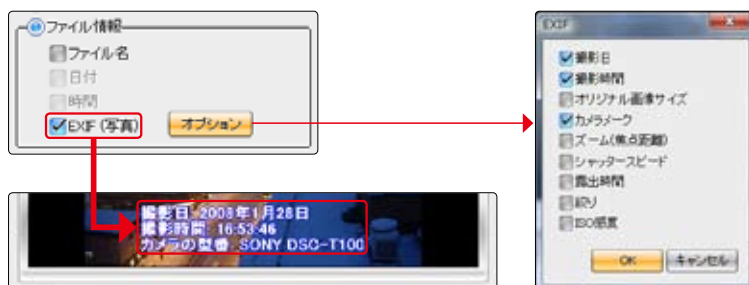
- 2 「字幕の編集」画面が表示されます。「ファイル情報」をクリックして、ビデオに表示したい項目にチェックを入れます。プレビューウィンドウに情報が表示されます。



TIPS

撮影日時の表示形式はカスタマイズできます。[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[時計、言語、および地域]→[地域と言語のオプション]で表示されるダイアログの「この形式のカスタマイズ」ボタンをクリックすると、「地域のオプションのカスタマイズ」ダイアログが表示されます。「日付」タブの「データ形式」や「カレンダー」で表示形式を設定します。

- 3 デジタルカメラで撮影した画像ファイルなどは「ファイル情報」の「EXIF」にチェックを入れると、画像ファイルのメタデータが表示されます。「オプション」ボタンをクリックして、表示される「EXIF」ダイアログボックスで、表示する情報を追加することができます。



字幕の表示

ビデオに字幕を表示することができます。字幕を表示するには、「字幕ファイルのインポート」にチェックを入れます。「インポート」ボタンをクリックして「srt」形式の字幕ファイルを読み込みます。多数の言語に対応している字幕ファイルでは、「テキスト」から表示する言語を選択します。



注意

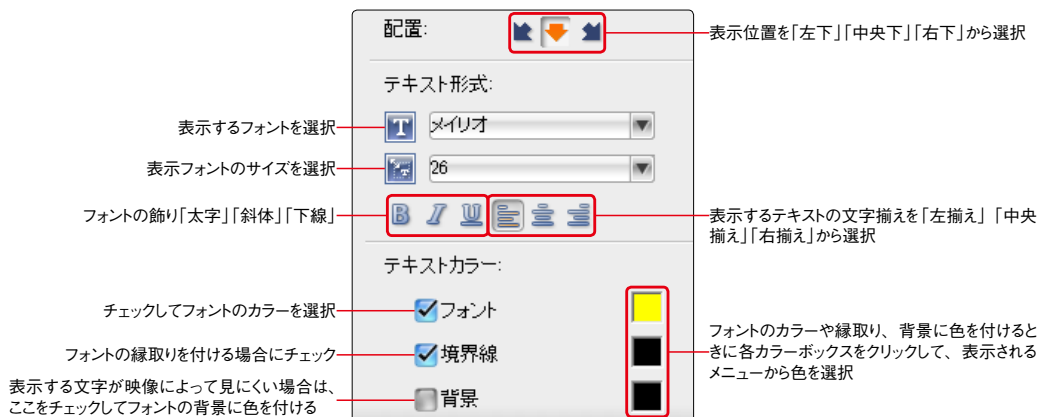
DVD MovieWriterで表示できる字幕ファイルは、「srt」形式のみです。また、プレーヤーで再生するときに標準では日時情報や字幕がオフになっているので、字幕や日時情報を表示するにはプレーヤーで字幕をオンにしてください。

表示するテキストの編集

ファイル名や日付、時間などのファイル情報と字幕は、表示するテキストをカスタマイズできます。表示する位置やフォント、フォントのサイズ、色を設定でき、テキストに縁取りなどを加えることができます。



表示位置を「中央下」、テキストを「黄色」、境界線を「黒」に設定した例



PART 2

Section

7

メニューの作成

DVDビデオなどのオープニング画面になるシーン選択メニューを作成します。メニューには、ビジネスや家庭向けにたくさんのテンプレートが用意されています。

ディスクに収録するビデオができあがると、今度はオープニングメニューを作成します。DVD MovieWriterでは、DVDビデオの最初に表示されるビデオ選択メニューを作成できます。メニュー用のテンプレートが豊富に用意されていて、見栄えのいいメニューをつくることができます。また、表示するフォントやボタンをカスタマイズでき、凝ったオリジナルメニューに仕上げられます。

メニューの選択

- 1** メインメニューを作成するには「メニューを作成」にチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックします。

☒ メニューを作成

TIPS

メニュー画面は、「16:9」のワイド画面に対応しています。操作については、P.83をお読みください。



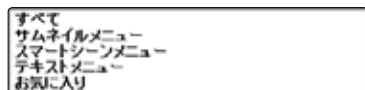
- 2** 「テンプレートを選択してメニューを作成」画面が表示されます。プレビューウィンドウには、メインメニューが表示されます。

- 3** 「ギャラリー」タブをクリックして、メニューテンプレートのプルダウンメニューからジャンルを選びます。



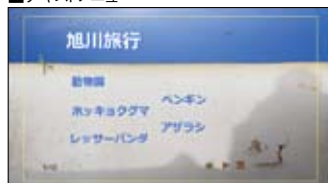
4 選択したジャンルのテンプレートがテンプレートリストに表示されます。メインメニューで使用するテンプレートを選んでダブルクリックすると、プレビューウィンドウに表示されます。

「▼」ボタンをクリックして、テンプレートのジャンルを選択



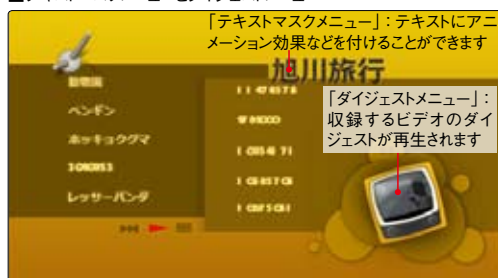
メニューテンプレートのジャンルには、ビデオを表示して選ぶ「サムネイルメニュー」、ビデオの名前を表示して選ぶ「テキストメニュー」、ひとつのビデオを表示して残りをビデオ名から選ぶ「スマートシーンメニュー」があり、特殊効果が付加されているものもあります。

■テキストメニュー



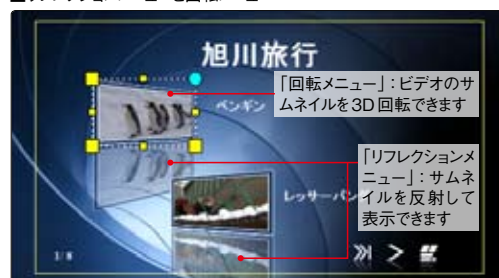
ビデオクリップなどのファイル名だけが表示されます。

■テキストマスクメニューとダイジェストメニュー



テキストにアニメーション効果をつける「テキストマスクメニュー」やビデオのダイジェストを再生する「ダイジェストメニュー」が表示されるテンプレートもあります。

■リフレクションメニューと回転メニュー



ビデオのサムネイルを鏡に映したように反映して表示させる「リフレクションメニュー」や3D回転させる「回転メニュー」なども用意されています。

注意

作成するディスクによって表示されないテンプレートがあります。また、「スマートシーンメニュー」や「テキストメニュー」のメニューテンプレートは、カスタマイズ可能な機能が制限されている場合があります。

TIPS

テンプレートによってメニュー画面に表示されるビデオの数は異なります。また、メインメニューが数ページになる場合は、プレビューウィンドウの下に矢印ボタンが表示されます。このボタンをクリックして、次ページのメニューを確認することができます。



次のメニューに進む



前のメニューに戻る

実際のメニューには、メインメニューの総数と現在のページ数が表示されます

タイトルの作成

1 作品にタイトルをつけます。「編集」タブをクリックして、プレビューウィンドウの「マイタイトル」と書かれている部分をダブルクリックします。



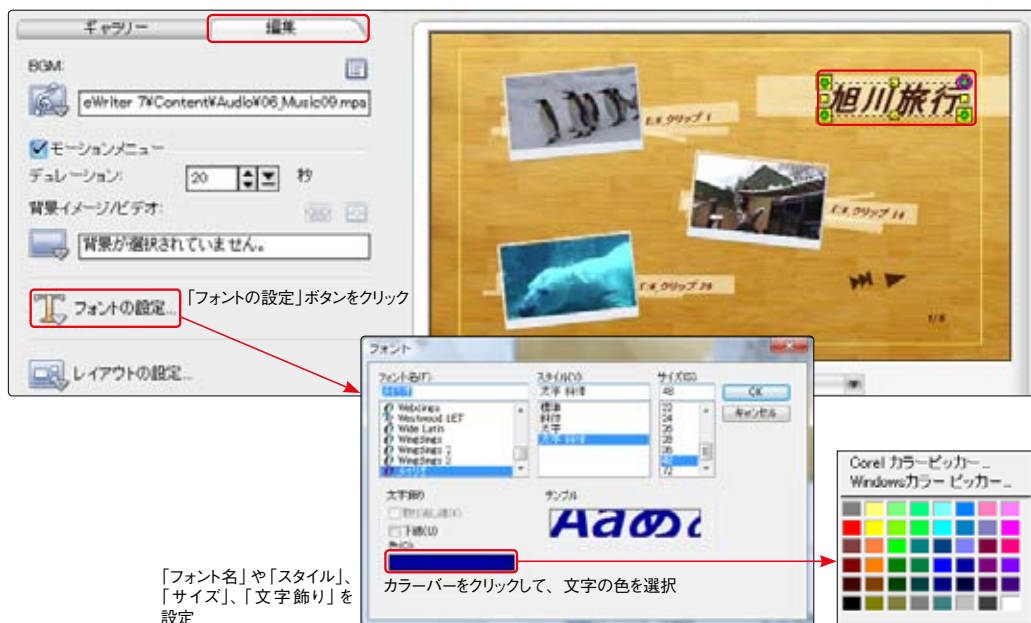
「マイタイトル」という文字をダブルクリック

2 テキストボックスに入力カーソルが表示されるので、タイトルを入力します。



「マイタイトル」という文字をドラッグして、テキストを入力

3 テキストはフォントの種類やスタイル、サイズ、色を変えることができます。テキストボックスを選択して、「編集」タブの「フォントの設定」ボタンをクリックします。表示される「フォント」ダイアログボックスで、好みのフォントに調整して、「OK」ボタンをクリックします。



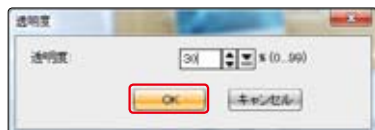
TIPS

「カラーバー」をクリックして表示されるパレットでは48色から選べますが、「Corelカラーピッカー」や「Windowsカラーピッカー」をクリックすると、フルカラーから色を選べます。

4 「マイタイトル」にタイトルが表示されます。タイトルをクリックすると、コーナーにポインタが表示されます。タイトルをドラッグして表示位置を調整したり、黄色のポインタをドラッグして拡大縮小、右上のピンクのポインタをドラッグして回転することができます。



5 タイトルを右クリックして、表示されるメニューから「オブジェクトの透明度を設定」をクリックすると、「透明度」ダイアログが開きます。ここではタイトル文字の透過を設定できます。数値を大きくすると、透明度が増します。数値を入力して、「OK」ボタンをクリックします。

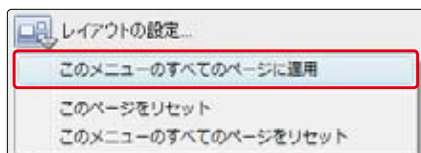


6 各ビデオクリップには、内容を説明するコメントを付けることができます。初期設定では、コメント欄にファイル名が表示されています。コメントを変更するには、各ビデオクリップのファイル名をダブルクリックします。



ビデオの説明を入力するには、ファイル名をダブルクリック

- 7** テキストボックスに入力カーソルが表示されるので、そこにコメントを入力します。フォントは、種類やスタイル、サイズ、色を変えることができます。「フォントの設定」ボタンをクリックすると表示される「フォント」ダイアログボックスで、好みのフォントに調整して「OK」ボタンをクリックします。



「編集」タブの「レイアウトの設定」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「このメニューのすべてのページに適用」を選択すると、他のビデオクリップにもフォントやサイズ、色が適用されます。



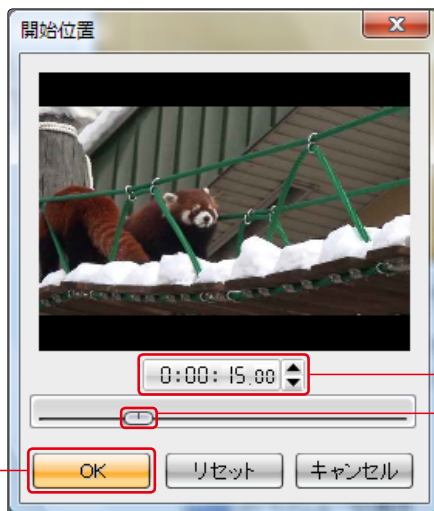
TIPS

タイトルやコメントを入力しない場合は、ビデオファイル名やプロジェクト名になります。

- 8** 追加したビデオクリップのサムネイルは、先頭のフレームの映像が表示されます。DVDタイトルなどで表示するとき、ビデオクリップの内容がよくわかる別のフレームの映像に変更して表示することができます。



ビデオクリップをダブルクリック



「OK」ボタンをクリックして決定

「開始位置」ダイアログボックスで、表示したいフレームをスライダーを移動して選びます。よければ「OK」ボタンをクリックします。設定したフレームが、ビデオクリップのサムネイルになります。

タイムカウンターに数値を入力して移動することも可能

スライダーを移動して、表示したいフレームに移動

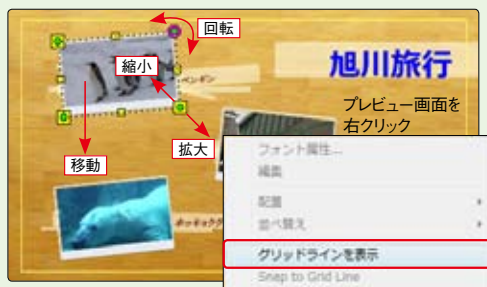
注意

「モーションメニュー」(→ P.67)にチェックを入れている場合は、サムネイルの変更は無効になります。

TIPS

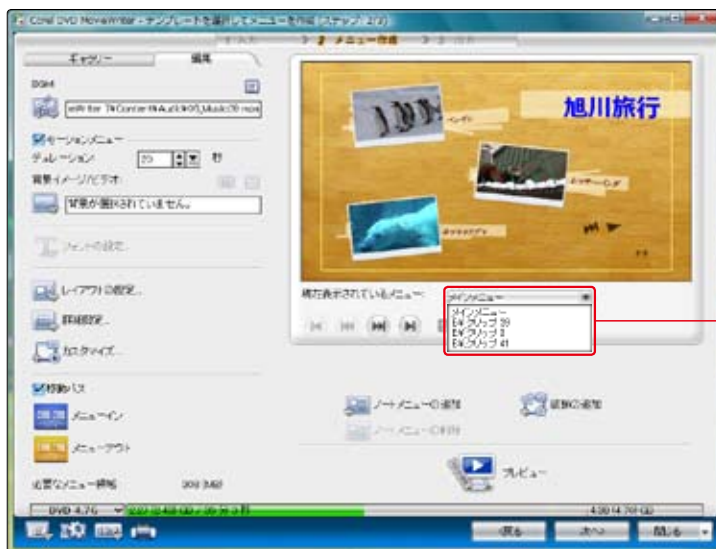
作成したメニューのビデオクリップのサムネイルやコメントは、カスタマイズすることができます。サムネイルはドラッグして表示位置を変更できます。また、黄色のポイントをドラッグすると表示サイズの拡大・縮小が、右上のピンクのポイントをドラッグすると回転できます。

また、メニュー画面を右クリックして、表示されるメニューから「グリッドラインを表示」をクリックするとメニュー画面にグリッドが表示され、レイアウトがしやすくなります。



チャプタのメニューとハイライトボタン

- 1** チャプタを設定したビデオクリップには、各チャプタを選択して再生するチャプタメニューが用意されます。「現在表示されているメニュー」からファイル名を選べると、そのビデオクリップのメニューが表示されます。ここでもテンプレートを選択したり、タイトルやビデオのコメントを入力できます。



- 2** 「ハイライトしたボタンを表示」にチェックを入れたら、DVDの再生時にメニューから選択しているビデオがわかるようにマークが付いたり、ビデオの枠の色が変わるようになります。



注意

ビデオクリップを選択するとビデオクリップの枠が光ったり反転する効果などは、設定時にはプレビューできないものもあります。

プレビュー画面と次のステップへ

1 作成したビデオを確認するには、「プレビュー」ボタンをクリックします。DVDでどのように再生されるかを確認できます(→P.77)。



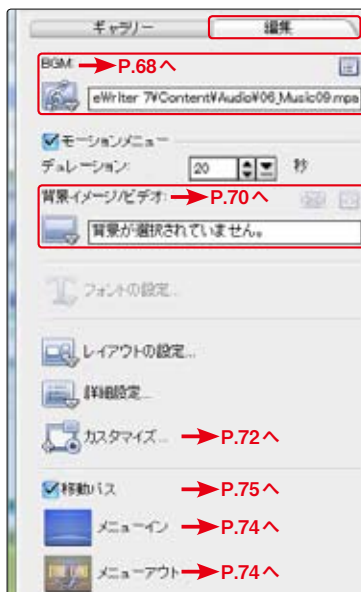
「プレビュー」ボタン

2 「編集」タブでメニューを作成したら、「次へ」ボタンをクリックします。できあがったビデオをDVDに書き込む「出力」ステップに進みます(→P.78)。



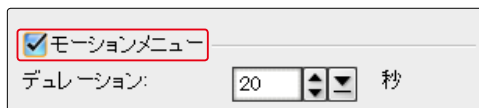
「編集」タブ

メニューをさらに作り込むには、「編集」タブをクリックします。ここではメニューが表示されているときに流すBGMやオリジナルの背景、メニューレイアウトのカスタマイズ、メニューの表示方法などの設定を行います。



モーションメニュー

「モーションメニュー」にチェックを入れると、メニュー画面に表示される各ビデオクリップが自動で再生されます。これにより、ビデオの内容がすぐにわかります。「デュレーション」に秒数を設定すると、その秒数分だけビデオが繰り返し再生されます。



注意

「モーションメニュー」にチェックを入れている場合は、サムネイルの変更(→P.64)は無効になります。

サムネイルの選択番号

DVDビデオの作成の場合、「詳細設定」ボタンをクリックして表示されるメニューから「サムネイル番号を表示」を選択すると、各ビデオクリップに番号が振られます。完成したディスクをDVDプレーヤーなどで再生する場合、リモコンなどからこの番号を入力すると、直接そのビデオが再生されます。リモコンの矢印ボタンを操作してビデオを選ぶより便利です。



注意

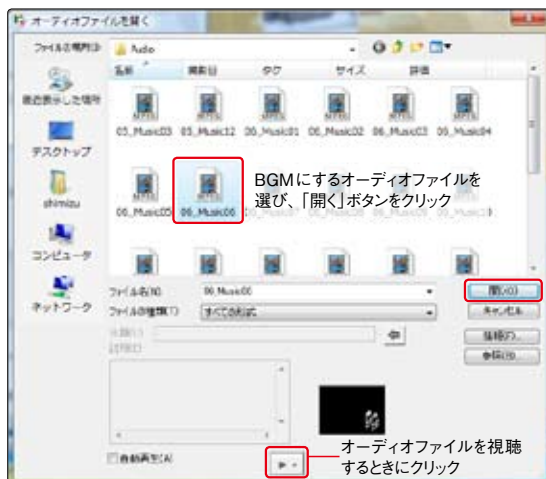
ビデオCDの作成時には、「サムネイルの番号を表示」は選択できません。各ビデオクリップには、常に番号が表示されます。

BGMの追加

- 1** DVD MovieWriterでは、メニューを表示しているときにオリジナルのBGMを流すことができます。BGMを付けるには、「編集」タブをクリックします。「BGM」ボタンをクリックして表示されるメニューから、どのメニューにBGMを付けるかを選びます。



- 2** 「オーディオファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。オーディオファイルの入っているフォルダを選び、オーディオファイルをクリックして「開く」ボタンをクリックします。これでメニューを表示している間、選択したBGMが流れます。



TIPS

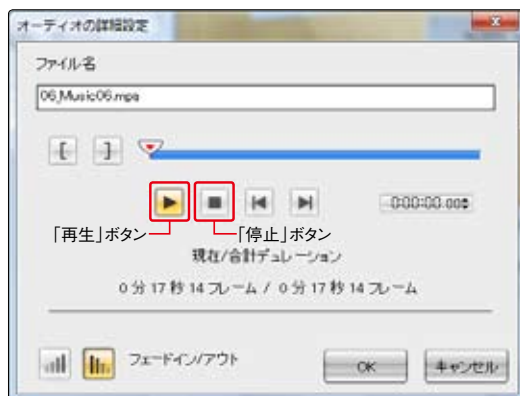
BGMに使用できるファイル形式はmpa、mp3、wav、cda、ogg、wmaです。

- 3** BGMがメニューに追加されます。追加したBGMは曲の一部分だけをトリミングしたり、フェードイン・フェードアウトなどの効果を付けたりすることができます。BGMを編集するには、「オーディオのプロパティを設定」ボタンをクリックします。

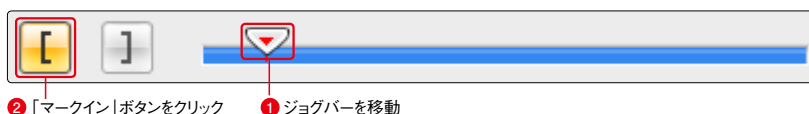


4 「オーディオの詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。

BGMを確認するには、「再生」ボタンをクリックします。BGMを止めるには、「停止」ボタンをクリックします。



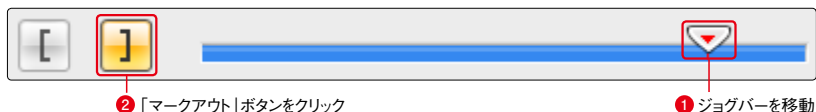
5 曲の一部だけを使用するには、曲を流す最初の位置にジョグバーを移動して、「マークイン」ボタンをクリックします。



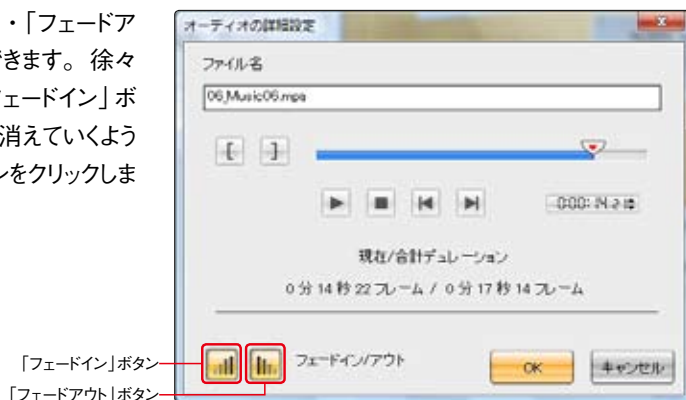
イベント

お気に入りの曲のさびの部分だけを流れるように設定すると効果的です。

6 曲を流す終わりの位置にジョグバーを移動して、「マークアウト」ボタンをクリックします。



7 BGMには、「フェードイン」・「フェードアウト」効果を加えることができます。徐々に曲の音量を大きくするには、「フェードイン」ボタンをクリックします。徐々に曲が消えていくようにするには、「フェードアウト」ボタンをクリックします。



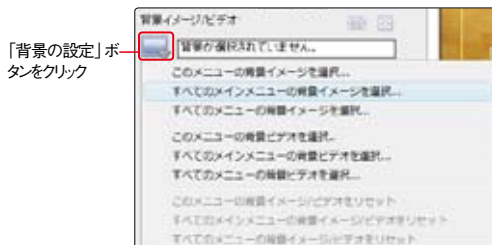
TIPS

追加したBGMは、メニューが表示されている間はリピートします。

オリジナルメニューの作成

- 1** メニューにはオリジナルの背景をつけることができます。デジタルカメラで撮った写真やお気に入りの画像をメニュー画面にします。また、メニューの背景には静止画だけでなく、動画を使用することもできます。動画を選択した場合は、モーション背景になります。

「背景の設定」ボタンをクリックして、表示されるメニューからどの背景に画像やビデオを適用するかを選びます。



「このメニューの背景イメージを選択」プレビューウィンドウに表示されているメニューの背景を変更します。数ページあるメインメニューでもプレビューウィンドウに表示されているメニューの背景だけが変更されます。他のメニューはそのまます。

「すべてのメインメニューの背景イメージを選択」メインメニューを表示している場合は、すべてのメインメニューの背景が変更されます。

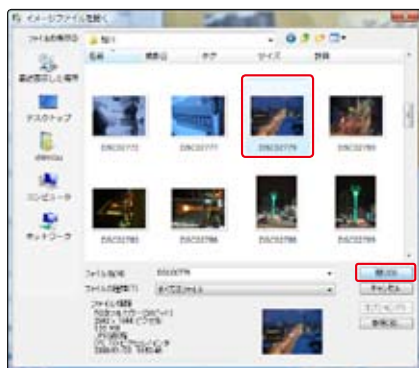
「すべてのメニューの背景イメージを選択」作成しているビデオのすべてのメニューの背景を変更します。

※「背景ビデオを選択」を選ぶと、メニューの背景がビデオ(動画)になります。

注意

VideoCDの作成では、メニューの背景にビデオを選択すると、ビデオの最初のフレーム(画面)がメニューの背景として設定されます(背景はモーションメニューにはなりません)。

- 2** 「イメージファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。画像や動画の入っているフォルダを選び、画像ファイルやビデオファイルをクリックして「開く」ボタンをクリックします。



TIPS

使用できる画像のファイル形式はBMP、JP2、JPC、JPG、TIF、PNG、TGAです。

- 3** オリジナルの背景がメニューに適用されます。適用した背景を取り止めるには、「背景の設定」ボタンをクリックして、取り消すメニューにあった項目をクリックします。

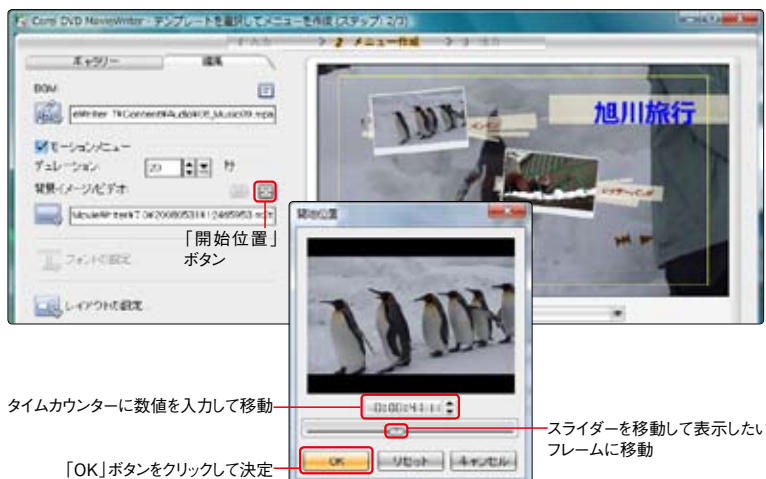


- 4** 写真などの画像サイズをメニュー画面のサイズに合わせるには、「引き伸ばし」ボタンをクリックします。画像がメニュー画面全体に広がります。元に戻すには、もう一度「引き伸ばし」ボタンをクリックします。

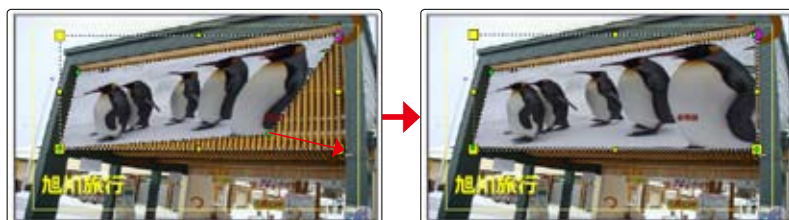
画像のサイズがメニュー画面のサイズに合っていないと、黒いフチが表示されます。



- 5** メニューの背景を動画にした場合、メニューが表示されたときに再生されるビデオの開始位置は、「開始位置」ボタンをクリックして、表示される「開始位置」ダイアログボックスで設定します。



- 6** オリジナルの画像の一部にビデオのサムネイルをはめ込むことができます。サムネイルをクリックすると、コーナーに緑のポインタが表示されます。これをドラッグすると、サムネイルを変形できます。



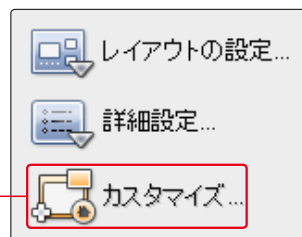
緑のポインタをドラッグしてサムネイルの形を変えます。

TIPS

変形を戻すにはサムネイルを右クリックして、表示されるメニューから「選択したオブジェクトをリセット」をクリックします。

メニューのカスタマイズ

- 1** メニュー画面のレイアウトは、カスタマイズすることができます。「カスタム」ボタンをクリックすると、「メニューをカスタマイズ」画面が表示されます。ここでレイアウトやボタン、サムネイルのフレームを変更します。



ここをクリックして「メニューをカスタマイズ」画面へ



フレーム



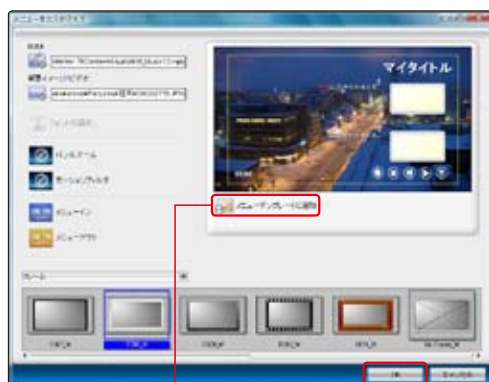
ナビゲーションボタン

「メニューをカスタマイズ」の「▼」をクリックしてジャンルを選び、変更したいパーツをダブルクリックして適用



レイアウト

- 2** カスタマイズしたメニューを登録しておく、次回から適用することができます。「メニューテンプレートに追加」ボタンをクリックします。カスタマイズされたメニューは、メニューテンプレートの「お気に入り」に登録されます。



カスタマイズした状態で、「メニューテンプレートに追加」ボタンをクリック

カスタマイズができあがると「OK」ボタンをクリックして、「テンプレートを選択してメニューを作成」画面に戻ります



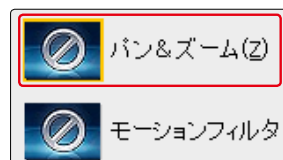
カスタマイズされたメニュー

追加したメニューのテンプレートは、「お気に入り」に登録されます。カスタマイズしたテンプレートを削除するにはテンプレートを右クリックし、表示されるメニューから「お気に入りテンプレートを削除」をクリックします

メニューの表示効果 1

メニューの背景に使用した画像に効果を加えることができます。「メニューをカスタマイズ」画面の「パン＆ズーム」では背景画像に動きを追加します。「モーションフィルタ」では、背景がスポットライトで照らされたリシャボン玉を飛ばしたりする効果を追加します。

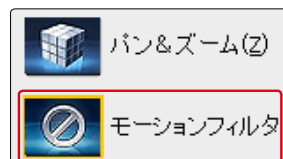
- 1** メニューの背景に使用した画像に動きを加えるには、「メニューをカスタマイズ」画面の「パン＆ズーム」ボタンをクリックします。



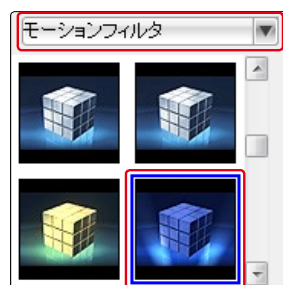
- 2** 表示されるダイアログボックスの「▼」ボタンをクリックしてジャンルを選択し、効果を選びます。この例では、背景画像がズームインしてから右に移動します。



- 3** メニューに映像の特殊効果を加えるには、「モーションフィルタ」ボタンをクリックします。



- 4** 表示される「モーションフィルタ」から効果を選択します。この例では、メニューの画像にサーチライトが当たるような効果になります。



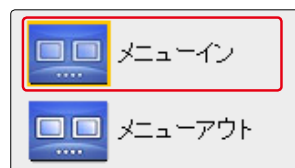
- 5** 「パン＆ズーム」や「モーションフィルタ」効果を取り止めるには、それぞれのボタンをクリックして、表示されるリストの左上にある「なし」をクリックします。



メニューの表示効果 2

作成したディスクを再生するときのメニューが表示される効果や、ビデオを選択したときにメニューからビデオの再生に切り替わる効果を加えることができます。

- 1 作成したディスクを再生するときのメニューの表示方法に効果を加えるには、「編集」タブにある「メニューイン」ボタンをクリックします。



- 2 表示される「メニューフィルタ」から効果を選び、クリックします。この例では、ディスクが再生されると、落書きされたところからメニュー画面が現れます。



- 3 ビデオを選択したときに、メニューからビデオの再生に切り替わる効果を加えるには、「メニューアウト」ボタンをクリックします。



- 4 表示される「メニュートランジション」から効果を選びます。この例では、メニューからビデオを選ぶと、メニューにモザイクがかかって消えてゆき、ビデオが再生されます。



- 5 「メニューイン」や「メニューアウト」効果を取り止めるには、それぞれのボタンをクリックして、表示されるリストの左上にある「なし」をクリックします。



移動パス

「移動パス」にチェックを入れると、ディスクを挿入してメニューが表示されるときに、まず、背景の画面だけが表示され、そこにタイトルやビデオのサムネイルが徐々に大きく表示されたり、飛んできたりなどのアニメーション効果が追加されます。

☒ 移動パス



メニューイン



メニューアウト



【移動パスの例】最初は背景の画像だけが表示されます。



次にビデオのサムネイルがアニメーションしながら表示されます。



徐々に拡大されたり、回転・移動したりして表示されます。



タイトルが画面に現れます。



レイアウトした位置に表示されます。

TIPS

タイトルやビデオのサムネイルのアニメーション効果は、各テンプレートやカスタマイズの「レイアウト」に設定されています。テンプレートによって効果が変わります。

注意

各テンプレートに設定された移動パスの効果は、カスタマイズすることはできません。

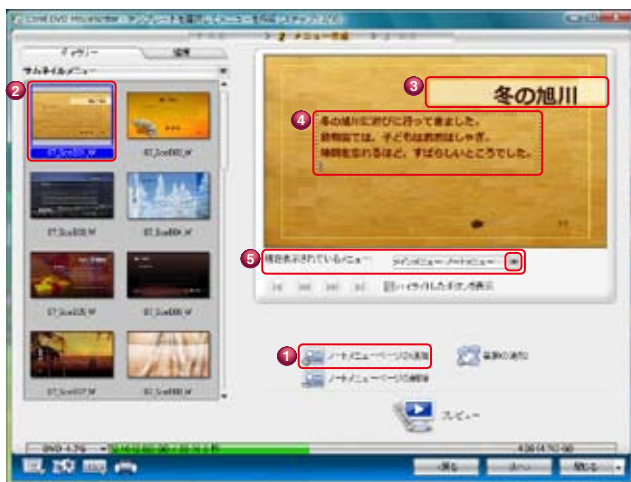
注意

移動パスは「モーションメニュー」(P.67)をオンにしている場合だけに設定することができます。モーションメニューにチェックを入れていないと、移動パスにチェックを入れることはできません。

ノートメニューの作成

メニューにはDVDの内容やコメントなどを表示する「ノートメニュー」を作成できます。DVDの映画タイトルで作品解説や出演者・スタッフの紹介ページのように使うことができます。

- 1 ノートメニューを作成するには、「ノートメニューページの追加」ボタンをクリックします。
- 2 「ギャラリー」タブにノートメニューのテンプレートが表示されるので、ここから使用するノートメニューのページレイアウトを選択します。
- 3 ノートメニューがプレビューウィンドウに表示されます。タイトルのボックスを選択して、タイトルを入力します。
- 4 テキストボックスにコメントを入力します。ノートメニューはメインメニューと同様に背景に写真を使用したり、BGMの追加やテキストの編集が行えます。「編集」タブをクリックして、各項目を選択します。
- 5 メインメニューの編集に戻るには、「現在表示されているメニューの▼」をクリックして、表示されるメニューから「メインメニュー」をクリックします。



- 6 作成したノートメニューは、メインメニューの「ノートメニュー」ボタンをクリックすると、表示されます。



TIPS

ノートメニューのテンプレートは、メインメニューの各テンプレートに合わせたデザインが用意されています。

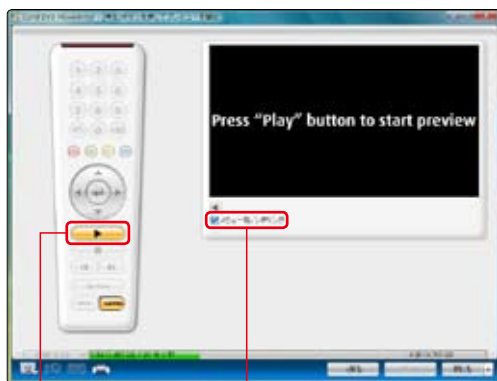
TIPS

「装飾の追加」では、メニューにビデオや静止画を配置することができます。「装飾の追加」ボタンをクリックして、表示されるダイアログからレイアウトするファイルを選択します。



「[再生] ボタンを押してプレビューを開始」画面では、作成するビデオがDVDやビデオCDプレーヤーでどのように表示されるかを確認できます。プレビューして調整したい箇所があれば、「戻る」ボタンで前の画面に戻って、再度調整します。

- 1** リモコンを使ってビデオを操作します。「再生」ボタンをクリックすると、タイトルが始まります。「先頭のビデオを再生してから、メニューを表示する」(P.39)にチェックを入れた場合は、オープニングムービーが流れたあとに「メインメニュー」が表示されます。設定していない場合は、すぐに「メインメニュー」が表示されます。



「再生」ボタンをクリックしてプレビューを開始

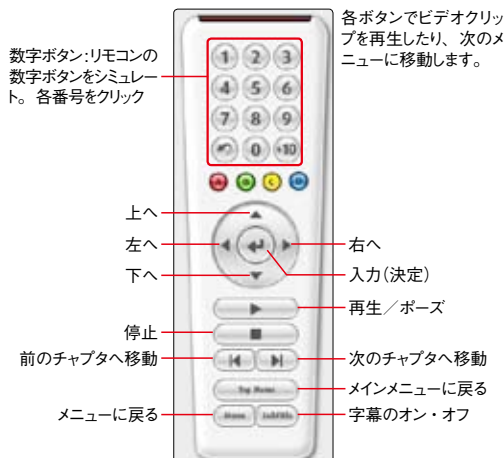
ビデオクリップの表示を「モーションメニュー」に設定したり、「メニューイン/アウト」効果を設定したり、メニューの背景に動画を設定してプレビューすると、映像は簡易再生(荒い動画)されます。DVDプレーヤーなどで見るクオリティでプレビューするには、「メニューをレンダリング」にチェックを入れます。



「戻る」ボタンをクリックすると、「テンプレートを選択してメニューを作成」画面に戻ります。

- 2** 画面左のリモコンを操作すると、作成したビデオを見るときに選択メニューがどのように機能するかを確認できます。各ボタンをクリックして、実際の操作を確認します。リモコンのボタンの操作は、右図のとおりです。

- 3** 内容を確認してよければ、「テンプレートをchoosingしてメニューを作成」画面で「次へ」ボタンをクリックします。「[書き込み] ボタンを押してディスクを作成」ステップに進みます。



- ・メニュー内にある「再生」ボタンを押した場合は、ディスクの最初から再生されます。
- ・ビデオCDのプレビューの場合、プレビューウィンドウのビデオのサムネイルをクリックしても再生はできません。プレビュー画面のリモコンからビデオのサムネイルの横に表示されている番号を選択してください。

PART 2

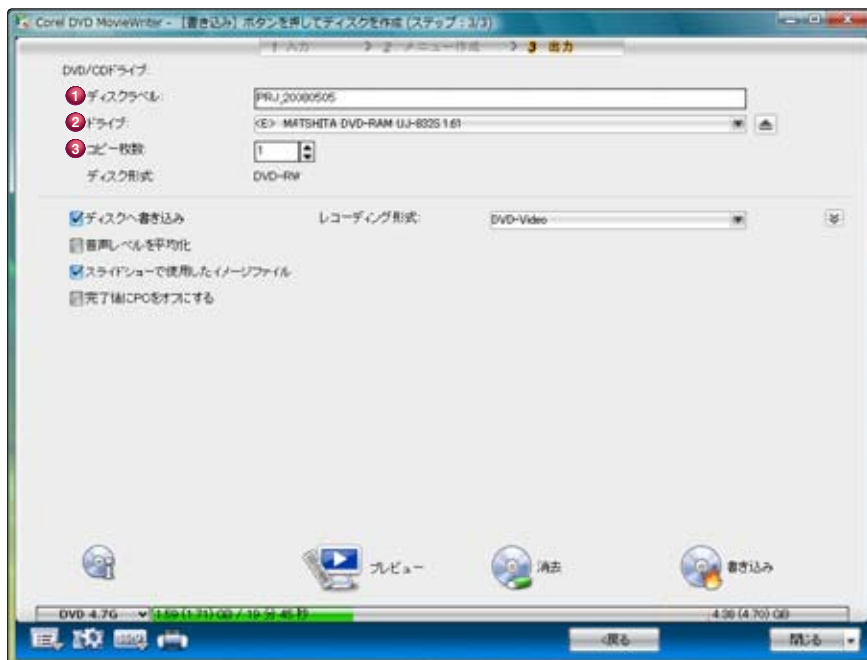
Section

9

書き込みの設定

各ディスクに書き込むときの出力設定を行います。

「[書き込み] ボタンを押してディスクを作成」画面では、ディスクに書き込む作業を行います。書き込むディスクをパソコンにセットします。まず、ディスクについて設定します。



- 1 「ディスクラベル」には、作成するディスクの名前を入力します。デフォルトは「PRJ_年月日」(プロジェクトファイル名)です。

TIPS

名前は、半角英数で32字以内で入力します。

- 2 「ドライブ」では、ディスクに書き込むドライブを選択します。「▼」ボタンをクリックするとパソコンに接続されているディスクドライブの一覧が表示されます。そこから書き込みに使用するディスクドライブを選びます。

- 3 「コピー枚数」は、作成したビデオを何枚のディスクに書き込むかを設定します。ここで複数枚の設定をすると、「書き込み」ボタンをクリックしたときに、次々にディスクを書き込むことができます。「▲」「▼」ボタンをクリックして、必要な枚数を設定します。また、数値ボックスに直接必要枚数を入力できます。

書き込みの設定

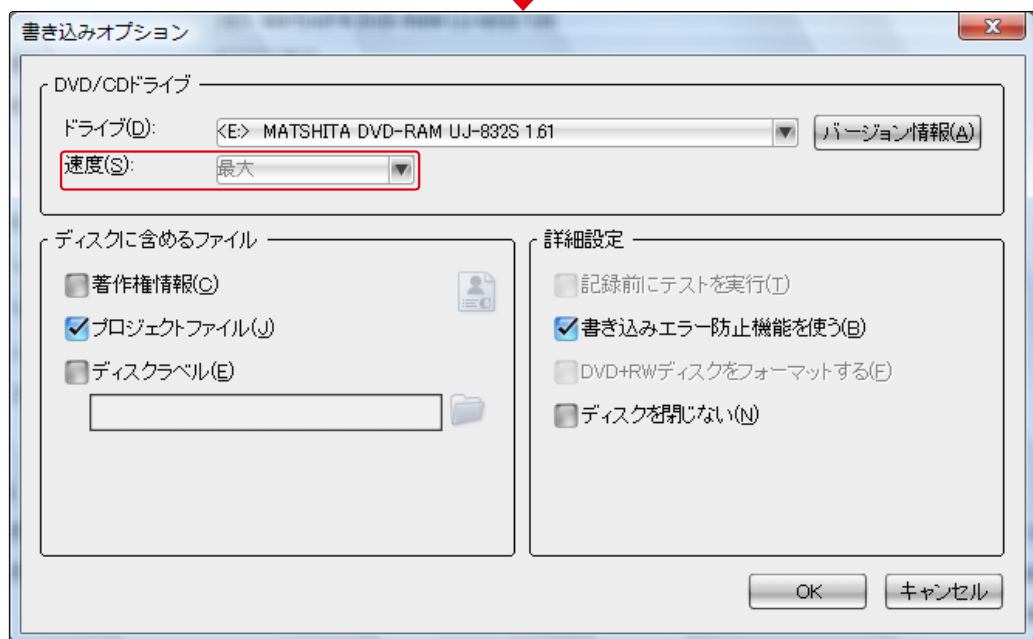
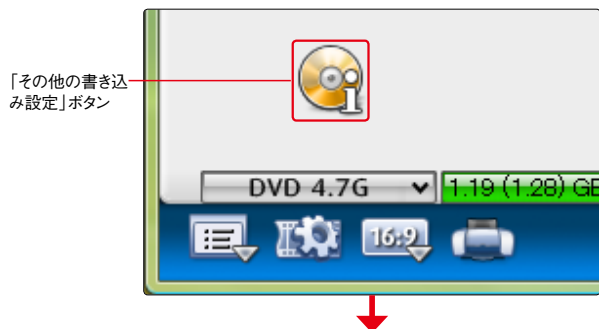


- 1 **【ディスクへ書き込み】** ディスクに書き込む場合にチェックを入れます。CD-R/RWドライブやDVD書き込みドライブがパソコンに搭載されている場合のみ有効になります。
- 2 **【レコーディング形式】** 書き込むディスクに合わせてレコーディング形式を選びます。
- 3 **【「出力オプション」ボタン】** このボタンをクリックすると、ディスクに書き込む内容を設定できます。各項目の内容は以下の通りです。
- 4 **【DVDフォルダの作成※1】** DVDを作成する場合、ディスクに書き込むファイルと同じデータをハードディスク上にも作成します。作成するビデオファイルがDVD-Videoの場合のみ有効になります。作成されたファイルはDVDディスクへ書き込むことができます。作成したファイルはDVDプレーヤーソフトを使って再生したり、別のDVDライティングソフトでDVDビデオとして書き込んだりすることができます。書き込みの後、ファイルをハードディスクに残したくない場合は、チェックを外してください。
- 5 **【ハードディスクへのイメージファイルの作成※2】** 書き込みの後、ディスクイメージファイルをハードディスクに残したくない場合は、チェックを外してください。同じビデオファイルを複数書き込む場合は、このオプションを選択しておくくと便利です。このオプションを選択すると、同じビデオファイルをディスクに書き込む際に、再度ファイルを作成する必要がなくなります。
- 6 **【音声レベルを平均化】** いろいろなビデオ素材を取り込んだ場合、各ビデオの音量レベルは異なります。これを解消するときにチェックします。音量レベルが均一になります。
- 7 **【スライドショーで使ったイメージファイル】** ビデオにスライドショーを作成している場合、スライドショーで使っている元画像をディスクに収録します。
- 8 **【完了後にPCをオフにする】** ここにチェックを入れて書き込みを開始すると、DVDディスクの書き込みが終了すると自動でパソコンをシャットダウンします。書き込みに長時間かかる場合、ここにチェックを入れて就寝するといった使い方ができます。

※ 1、2：レコーディング形式がAVCHD形式やDVD+VR形式の場合は選択できません。

書き込みオプション

「その他の書き込み設定」ボタンをクリックすると、「書き込みオプション」ダイアログボックスが表示されます。ここで書き込みの詳細な設定を行います。



「速度」では、ディスクドライブの書き込み速度を選択します。「▼」ボタンをクリックして記録速度を選びます。

注意

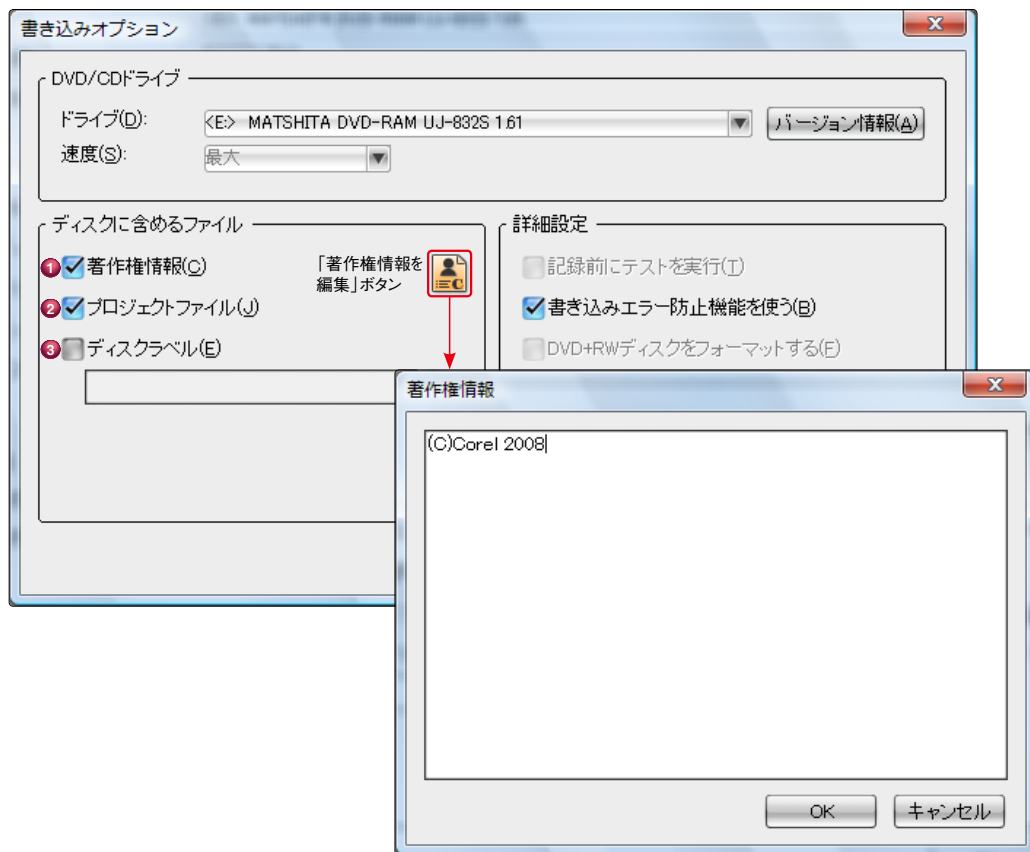
「速度」で選択できる項目は、ディスクドライブによって異なります。

注意

お使いのディスクドライブによっては、上図のように「速度」が「最大」に固定されて、選択できないことがあります。これはディスクドライブが書き込み速度を指定するためです。設定された速度で書き込んでください。

ディスクに含めるファイルの設定

ディスクに作業時のデータや元データを書き込むかの設定を行います。設定する項目にチェックを入れます。各項目の内容は以下の通りです。



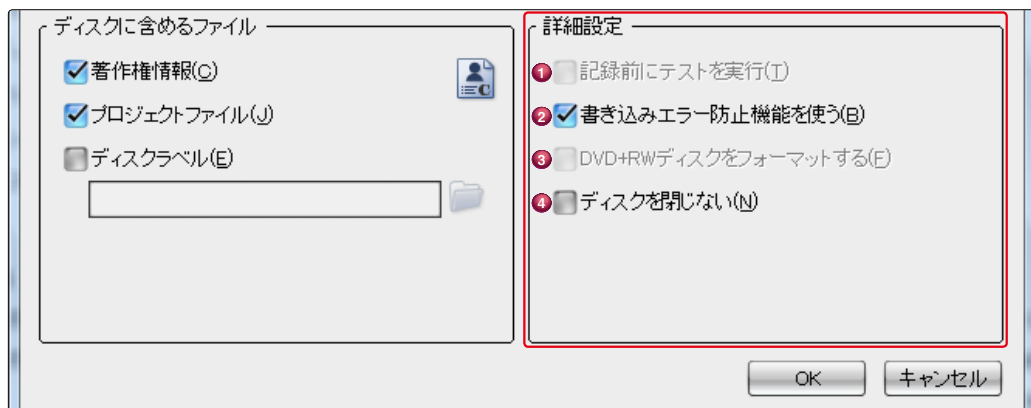
- 1 **【著作権情報】** ディスクに著作権情報を記入します。「著作権情報を編集」ボタンをクリックすると、「著作権情報」ダイアログボックスが表示されます。ここに著作権について入力して、「OK」ボタンをクリックします。
- 2 **【プロジェクトファイル】** DVD MovieWriter で作成したプロジェクトファイルをディスクに書き込みます。
- 3 **【ディスクラベル】** ディスクにプロジェクトで使用している素材を収録したフォルダを書き込みます。「参照」ボタンをクリックして、書き込むフォルダを指定します。

注意

「著作権情報」にチェックを入れても、著作権保護信号 (CSS など) は入りません。

ドライブの詳細設定

「詳細設定」では、ディスクの書き込みについての詳しい設定ができます。



※ レコーディングフォーマットや選択したドライブによって表示される項目が変わります。

- 1** **【記録前にテストを実行】** ビデオファイルを実際にCD/DVDに書き込む前に、書き込みテストを行う場合は、このオプションを選択してください。テストを実行すると、指定のレコーディング速度でCD/DVDにデータを書き込んだ場合、システムがその速度で書き込めるかを確認することができます。書き込みテストの後、実際の書き込みが行われるので、書き込みを2度行う時間がかかります。書き込みテストを実行しない場合は、このオプションのチェックを外してください。
- 2** **【書き込みエラー防止機能を使う】** ビデオファイルを書き込む際にこの機能を使用する場合は、チェックを入れてください。ここをチェックすると「バッファアンダーランエラー」を回避できます。この機能をご使用になるには、お使いのCD/DVDレコーダーがこの機能に対応している必要があります。お使いのCD/DVDレコーダーがこの機能に対応していても、このオプションが有効にされていない場合は使用できません。使用するには、必ずこのオプションにチェックを入れてください。
- 3** **【DVD+RW ディスクをフォーマットする】** レコーディング前にDVD+RWのフォーマットを行う場合に選択します。このオプションをチェックするとレコーディングに時間がかかりますが、より安定したレコーディングを実行することができます。
- 4** **【ディスクを閉じない】** ディスクへの書き込みプロセスの後、ディスクを閉じない場合に使用します。別のCD/DVD書き込みソフトウェアを使って、同じディスクに新しいファイルを追加することができます。ただし、DVDプレーヤーなどでの再生互換性が著しく低下します。

TIPS

バッファアンダーランエラー：ディスクにデータを書き込む途中にデータ転送量が減少するなどして、ドライブのデータを蓄えておくバッファが空になると書き込みエラーが発生すること。BURN-Proof機能やJustLink機能を搭載したドライブではバッファが空になる前にディスクへの書き込みを一時停止して、バッファにデータが溜まってから書き込みを再開します。これでパソコンからドライブへのデータ転送が不安定でも、エラーが発生することなく確実にデータが書き込めます。

書き込むビデオの形式やクオリティの設定

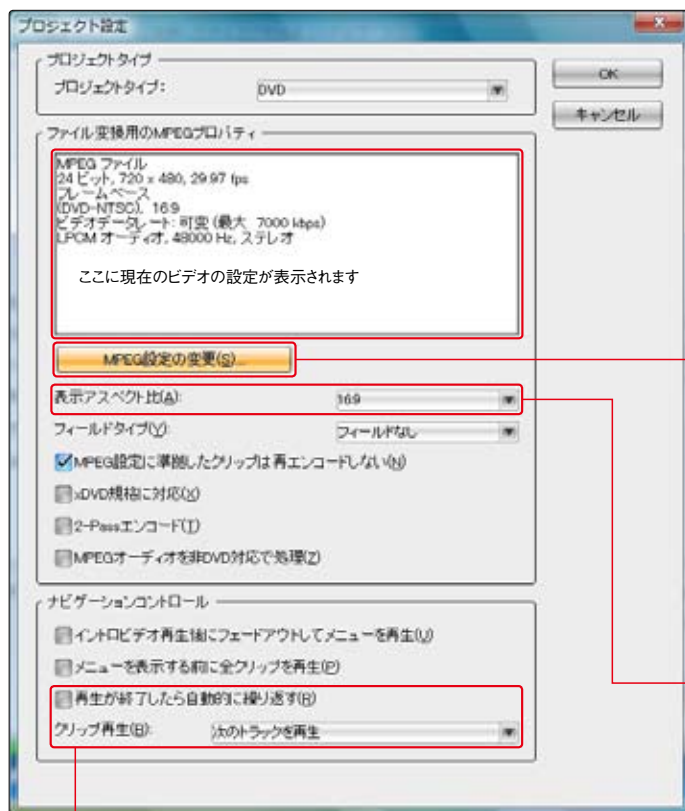
DVD MovieWriterは、キャプチャしたビデオや取り込んだビデオファイルをすべてMPEGファイルに変換してDVDディスクに書き込みます。DVDに書き込むビデオのサイズやクオリティは変更することができます。

- 1 ビデオの形式やクオリティを変更するには、画面左下の「プロジェクト設定」ボタンをクリックします。



「プロジェクト設定」ボタン

- 2 「プロジェクト設定」ダイアログボックスに、DVDディスクに書き込むMPEG形式のプロパティが表示されます。変更する場合は「MPEG設定の変更」ボタンをクリックします。表示されるリストにはMPEG設定がいくつか用意されているので、そこから最適な設定を選びます。「カスタム」をクリックすると表示サイズやビデオデータレート、オーディオの形式、クオリティの詳細な設定ができます。設定ができれば、「OK」ボタンをクリックします。



「MPEG設定の変更」の各設定の画質は、以下のとおりです。

【**最高画質**】ハイビジョンクオリティの画質。ハイビジョン画質で撮影した映像をそのまま保存するのに適しています。

【**高画質**】市販のDVDビデオ並の高画質。保存用のビデオに向いています。

【**標準画質**】HDDレコーダーの「SP（標準）」設定で録画した程度の画質。テレビ番組を保存するのに適しています。

【**長時間**】HDDレコーダーの「LP（長時間）」設定で録画した程度の画質です。

プラズマや液晶テレビでのワイド画面「16:9」に変更することができます。「4:3」で取り込んだビデオや「4:3」で作成したメニュー画面は、ここで「16:9」を選択すると、映像を拡張したり上下をカットすることなく、元映像のアスペクト比を維持したまま「16:9」のワイド映像に変換することができます。

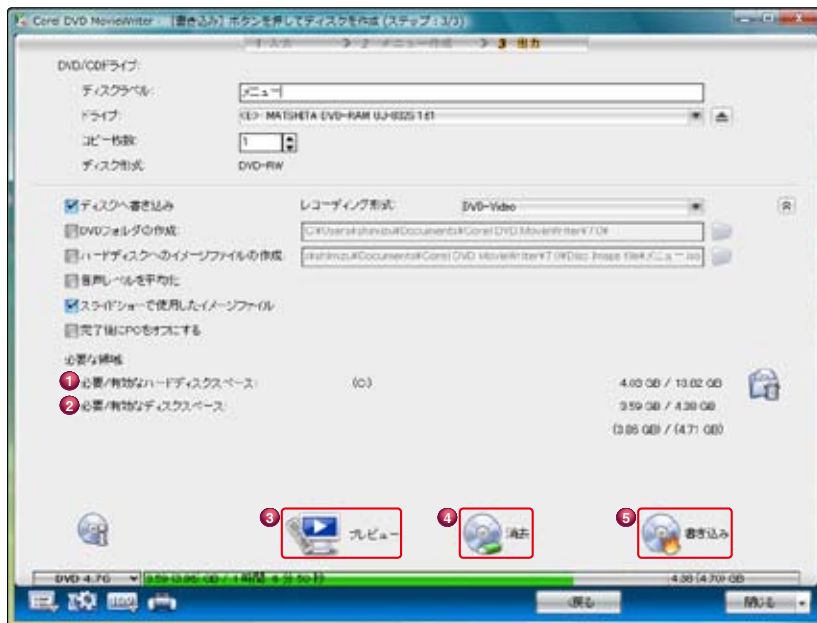
ビデオクリップの再生後の動作を設定します。

【**再生が終了したら自動的に繰り返す**】ここをクリックすると、ビデオが終了した後も繰り返し再生します。

【**クリップ再生**】「メニューへ戻る」は、ビデオの再生が終わるとトップ画面の「メインメニュー」を表示します。「次のトラックを再生」は、ビデオの再生が終わると次のビデオを再生します。

ディスクの作成開始

書き込みの設定ができれば、設定内容を確認します。



1 [必要/有効なハードディスクスペース]

作成されるファイルを保存するために必要なハードディスク容量と、使用可能なハードディスクの空き容量を表示します。

2 [必要/有効なディスクスペース]

ディスクにビデオファイルを保存するために必要な容量と、使用可能な空き容量を表示します。

3 [プレビュー]

「プレビュー」ボタンをクリックすると、「[[再生]] ボタンを押してプレビューを開始」画面が表示されます。書き込む前にもう一度ビデオの内容を確認する場合に使います。

4

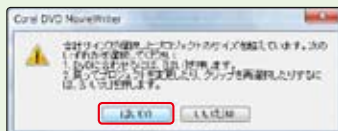
「消去」ボタンをクリックすると、すでにデータが書き込まれたディスクをフォーマットします。

5

「書き込み」ボタンをクリックすると、レコーディングを開始します。

TIPS

DVD-Video形式やDVD+VR形式、DVD-VR形式で書き込む際に、作成するビデオがDVDの容量を少しだけ超えている場合は、右のダイアログが表示されます。「はい」をクリックすると、ビデオのビットレートを変換してDVDの容量に収まるようにしてくれます。



注意

映像の画質や時間等によっては、プロジェクトサイズを縮小することができない場合があります。

注意

プロジェクトに作成しようとしているディスクの形式に合わないファイル (DV形式のAVIファイルなど) を挿入している場合、「プロジェクトの設定」で設定した形式のMPEGファイルに変換する作業が行われます。その場合はディスクの作成に、より時間がかかります。

注意

ディスクの状態 (記録メディアの特性、キズ、汚れなど) やドライブの状態等によっては、正常に書き込みができない場合があります。

- 6** ディスクへの書き込みがはじまると、進行状況を表すグラフが表示されます。ディスクへの書き込みを途中でやめる場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。



「経過時間」ディスク編成や消去、書き込みなどを行う際の作業時間 (時 : 分 : 秒) が表示されます。

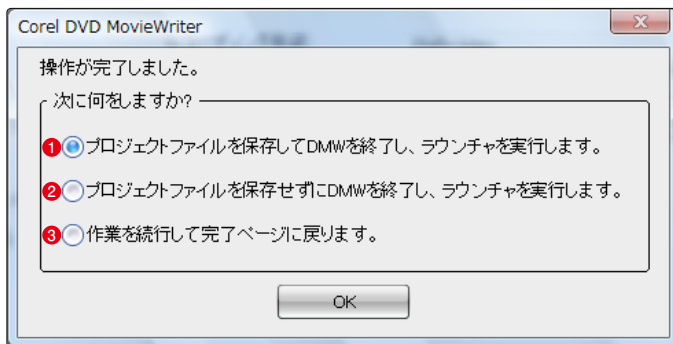
「進行状況」レコーディング進捗をグラフで表示します。

- 7** ディスクへの書き込みが終了すると、「完了」ダイアログボックスが表示されます。このあとの作業を選んで、「OK」ボタンをクリックします。

- 1** 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので、プロジェクトを保存して、「ラウンチャ」画面に戻ります。

- 2** ディスクがイジェクトされて、「ラウンチャ」画面に戻ります。

- 3** 「書き込み」ボタンをクリックしたときと同じ状態になります。さらに書き込みを続ける場合に選択します。



PART 2

Section
10

DVD-RAMディスクの作成

DVD-RAMディスクを作成します。DVD-RAMディスクには、メニュー画面を作成することはできません。

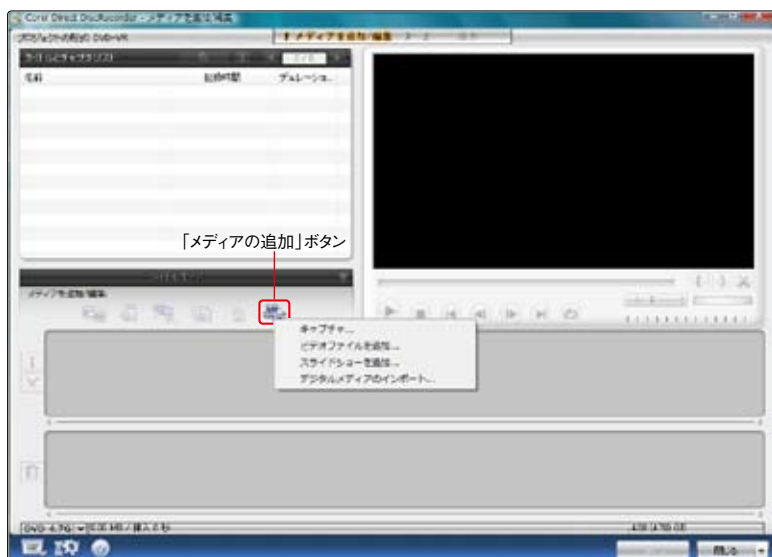
ディスクの新規作成

DVD-RAMディスクを作成するには、ディスクをパソコンにセットして、「ラウンチャ」画面の「ホーム」タブから「ビデオディスクの作成」をクリックします。表示される「プロジェクト形式」ダイアログボックスで「新規プロジェクト」にチェックを入れ、ディスクタイプから「DVD」を選択します。「形式を変更」の「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「DVD-VR」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



映像素材の追加

「メディアを追加／編集」画面が表示されます。「メディアの追加」ボタンをクリックして、表示されるメニューから取り込む素材に合わせて項目をクリックします。各素材の取り込みについては、26ページをお読みください。



ビデオの編集

1

取り込んだ映像は、「メディアリスト」に表示されます。ビデオのいらない部分を削除するには、「ビデオの複数カット」ボタンをクリックします。ビデオのイン点・アウト点の設定もここで行います。



2

「ビデオの複数カット」画面が表示されます。ここでは、取り込んだビデオのいらない部分を削除します。操作については42ページをお読みください。また、「結合」ボタンや「チャプタの追加/編集」ボタンなどについては、45、56ページをお読みください。



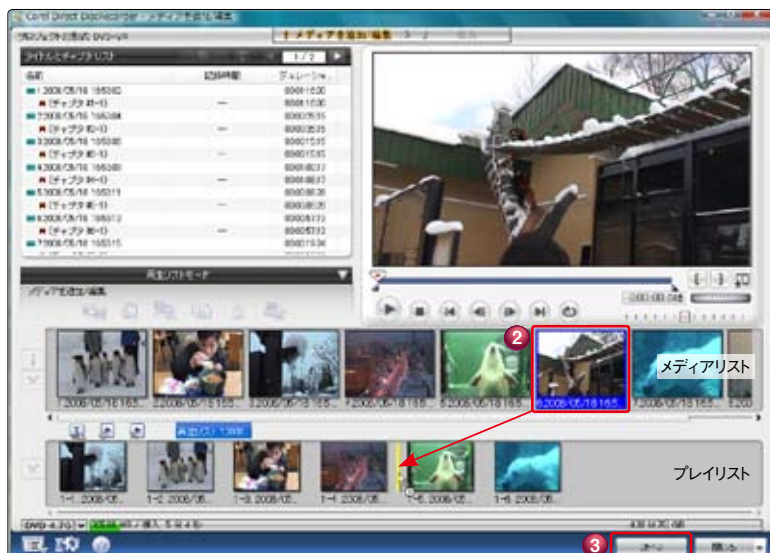
プレイリストの作成

- 1 取り込んだビデオの再生順を変更するには、プレイリストを作成します。「タイトルモード」の「▼」をクリックして、表示されるメニューから「再生リストモードに切り替え」をクリックします。



- 2 「メディアリスト」からビデオクリップを「プレイリスト」にドラッグします。

- 3 ディスクに書き込むには、「次へ」ボタンをクリックします。



注意

DVD-RAMディスクには、メニューを作成することはできません。

ビデオの確認と書き込み

- 1 「出力」画面が表示されます。作成するディスクの内容を確認するには、「再生」ボタンをクリックします。

- 2 「書き込み」オプションや「ディスクの初期化」については、80、99ページをお読みください。「書き込み」ボタンをクリックすると、DVD-RAMへの書き込みが開始されます。



Blu-ray ディスクの作成

Blu-ray ディスクに BDAV 形式や BDMV 形式でハイビジョン映像を書き込むことができます。BDMV 形式では DVD ディスクと同じようにメニューの作成とカスタマイズが行えます。

Blu-ray ディスクの新規作成

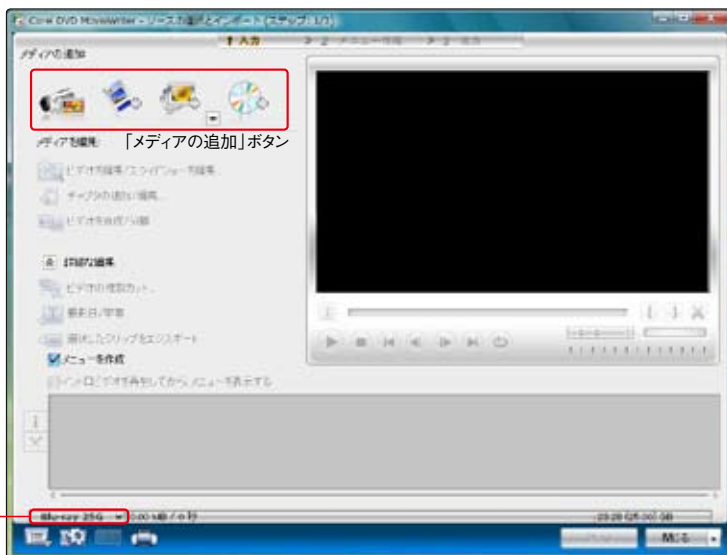
Blu-ray ディスクを作成するには、Blu-ray ディスクをパソコンにセットして、「ラウンチャ」画面の「ホーム」タブから「ビデオディスクの作成」をクリックします。表示される「プロジェクト形式」ダイアログボックスで「新規プロジェクト」にチェックを入れ、ディスクタイプから「Blu-ray」を選択します。「形式を変更」の「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「メニューあり」か「メニューなし」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



BDMV 形式 (メニューあり) の作成

メニューありの BDMV 形式を選択すると、「ソースの選択とインポート」画面が表示されます。取り込む素材に合わせて「メディアの追加」ボタンをクリックします。

この後の操作については、26 ページ以降をお読みください。



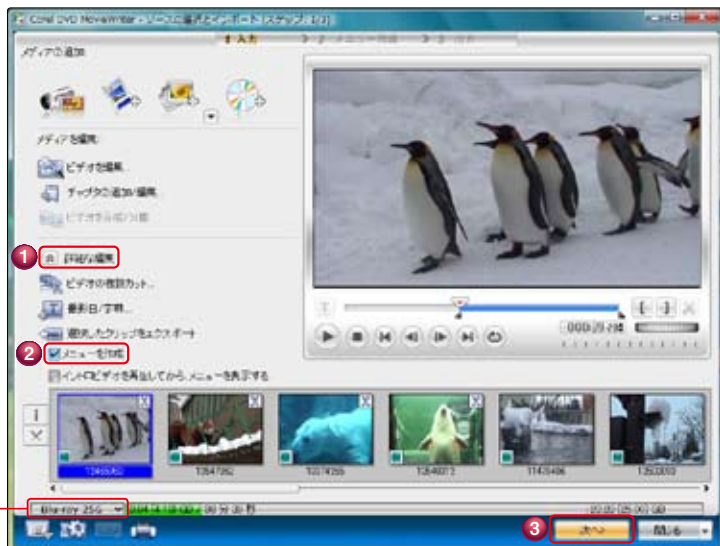
ここをクリックして、セットした Blu-ray ディスクの容量を選択

BDMV形式でメニューを作成

- 1** BDMV形式のBlu-rayディスクには、メニューを作成できます。書き込むビデオができあがったら、「次へ」ボタンをクリックします。BDMV形式では、ビデオの再生中にサムネイル画像のチャプタメニューを表示し、見たいビデオにジャンプできる「ポップアップメニュー」も作成できます。メニューを作成するには「詳細な編集」をクリックして、「メニューを作成」にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。

メニュー

「ポップアップメニュー」は、ビデオの再生中にサムネイル画像のチャプタメニューを表示して、見たいビデオにジャンプできる機能です。



ここをクリックして、セットしたBlu-rayディスクの容量を選択

- 2** 「テンプレートを選択してメニューを作成」画面が表示されます。「ギャラリー」タブをクリックして「▼」ボタンをクリックし、表示されるメニューからメニューに使用するテンプレートの種類を選びます。表示されるテンプレートの一覧から使用するメニューをクリックします。



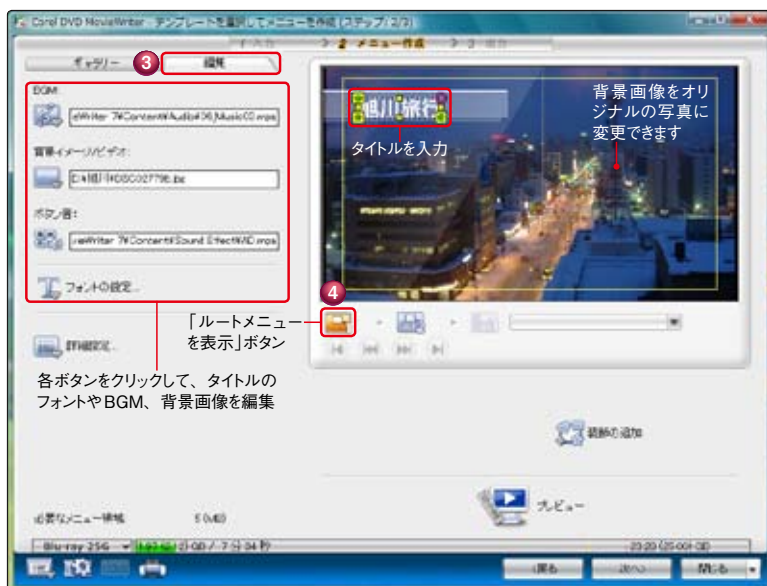
ポップアップメニュー付きのテンプレートは、メニュー名に「popup」と書かれています

注意

ポップアップメニューを選択すると、モーションメニューやモーションデュレーション、移動パス、メニューイン・アウト、ノートメニューは無効になります。

3 メニューにタイトルを入れたり、BGMをつけたりするには「編集」タブをクリックします。

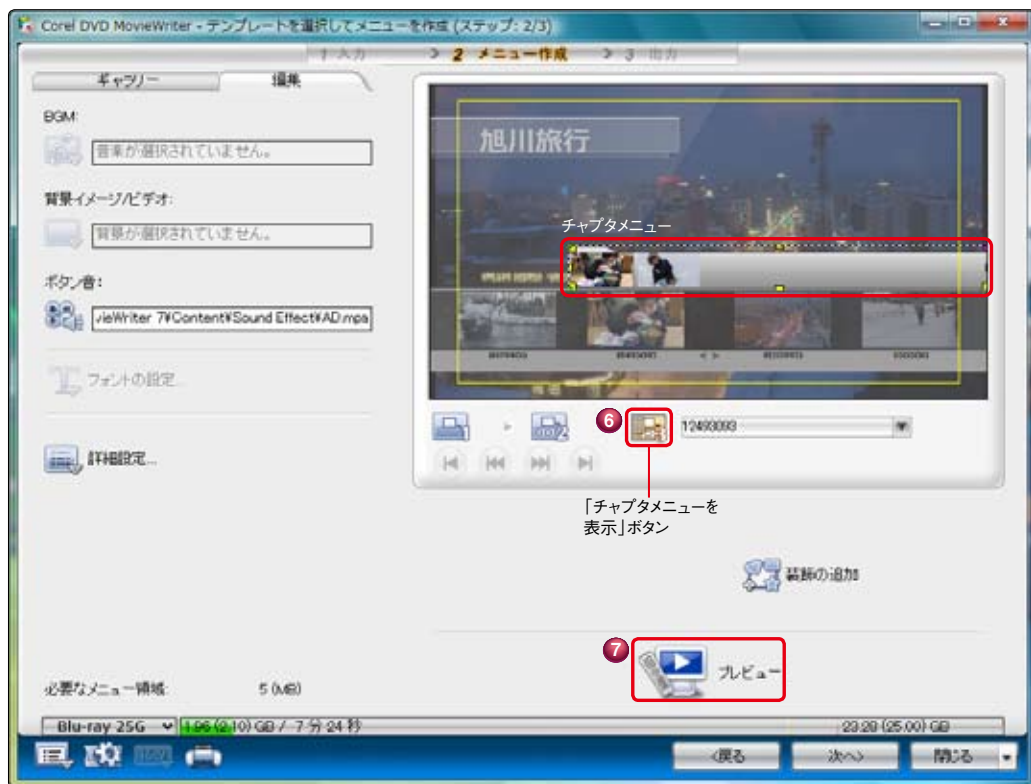
4 「ルートメニューを表示」ボタンをクリックして、メニューにタイトルや背景イメージ、BGMを編集します。詳しい操作は62ページ以降をお読みください。



5 「タイトルメニューを表示」ボタンをクリックして、ビデオのサムネイルの名前を変更します。詳しい操作は64ページをお読みください。



- 6** 「チャプタメニューを表示」ボタンをクリックして、チャプタメニューの設定を行います。チャプタメニューはビデオのサムネイルを選択したときに、設定されているチャプタの映像を表示します。チャプタメニューをクリックすると、黄色のポインタが表示されます。ポインタをドラッグすると、チャプタメニューのサイズやレイアウトを変更できます。



- 7** 「プレビュー」ボタンをクリックして、作成するビデオがどのように再生されるかをチェックします(→P.77)。



ビデオの再生中にビデオのメニューを表示し、見たいビデオにジャンプできる「アドバンス機能」を使ったBlu-rayディスクが作成できます。

Blu-ray ディスクに書き込む

メニューが作成できたら、「次へ」ボタンをクリックします。「[書き込み]ボタンをクリックしてディスクを作成」画面が表示されます。ここでディスクの書き込みを行います。詳しい操作については、78ページ以降をお読みください。

BD-AV形式(メニューなし)の作成

1 BDAV形式(メニューなし)を選択すると、「メディアを追加/編集」画面が表示されます。取り込む素材に合わせて「メディアの追加」ボタンをクリックします。

各素材の取り込みについては、26 ページ以降をお読みください。

取り込んだ映像は、「メディアリスト」に表示されます。ビデオのいらない部分を削除するには、「ビデオの複数カット」ボタンをクリックします。



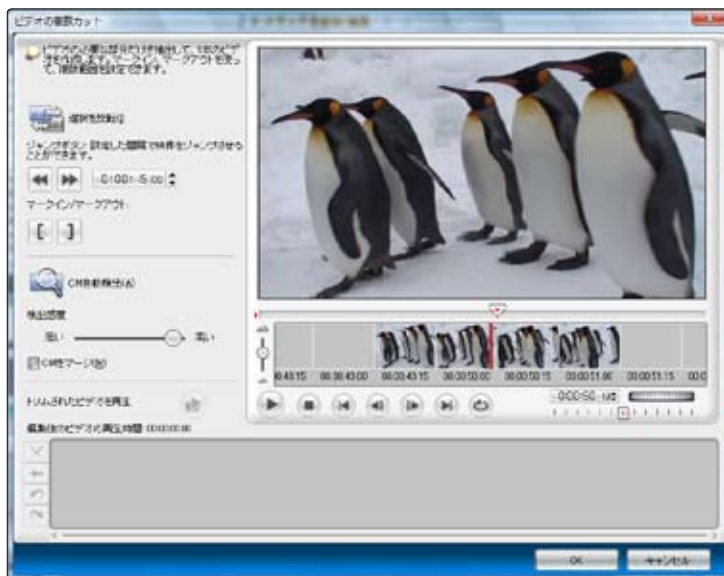
ここをクリックして、セットしたBlu-ray ディスクの容量を選択

注意

BD-AVの場合は、「スライドショーの編集」がありません。

2 「ビデオの複数カット」画面が表示されます。ここでは、取り込んだビデオのいらない部分を削除します。操作については、42 ページをお読みください。

また、「結合」ボタンや「チャプタの追加/編集」ボタンなどについては、45、56 ページをお読みください。



注意

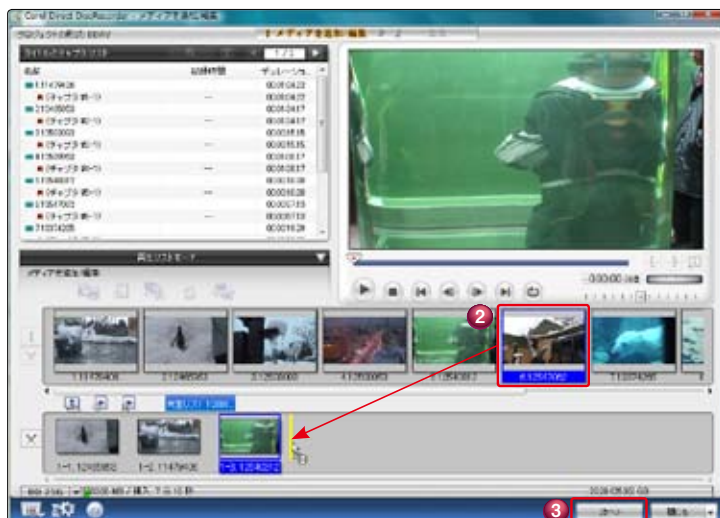
Blu-rayの場合は、ワンフレーム・マルチトリム(フレーム単位のプレビュー)がありません。

ビデオの再生順を入れ替える

1 取り込んだビデオの再生順を変更するには、プレイリストを作成します。「タイトルモード」の「▼」をクリックして、表示されるメニューから「再生リストモードに切り替え」をクリックします。



2 「メディアリスト」からビデオクリップを「プレイリスト」にドラッグします。



3 ディスクに書き込むには、「次へ」ボタンをクリックします。

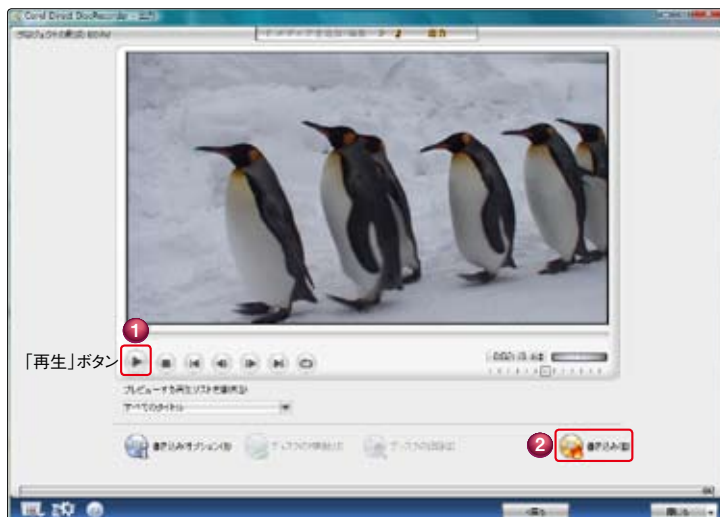
注意

Blu-rayの場合は再生リストの編集機能がありません。

ビデオの確認と書き込み

1 「出力」画面が表示されます。作成するディスクの内容を確認するには、「再生」ボタンをクリックします。

2 「書き込み」ボタンをクリックすると、Blu-rayディスクへの書き込みが開始されます。



PART 3

ディスクに直接録画と再編集

Section 1 DVDに直接書き込む

Section 2 Blu-ray に直接書き込む

Section 3 DVDディスクの編集



PART 3

Section

1

DVDに直接書き込む

DVD MovieWriter はビデオ機器の映像をパソコンを通して直接 DVD ディスクに、家庭用 DVD レコーダーと同じ形式で書き込むことができます。

「ディスクに直接録画」はビデオ機器などの映像をキャプチャして、ビデオファイルにすることなく、直接 DVD ディスクに書き込みます。編集する必要がなく、そのまま DVD ディスクに保存しておきたいときに使用します。DV テープやビデオテープなどのアナログ素材を DVD で保管する場合などに便利です。

書き込む DVD ディスクをパソコンにセットします。DV カメラやビデオ機器から再生したビデオを直接 DVD ディスクに書き込むには、「ラウンチャ」画面から「キャプチャ & インポート」タブをクリックします。「ディスクに直接録画」をクリックして、「開始」ボタンをクリックします。表示される「プロジェクト形式」ダイアログで「DVD」をクリックし、プロジェクトの形式を選択して、「OK」ボタンをクリックします。



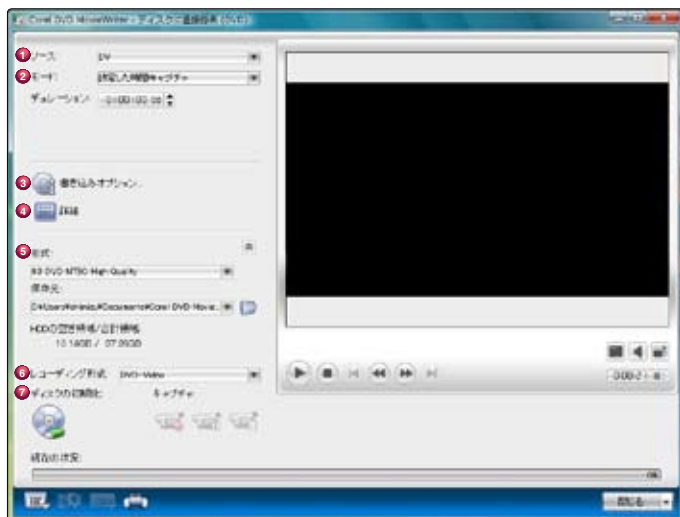
ビデオの取り込み設定

「ディスクに直接録画」画面が表示されます。

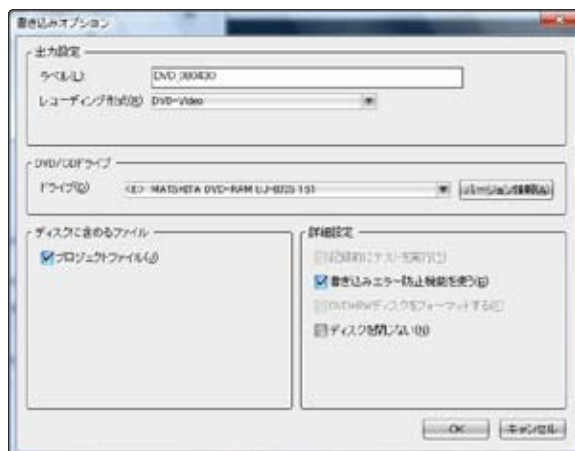
① 「ソース」からビデオ機器を選択します。

② 「モード」を設定します。

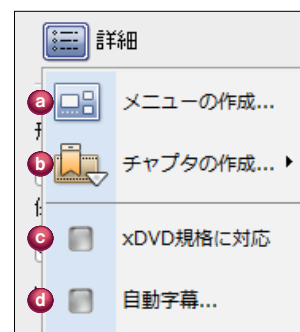
各項目の詳しい設定は、27 ページ以降をお読みください。



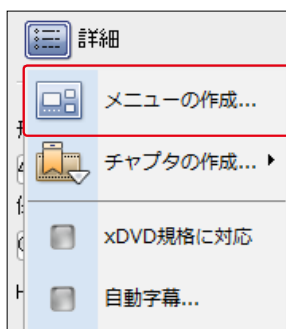
3 「書き込みオプション」ボタンをクリックすると、「書き込みオプション」ダイアログボックスが表示されます。「ラベル」にDVDディスクの名前を入力します。書き込み型DVDドライブを複数搭載している場合は、「DVD/CDドライブ」から使用するドライブを設定します。「ディスクに含めるファイル」と「詳細設定」については、81～82ページをお読みください。



4 「詳細」ボタンをクリックして、ビデオを直接録画するときの詳細な設定を行います。ここではディスクのメニューの作成やチャプタの設定、xDVD規格の対応、自動字幕の設定ができます。



a DVDディスクには、メニューを作成することができます。「詳細」ボタンをクリックして「メニューの作成」を選択すると、「メニューの作成」画面が表示されます。ここでは、メニューに使用するテンプレートを選んだり、メニューが表示されている間に流れるBGM、メニューの背景画像などを設定できます。メニューを作成して「OK」ボタンをクリックすると、「ディスクに直接録画」画面に戻ります。メニューの作成方法については60ページ以降をお読みください。



注意

DVD-VR形式のディスクの場合は、メニューを作成することはできません。

- b** 直接ディスクに書き込むビデオには、自動でチャプタを設定することができます。初期設定では10分ごとにチャプタを付けるようになっています。「詳細」ボタンをクリックし、「チャプタの作成」を選択して表示されるメニューから「チャプタを追加しない」を選択すると、録画するビデオにはチャプタはつきません。

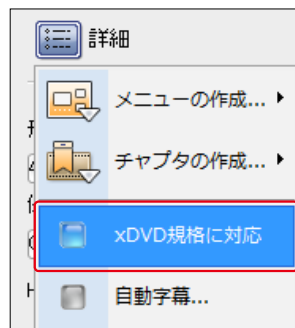
「チャプタオプション」を選択すると、「自動的にチャプタを追加」ダイアログボックスが表示されます。「シーンをチャプタとして挿入」にチェックを入れると、DVDカメラのオン・オフを自動で検知してチャプタを設定します。「一定間隔でチャプタを追加」にチェックを入れると、指定した時間でチャプタを設定します。



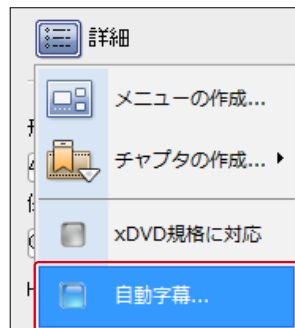
- c** 「xDVD規格に対応」にチェックを入れると、DVDに通常の録画時間以上を録画できます。10話くらいの連続テレビドラマを1枚のDVDに保存する場合などに便利です。

TIPS

xDVDとは、1GOP単位当たり、最大18フレームと規定されている「DVD-Video規格」を拡張した圧縮規格のこと。4.7GBのDVDに最大10時間程度録画できます。



- d** 「自動字幕」にチェックを入れると、DVDに書き込むビデオに日付情報が字幕として取り込まれます。



- 5** 「高度なキャプチャ設定」ボタンをクリックして、「形式」と「保存先」を設定します。

「形式」は、ディスクに書き込むビデオのクオリティを選びます。「保存先」は、ディスクに書き込むときのハードディスクに一時作成するデータの保存場所を指定します。



- 6 「レコーディング形式」からDVDに書き込むビデオの録画方式を選択します。



- 7 データを書き込んであるディスクを使用する場合は、「ディスクの初期化」ボタンをクリックします。ディスクにビデオを書き込むときに、自動でディスクをフォーマットします。

録画開始

- 1 取り込みの設定ができれば、ビデオ機器を操作して映像の取り込み開始位置を探し、「一時停止」にします。

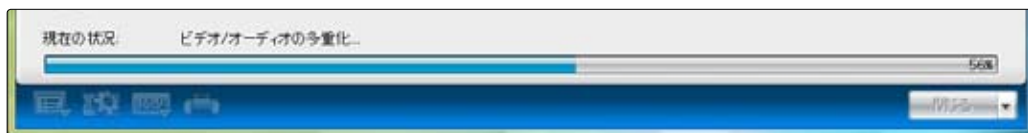
- 2 「キャプチャを開始」ボタンをクリックすると、DVカメラの場合はビデオが再生されて録画を開始します。ビデオ機器の場合は「再生」ボタンを押します。



- 3 「キャプチャを一時停止」ボタンをクリックすると、録画が一時ストップします。次に録画したい映像まで早送りして、そこから録画を再開することができます。キャプチャを終えるには、「キャプチャを停止」ボタンをクリックします。



- 4 DVDディスクへの書き込みが開始します。「現在の状況」にディスクの書き込みの進行状況がグラフで表示されます。



- 5 DVDディスクへの書き込みが終了すると、「完了」画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、「ラウンチャ」画面に戻ります。



注意

DVD MovieWriterでは、コピーガードやスクランブルなどの著作権保護がかかっている製品は、DVDディスクに録画することはできません。

PART 3

Section

2

Blu-rayに直接書き込む

DVD MovieWriterはハイビジョン画質に対応したデジタルビデオカメラなどの映像を、パソコンを通して直接Blu-rayディスクに書き込むことができます。

「ディスクに直接録画」は、ビデオ機器などの映像をキャプチャしてビデオファイルにすることなく、直接Blu-rayディスクに書き込みます。編集する必要がなく、そのままBlu-rayディスクに保存しておきたいときに使用します。ハイビジョン画質で録画したDVテープなどをBlu-rayディスクで保管する場合などに便利です。

書き込むBlu-rayディスクをパソコンにセットします。ハイビジョン画質に対応したデジタルビデオカメラをパソコンに接続します。「ラウンチャ」画面の「キャプチャ & インポート」タブから「ディスクに直接録画」を選択して、「開始」ボタンをクリックします。表示される「プロジェクト形式」ダイアログボックスで、書き込むディスクのタイプから「Blu-ray」をクリックします。「形式を変更」の「▼」をクリックし、「メニューあり」か「メニューなし」を選択して「OK」ボタンをクリックします。



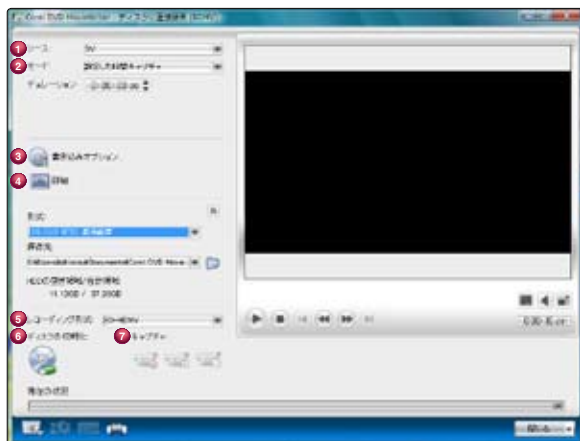
ビデオの取り込み設定と書き込み

「ディスクに直接録画」画面が表示されます。

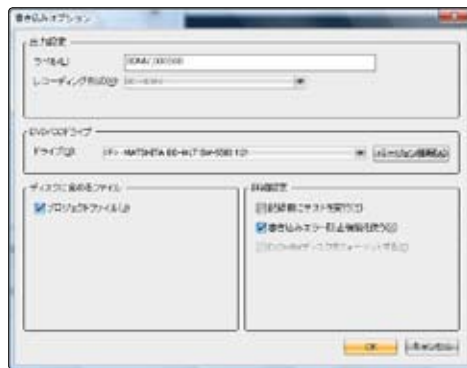
1 「ソース」からビデオ機器を選択します。

2 「モード」を設定します。

各項目の詳しい設定は、27 ページ以降をお読みください。



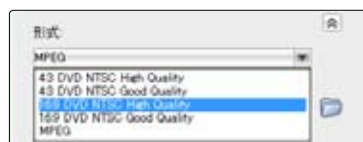
3 「書き込みオプション」ボタンをクリックすると、「書き込みオプション」ダイアログボックスが表示されます。「ラベル」にBlu-rayディスクの名前を入力します。書き込み型ドライブを複数搭載している場合は、「ドライブ」からBlu-rayドライブを設定します。「ディスクに含めるファイル」と「詳細設定」については、81～82ページをお読みください。



4 「詳細」ボタンをクリックすると、ビデオの書き込みに関するその他の設定項目が表示されます(→ P.60、P.98)。



5 「形式」の「▼」ボタンをクリックして、ビデオの書き込み形式を選択します。



6 すで書き込まれているBlu-rayディスクをフォーマットするには、「ディスクの初期化」ボタンをクリックします。

7 「キャプチャを開始」ボタンをクリックすると、ビデオカメラが自動で再生され、Blu-rayディスクに書き込みが開始されます。録画を一時止めるには「キャプチャを一時停止」ボタンを、録画を終えるには「キャプチャを中止」ボタンをクリックします。Blu-rayディスクへの書き込みが完了すれば、完了です。



「キャプチャを開始」ボタン



「キャプチャを一時停止」ボタン

「キャプチャを中止」ボタン

PART 3

Section

3

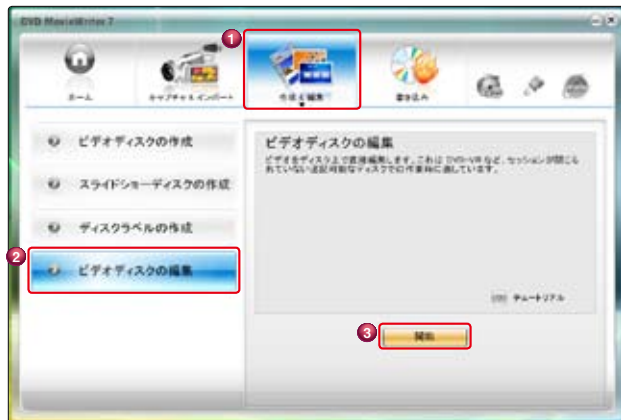
DVDディスクの編集

一度書き込んだディスクにビデオやスライドショーを追加したり、内容を編集することができます。DVDレコーダーで録画したディスクを編集することもできます。

DVD MovieWriter では、DVD-Video形式で書き込んだDVD-RWやDVD-VR形式で書き込んだDVD-RW、DVD-RAMディスクの内容を読み込み、再編集したり新たにビデオを追記することができます。

1 編集するディスクをパソコンにセットします。一度書き込んだディスクに追記したりディスクの内容を編集するには、「ラウンチャ」画面から「作成&編集」タブをクリックします。

2 「ビデオディスクの編集」を選択して、「開始」ボタンをクリックします。



DVD-Video形式で録画したディスクの再編集

DVD-Video形式のディスクでは、「ソースの選択とインポート」画面が表示されます。メディアリストにはディスクに書き込まれたビデオなどが表示されます。ここに新たにビデオを取り込んだり、違う効果を加えたり削除したりなどの編集ができます。

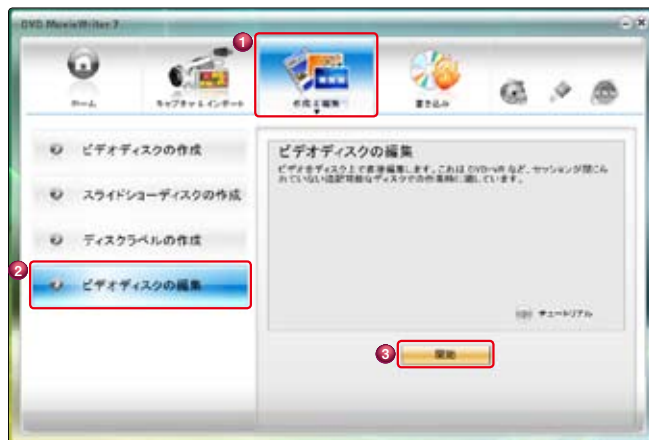
ビデオの追加や編集の詳しい操作については、26ページ以降をお読みください。



DVDレコーダーで録画したディスクの編集

DVDレコーダーで録画したDVD-RAMやDVD-RWディスク(DVD-VR形式)を編集することができます。

1 DVDレコーダーで録画したDVD-RAMやDVD-RWディスクをパソコンにセットします。「ラウンチャ」画面の「作成&編集」タブから「ビデオディスクの編集」をクリックして、「開始」をクリックします。



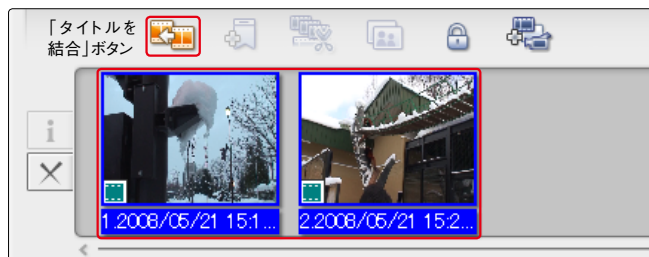
2 「メディアを追加/編集」画面が表示されます。録画したディスクにビデオを追加するには、「メディアの追加」ボタンをクリックします。各素材の取り込み方は、26ページ以降をお読みください。

3 録画したビデオからCMだけをカットしたり、いらない部分を削除するには、ビデオクリップを選択して「ビデオの複数カット」をクリックします。「ビデオの複数カット」画面が表示されます。詳しい操作方法は、42ページをお読みください。



4 ビデオを分割するには、ビデオクリップを選択して、ジョグバーで分割する位置に移動します。「プログラムを分割」ボタンをクリックすると、ビデオが分割されます。

5 2つのビデオをひとつにするには、「Ctrl」キーを押しながらビデオクリップを選択して、「タイトルを結合」ボタンをクリックします。



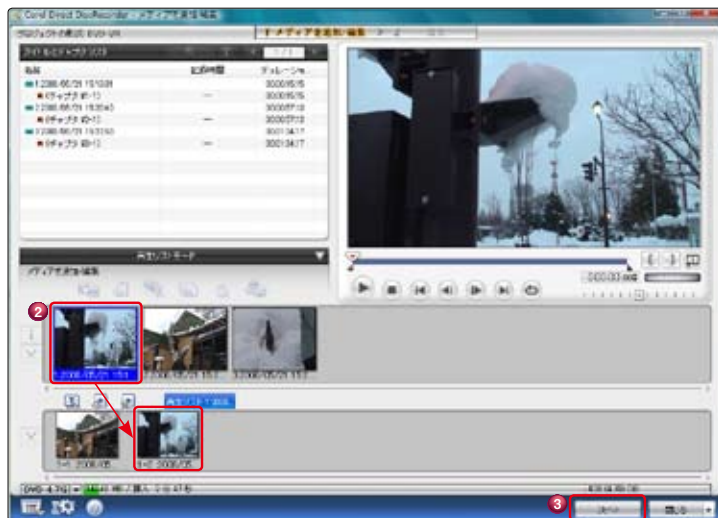
プレイリストの作成

1 取り込んだビデオの再生順を変更するには、プレイリストを作成します。「タイトルモード」の「▼」をクリックして、表示されるメニューから「再生リストモードに切り替え」をクリックします。



2 「メディアリスト」からビデオクリップを「プレイリスト」にドラッグします。

3 ディスクに書き込むには、「次へ」ボタンをクリックします。



注意

DVD-RAM および DVD-VR形式のDVD-RWディスクの編集では、編集内容を保存することはできません。

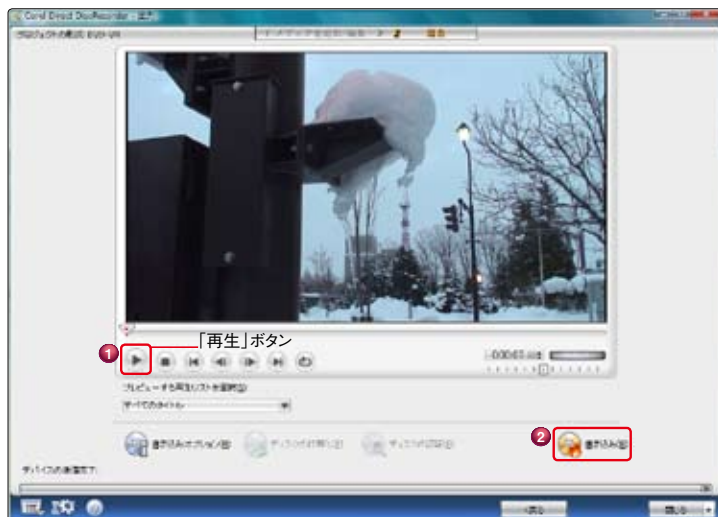
注意

DVD-RAM および DVD-VR形式のDVD-RWディスクには、メニューを作成することはできません。

ビデオの確認

1 「出力」画面が表示されます。作成するディスクの内容を確認するには、「再生」ボタンをクリックします。

2 「書き込み」ボタンをクリックすると、ディスクへの書き込みが開始されます。



PART 4

スライドショーや音楽、 データディスクの作成

Section 1 スライドショーディスクの作成

Section 2 音楽ディスクの作成

Section 3 データディスクの作成



PART 4

Section

1

スライドショーディスクの作成

デジタルカメラで撮影した写真や画像ファイルなどをスライドショーにしてディスクに書き込みます。

デジタルカメラで撮影した写真やお手持ちの画像ファイルを集めてスライドショーを作成し、それをCDやDVDディスクに書き込むことができます。できあがったスライドショーは、パソコンや家庭用CD/DVDプレーヤーで鑑賞できます。

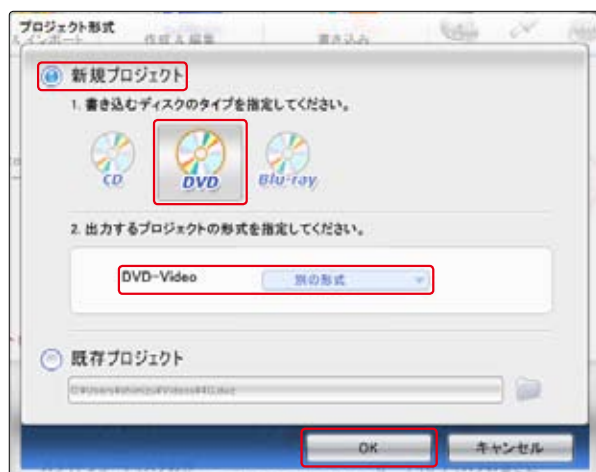
写真や画像の取り込み

- 1 スライドショーを作成するには、「ラウンチャ」画面の「ホーム」タブから「スライドショーディスクの作成」ボタンをクリックします。

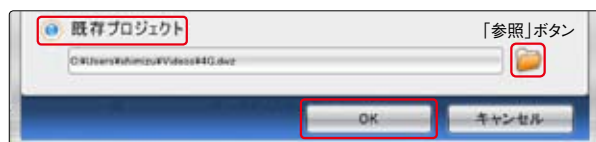


静止画は、500枚まで追加することができます。

- 2 新しくスライドショーを作成するには、「新規プロジェクト」にチェックを入れて、スライドショーを書き込むディスクのタイプを選択します。出力するプロジェクトの形式を選択して、「OK」ボタンをクリックします。



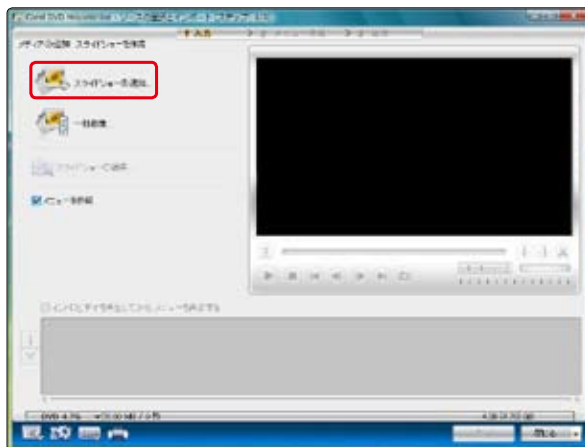
- 3 すでに作成してあるスライドショーを編集する場合は、「既存プロジェクト」にチェックを入れます。「参照」ボタンをクリックして、表示される「ファイルを開く」ダイアログボックスで、すでに作成してあるプロジェクトファイルを選び、「OK」ボタンをクリックします。



- 4 「ソースの選択とインポート」画面が表示されます。「スライドショーの追加」ボタンをクリックします。

ヒント

フォルダごと、または複数のフォルダにある写真をすべて取り込むには、「一括収集」ボタンをクリックします。表示される「一括収集」ダイアログボックスで、取り込むフォルダを指定します。



- 5 「スライドショーの追加」画面が表示されます。左のウィンドウから取り込みたい写真などの画像が入っているフォルダを選択すると、右のウィンドウに画像のサムネイルが表示されます。ここから取り込む画像をクリックして選択し、「写真を追加」ボタンをクリックします。

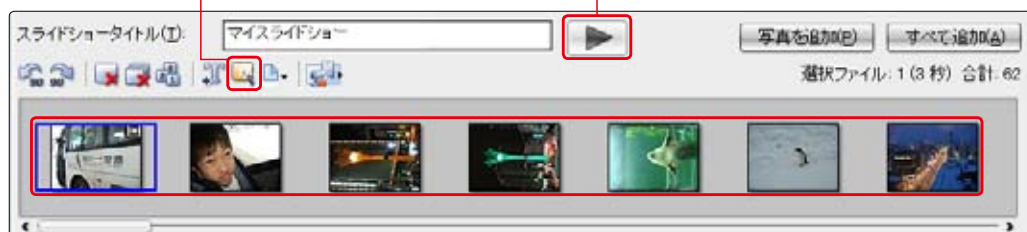


- 6 フォルダ内のすべての写真を選ぶには、「すべて追加」ボタンをクリックします。複数の写真を選択する場合は、「Ctrl」キーを押しながら写真をクリックして、「写真を追加」ボタンをクリックします。

- 7 追加した写真はリストに表示されます。写真を修整するには、「スピード修正」ボタンをクリックします。

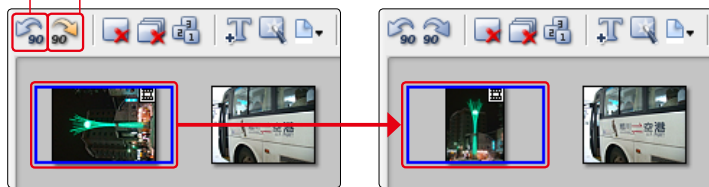
「スピード修正」ボタンをクリックすると、選択した写真の明るさやコントラストを調整できます。

「プレビュー」ボタンをクリックすると、スライドショーを確認できます。



- 8** 横向きで表示される写真を縦表示にします。写真を選択して「右に回転」、または「左に回転」ボタンをクリックします。写真の向きが90度回転します。

左に回転 右に回転

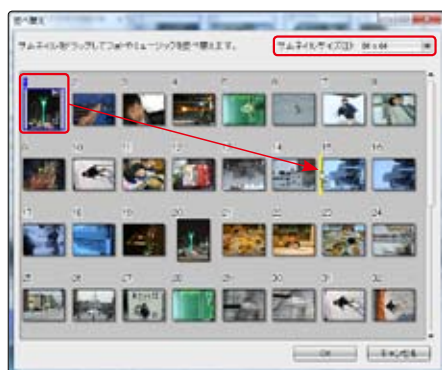
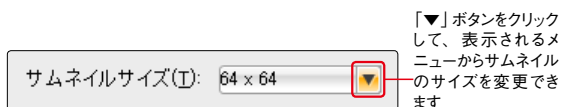
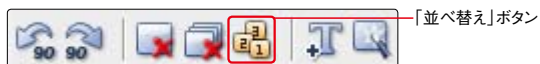


- 9** 必要のない写真は、「削除」ボタンをクリックして削除します。リストに配置した写真をすべて削除するには、「すべて削除」ボタンをクリックします。

「削除」ボタン 「すべて削除」ボタン



- 10** スライドショーで写真を表示する順番を入れ替えるには、「並べ替え」ボタンをクリックします。「並べ替え」ダイアログボックスが表示されます。表示する順番を入れ替える写真をドラッグして、表示したい位置に移動します。



- 11** 写真にはテキストを入力したりイラストを追加できます。写真を選択して「装飾」ボタンをクリックすると、「装飾」ダイアログボックスが表示されます。テキストを入力するには、「テキスト」タブをクリックします。写真の上でダブルクリックするとテキスト入力カーソルが表示されるので、そこからテキストを入力します。入力したテキストにはフォントやサイズ、文字飾り、色などが設定でき、文字に影をつけることができます。テキスト入力の詳細な設定は、52ページを参照してください。



「装飾」ボタン

「テキスト」タブ 「オブジェクト」タブ



イラストなどを追加するには、「オブジェクト」タブをクリックします。「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューからカテゴリを選択し、イラストを写真にドラッグします。

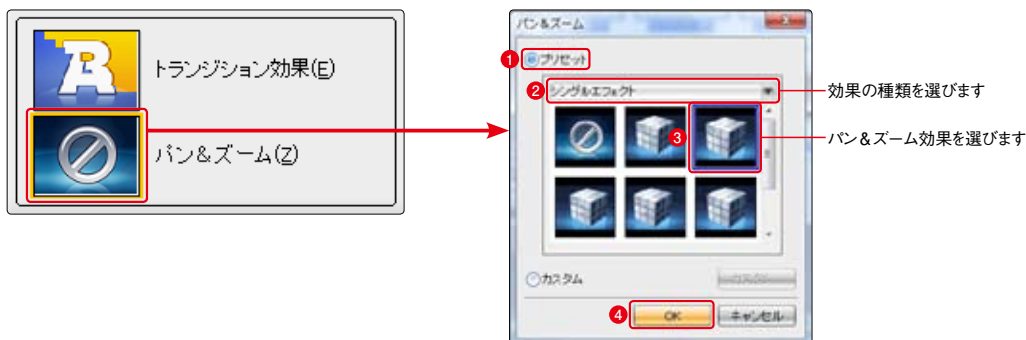
「他のフォトで装飾」ボタンをクリックして、写真を追加することができる

写真や画像に効果を加える

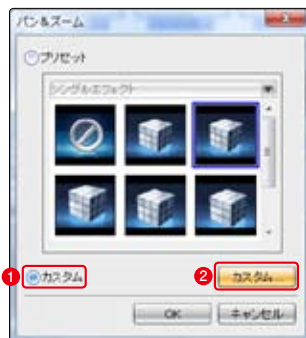
- 1** 写真と写真を切り替えるときに効果を加えることができます。効果には写真が消えていって次の写真が現れる「フェードイン／アウト」、時計回りに次の写真が表示される「クロック」などがあります。「トランジション効果」ボタンをクリックして、表示されるメニューから効果を選びます。



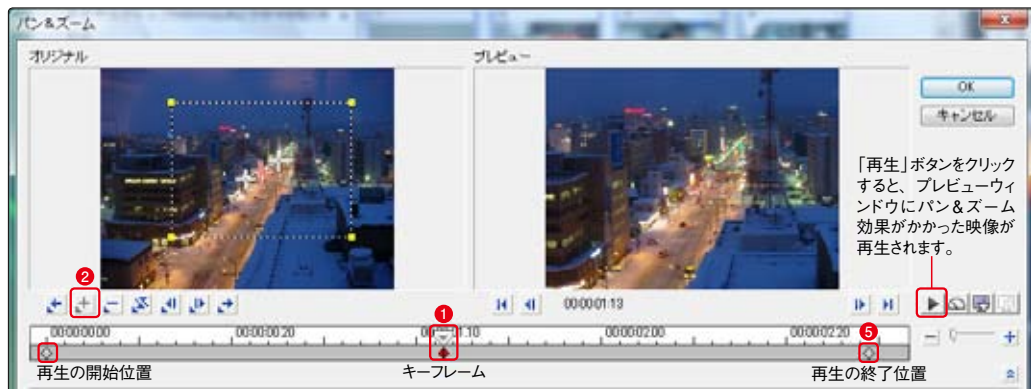
- 2** 「パン＆ズーム」は写真を拡大したり左右に移動したりして動きを加えます。効果を追加するには「パン＆ズーム」ボタンをクリックして、表示されるダイアログボックスで「プリセット」にチェックを入れます。パン＆ズームの種類を選び、一覧から効果を選択して「OK」ボタンをクリックします。



- 3** 「プリセット」では、パン＆ズームのズームする位置や移動方向があらかじめ決まっています。写真の人物の顔にズームインしたいなど、写真に合わせてパン＆ズームを設定するには、「カスタム」にチェックを入れて、「カスタム」ボタンをクリックします。



- 4** 「パン&ズーム」ダイアログボックスが表示されます。ここで、パンやズームを細かく調整することができます。



- ① スライダーをドラッグして、パンやズームをかける位置に移動します。
- ② 「キーフレーム」ボタンをクリックすると、そこにキーフレームが設定されます。
- ③ 十字アイコンをドラッグして、パンやズーム効果をかけたときに表示したい部分の中心に移動します。
- ④ 黄色のポインタで囲まれた部分が再生表示されます。黄色のポインタをドラッグして表示サイズを調整します。サイズを小さくするとズームします。
- ⑤ スライダーを再生の終了位置に移動し、パンやズームの設定をして「OK」ボタンをクリックします。



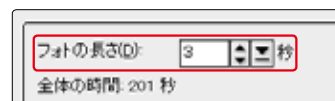
パン&ズームの例：「開始位置」で写真全体を表示。「終了位置」でオレンジのタワーがアップになるように表示サイズを縮小して、オレンジのタワーに十字アイコンを移動。全景からオレンジのタワーのある通りにズームする写真になります。

- キーフレームを2つ打ち、最初のキーフレームを右クリックしてコピーし、次のキーフレームに貼り付けると、2つのキーフレームの間を一時停止させることができます。

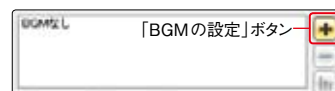
- 5** スライドショーを確認するには、「プレビュー」ボタンをクリックします。



- 6 1枚の写真を表示する時間は、「フォトの長さ」で秒数を設定します。下側にスライドショー全体の再生時間が表示されます。

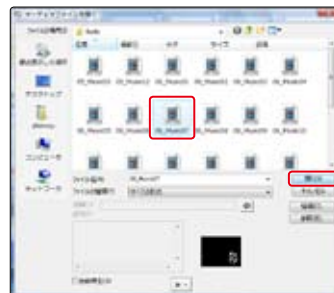


- 7 スライドショーにはBGMをつけることができます。「BGMの設定」ボタンをクリックすると、「オーディオファイルを開く」ダイアログボックスが表示されるので、BGMに使用する音楽ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



注意

BGMの再生時間が写真全体の表示時間より短いと、下図が表示されます。この場合は、さらにBGMを追加するか、写真の枚数を減らします。



- 8 「BGMに合わせる」にチェックを入れると、スライドショーの表示がBGMの再生時間に合わせて調整されます。



- 9 スライドショーにする写真が用意できたら、「OK」ボタンをクリックします。「ソースの選択とインポート」画面のリストにスライドショーが表示されます。スライドショーはいくつも作成できます。「次へ」ボタンをクリックすると、「テンプレートを選択してメニューを作成」画面が表示されます。ここからの作業は60ページ以降を参照してください。メニューを作成しないときは、77ページ以降をお読み下さい。



「メニューを作成」にチェックを入れると、作成したディスクを見るときにメインメニューが表示され、そこからスライドショーを選ぶことができます。

PART 4

Section

2

音楽ディスクの作成

DVD MovieWriterでは、音楽CDやパソコン上のオーディオファイルを集めてオーディオCD/DVDを作成したり、DVD-Audioディスクを作成したりすることができます。

DVD MovieWriterではパソコンや家庭用CDプレーヤー、カーステレオで再生できる音楽ディスクが作成できます。また、MP3形式のファイルをCDやDVDに書き込んだり、DVD-Audioディスクを作成することができます。

1 音楽ディスクをつくるには、ラウンチャ画面の「ホーム」タブから「オーディオディスクの書き込み」ボタンをクリックします。

2 「タスクを選択」画面で「新規プロジェクト」にチェックを入れ、「音楽ディスク」にチェックを入れます。「ディスクフォーマット」から書き込む形式を選択して、「OK」ボタンをクリックします。



[音楽CD] パソコンや家庭用CDプレーヤーで再生する音楽CDを作成します。音楽はWAVファイルになり、1枚のCDに約74分録音できます。

[CD Extra] 音楽ファイルとデータファイルの両方を書き込むCDを作成できます。

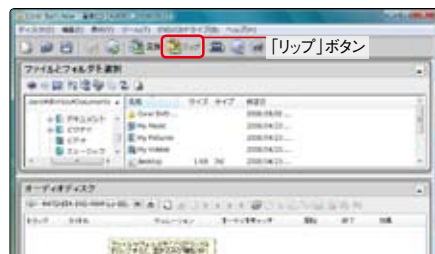
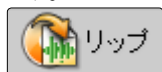
[DVD-Audio] DVDに音楽を記録するDVDオーディオ形式でDVDディスクに書き込みます。高音質での音楽収録が可能です。

[音楽DVD-Video] DVDにビデオを記録するDVD-Video形式でオーディオだけを記録します。DVDプレーヤーなどで再生でき、曲を選ぶメニュー画面を作成することができます。



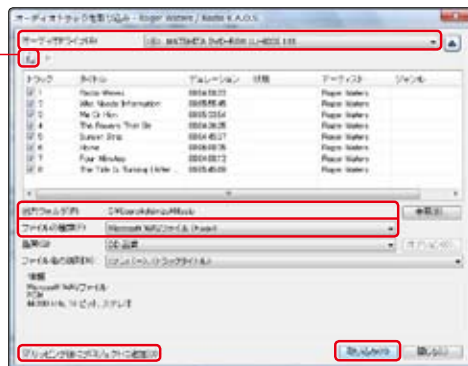
音楽CDの作成

1 ディスクフォーマットから「音楽CD」を選択すると、「Corel Burn.Now」画面が表示されます。音楽CDから曲を取り込むには、音楽CDをパソコンのCD/DVDドライブにセットして、「リップ」ボタンをクリックします。

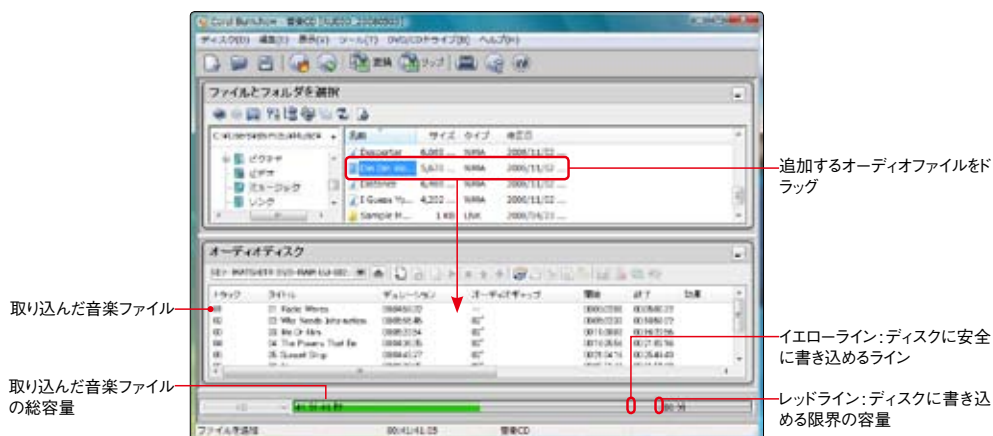


- 2** 「オーディオトラックを取り込み」ダイアログボックスが表示されます。「オーディオドライブ」で音楽CDがセットされたドライブを指定して、保存場所となる「出力フォルダ」を設定します。「ファイルの種類」では、「Microsoft WAV ファイル」を選択します。「リッピング後にプロジェクトに追加」にチェックを入れて、「取り込み」ボタンをクリックします。

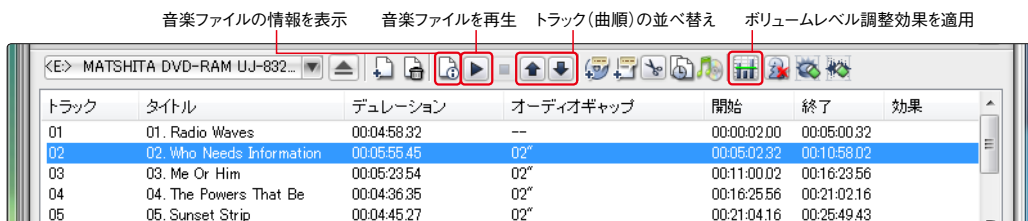
曲名やアーティスト名を所得するには「i」ボタンをクリック



- 3** パソコンに音楽ファイルが取り込まれます。パソコンに取り込んだ音楽ファイルやパソコンに保存してある音楽ファイルで、ディスクに書き込みたいファイルは「オーディオディスク」のウィンドウにドラッグします。「フォルダ」ごと也可以选择することもできます。ディスクに書き込むファイル容量は、画面の下に表示されます。



- 4** 取り込んだ音楽ファイルを確認するには、音楽ファイルを選択して、「再生」ボタンをクリックします。音楽ファイルを選択して「↑」や「↓」ボタンをクリックすると、トラック(曲の再生順)を入れ替えることができます。



「ボリュームレベル調整効果を適用」ボタンは、音声ファイルの一番大きな音を基準に、「0db」を超えない範囲でボリュームを大きくします。録音のボリュームが小さいときに使用すると効果的です。

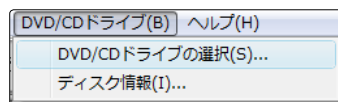


5 音楽ファイルに曲名などをつけるには、各トラックの「タイトル」部分をクリックします。文字カーソルが表示されるので、曲のタイトルを入力します。

トラック	タイトル	デュレーション
01	ラジオウェーブ	00:04:58:32
02	02. Who Needs Information	00:05:55:45

クリックして、タイトルを入力

6 DVD/CDドライブに書き込むディスクをセットします。「DVD/CDドライブ」メニューから「DVD/CDドライブの選択」をクリックします。「DVD/CDドライブの選択」ダイアログボックスの「ドライブ」でディスクをセットしたドライブを指定して、「OK」ボタンをクリックします。



7 「ディスク書き込み」ボタンをクリックすると、書き込みが開始されます。

「ディスク書き込み」ボタン

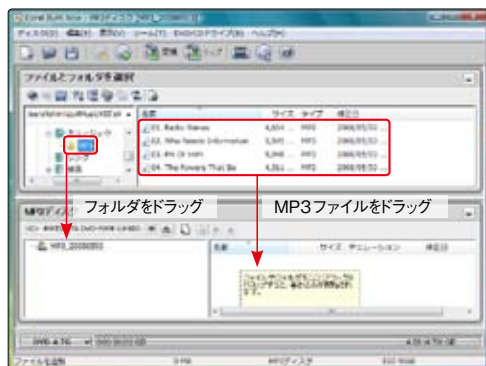


MP3CDとMP3DVD

「MP3」形式のオーディオファイルを集めてパソコンで再生する音楽CD/DVDを作成します。ラウンチャ画面の「ホーム」タブから「オーディオディスクの作成」をクリックします。表示される「タスクを選択」画面で「新規プロジェクト」にチェックを入れ、「MP3ディスク」にチェックを入れます。「書き込み先」から書き込むディスクを選択して、「OK」ボタンをクリックすると、「Corel Burn.Now-MP3ディスク」画面が表示されます。



1 ディスクに書き込むMP3ファイルを選択して、「MP3ディスク」ウィンドウにドラッグします。MP3ファイルが保存されているフォルダごととディスクに書き込む場合は、フォルダをクリックして、左のウィンドウにドラッグします。

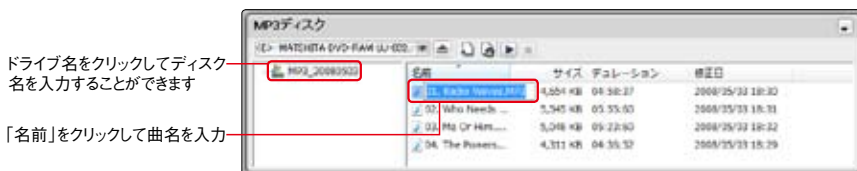


TIPS

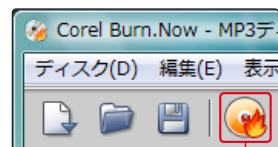
他のオーディオ形式のファイルは、MP3ファイルに変換して書き込むことができます。「変換」ボタンをクリックして、表示される「オーディオファイルを変換」ダイアログで「追加」ボタンをクリックして、変換するファイルを選びます。「ファイルの種類」から「MP3オーディオファイル」を選び、「変換」ボタンをクリックします。



- 2 取り込まれたMP3ファイルはウィンドウに表示されます。ディスク名はドライブの名前をクリックして変更します。曲名は、「名前」をクリックして入力します。



- 3 CD/DVDドライブに書き込むディスクをセットします。「DVD/CDドライブ」メニューから「DVD/CDドライブの選択」をクリックします。書き込むドライブを指定して「OK」ボタンをクリックします。「ディスク書き込み」ボタンをクリックすると、書き込みが開始されます。



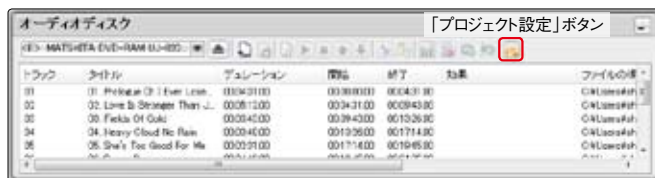
「ディスク書き込み」ボタン

注意

音楽CDのバックアップ作成などでは、個人使用においてもCDの複製が著作権法に違反する場合があります。音楽CDなどの著作権仕様許可契約書をお読みの上、ご確認ください。

音楽DVD-Videoの作成

- 1 音楽DVD-Videoでメニュー画面を作成するには、「プロジェクト設定」ボタンをクリックします。



- 2 表示される「プロジェクト設定」ダイアログボックスには、曲を選択するメニュー画面がプレビューされます。メニューには背景に画像を使用したり、曲名のフォントやサイズを調整できます。



PART 4

Section

3

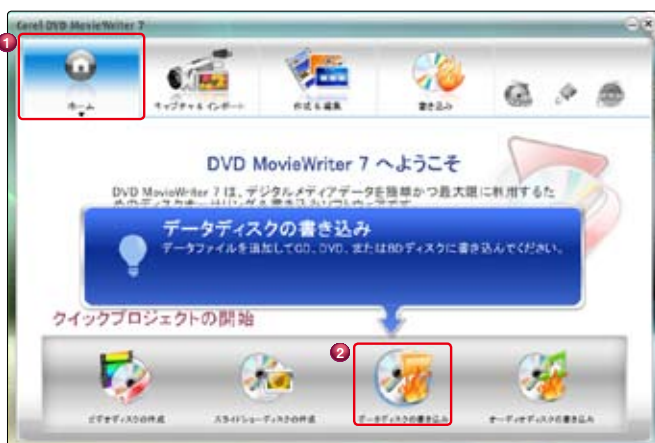
データディスクの作成

ハードディスク内のデータをCDやDVD、Blu-rayディスクにバックアップします。また、セキュリティ付きのディスクやブータブルディスク、DivXディスクを作成することもできます。

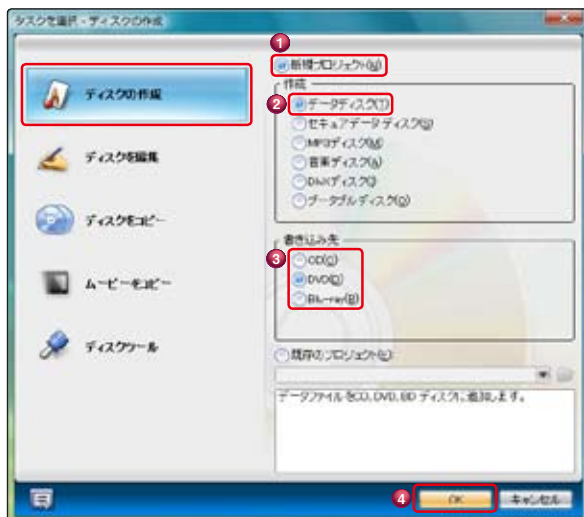
データの追加

「データディスク」では、いろいろなファイルをディスクに書き込むことができます。ハードディスク内の重要なデータをCDやDVD、Blu-rayディスクに書き込んでデータのバックアップを作成しておく、コンピュータがクラッシュしてデータが破損したり、誤って削除した場合などに安心です。また、データをCDやDVD、Blu-rayディスクに書き込むことにより、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。

- 1 データディスクを作成するにはラウンチャ画面の「ホーム」タブから「データディスクの書き込み」をクリックします。

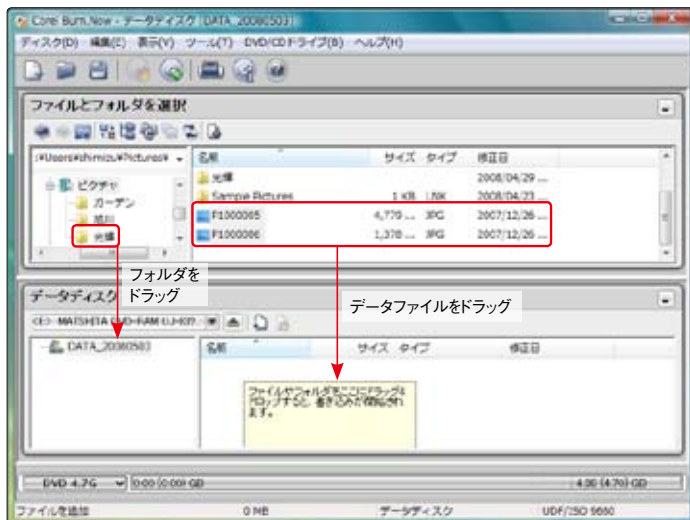


- 2 表示される「タスクを選択」画面で「新規プロジェクト」画面で「新規プロジェクト」にチェックを入れ、「データディスク」をチェックします。「書き込み先」から作成するディスクを選択して、「OK」ボタンをクリックします。「セキュアデータディスク」や「ブータブルディスク」、「DivXディスク」の作成は、P.118をお読みください。

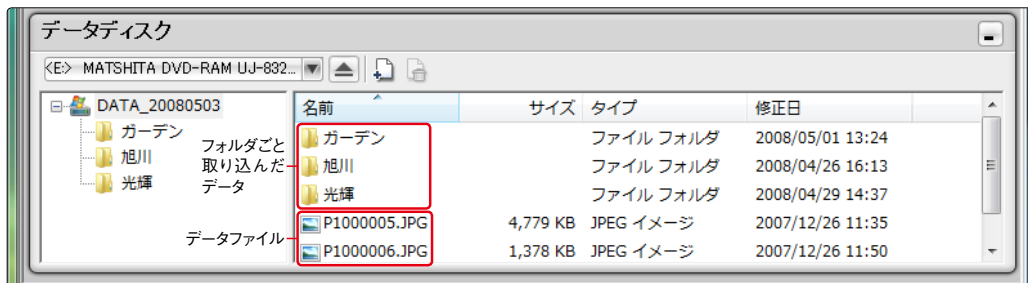


3 「Corel Burn.Now-データディスク」画面が表示されます。フォルダごととディスクに書き込むには「ファイルとフォルダを選択」の左側から、ディスクに書き込むフォルダを選択して、「データディスク」にドラッグします。

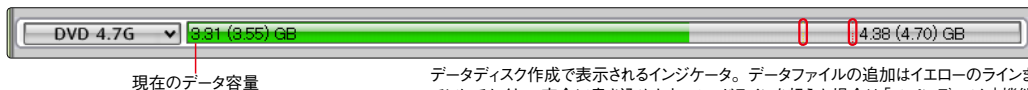
ファイルを追加するには「ファイルとフォルダを選択」の左側から、ディスクに書き込むファイルが収納されたフォルダを選択して、右側に表示されるファイル一覧からファイルを選び、「データディスク」にドラッグします。



4 取り込まれたデータファイルは、「データディスク」ウィンドウに表示されます。



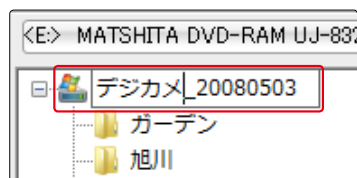
5 書き込むデータ容量がグラフで表示されます。CD ディスクの場合は約650MB、DVD ディスクの場合は約4.3GBを目安にして、書き込むデータを用意します。



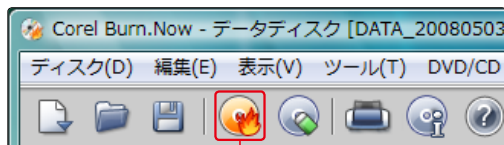
現在のデータ容量

データディスク作成で表示されるインジケータ。データファイルの追加はイエローのラインまでにしておくと、安全に書き込めます。レッドラインを超えた場合は「スパンディスク」機能により、インジケータには必要なディスク枚数が表示されます。「書き込み」ボタンをクリックすると、ファイルの順番をそのままにするか枚数を最小限に抑えるように並び替えるかを選択できます。

6 ディスク名を変更するには、ドライブアイコンの名前をクリックして入力します。



7 記録ドライブに新しいディスクをセットします。
「ディスク書き込み」ボタンをクリックすると、
書き込みが開始されます。



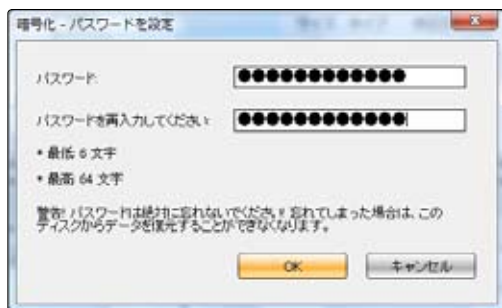
「ディスク書き込み」ボタン

セキュアデータディスクの作成

パスワードを入力しないとディスクの内容が表示されないセキュリティ保護を加えたディスクを作成するには、「セキュアデータディスク」をクリックします。表示される「Corel Burn-Now-セキュアデータディスク」ウィンドウで、データディスクの作成と同じようにディスクに書き込むデータを用意して、「ディスク書き込み」ボタンをクリックします。

表示される「暗号化-パスワードを設定」ダイアログで「パスワード」を入力して、「OK」をクリックします。作成されたディスクは、開くときにパスワードを求められます。正しいパスワードを入力しないと、ディスクは表示されません。

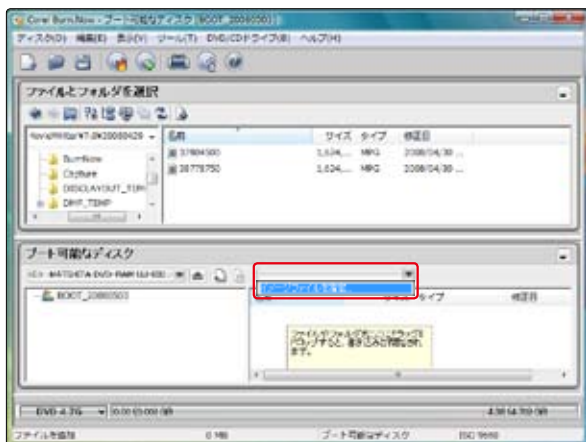
※パスワードの紛失について、弊社ではデータ復旧や補償等を行うことはできません。パスワードの管理・保管についてはご注意ください。



ブータブルディスクの作成

「ブータブルディスクの作成」をクリックすると、起動ディスクのイメージをメディアに書き込んで、ブータブルCD/DVDを作成することができます。フロッピーディスクドライブを搭載していなくても、作成したディスクから起動やリストアができます。

「ブート可能なディスク」の「▼」をクリックして「イメージファイルを指定」を選択します。表示される「ファイルを開く」ダイアログでブータブルファイルを選択して「開く」をクリックします。



DivX ディスクの作成

「DivX ディスク」では、圧縮コーデックのDivXに対応したDVDプレーヤーなどで再生するディスクを作成します。圧縮率を上げて保存する場合などに便利です。DivXディスクに書き込めるファイル形式はavi, divx, div, mp4, tixで、字幕ファイルのass, idx, smi, srt, ssa, subに対応しています。ディスクの作成はデータディスクと同じように作業します。

PART 5

ディスクに書き込むツール

Section 1 キャプチャとインポート

Section 2 ディスクのコピーと書き込み

Section 3 ディスクツール

Section 4 環境設定

Section 5 ディスクとドライブ情報



PART 5

Section

1

キャプチャとインポート

「キャプチャとインポート」では、いろいろな素材をパソコンに取り込むときに使います。DVカメラやビデオ機器の映像の取り込み、DVDディスクからのビデオの取り込み、音楽CDから音楽ファイルの取り込みなどができます。

「キャプチャとインポート」では、いろいろな素材をパソコンに取り込むときに使います。「キャプチャとインポート」タブをクリックすると、4つのメニューが表示されます。ここから目的の作業を選択して、「開始」ボタンをクリックします。

a 「ビデオをキャプチャ」

DVカメラやビデオ機器から映像を取り込むには、パソコンにDVカメラやビデオ機器を接続し、「ビデオをキャプチャ」を選択して、「開始」ボタンをクリックします。「ビデオをキャプチャ」画面が表示されます。

詳しいビデオの取り込みについては、27ページ以降をお読みください。

b 「ディスクに直接録画」

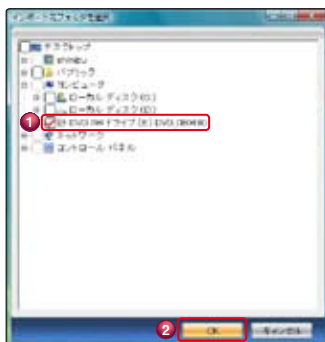
DVカメラやビデオ機器の映像をパソコンに取り込まず、そのままディスクに書き込みます。操作については96ページをお読みください。

c 「デジタルメディアをインポート」

ディスクからビデオを取り込むには、ディスクをパソコンにセットします。「デジタルメディアをインポート」をクリックして、「開始」ボタンをクリックします。「インポート元フォルダを選択」画面が表示されるので、取り込むメディアやフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックします。詳しいビデオの取り込みについては、35ページをお読みください。

d 「音楽CDの取り込み」

音楽CDから音楽ファイルをパソコンに取り込みます。取り込み方法については、112ページをお読みください。



注意

DVD MovieWriterでは、コピーガードやスクランブルなどの著作権保護がかかっている製品はDVDディスクに録画することはできません。

ディスクのコピーと書き込み

「書き込み」タブは、作成したDVD/CDディスクのコピーと音楽ファイルやデータファイルをディスクに書き込むときに使用します。

「書き込み」タブでは、ディスクのコピーやデータをディスクに書き込みます。ラウンチャ画面から「書き込み」タブをクリックすると、5つのメニューが表示されます。ここから目的の作業を選択して、「開始」ボタンをクリックします。



a 「ディスクをコピー」

作成したディスクの複製をつくったり、作成したディスクイメージファイルをディスクに書き込みます (P.122 へ)。

b 「ムービーをコピー」

DVD/BD Videoをディスクにコピーします。作成したDVD フォルダをディスクに書き込んで保存します (P.123 へ)。

c 「オーディオディスクの書き込み」

オーディオファイルをディスクに書き込むときに使用します。オーディオファイルの書き込みについては 112 ページをお読みください。

d 「データディスクの書き込み」

データファイルをディスクに書き込むときに使用します。データファイルの書き込みについては 116 ページをお読みください。

e 「ディスクを編集 / 追記」

作成したディスクのファイルの削除や追加などを行います (P.102 へ)。また、MP3 ファイルを書き込んだディスクの編集も行えます。操作については 114 ページをお読みください。

ディスクのコピーとイメージファイルの書き込み

ディスクのコピーを行うには、ラウンチャ画面の「書き込み」タブから「ディスクをコピー」を選択して、「開始」ボタンをクリックします。「DVD-VR/+VR」形式のビデオは、「DVD-Video」に変換されます。また、「[書き込み] ボタンを押してディスクを作成」の「出力」設定で「ハードディスクへのイメージファイル」を作成した場合は、このファイルをディスクに書き込むことができます。

1 「タスクを選択」画面が表示されます。「コピー元」にコピーするディスクをセットしたドライブを選択します。

2 作成したディスクイメージファイルをディスクに書き込む場合は、「ディスクイメージファイル」にチェックを入れます。「参照」ボタンをクリックして、表示される「ファイルを開く」ダイアログボックスでイメージファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。

3 「コピー先」にコピーするディスクをセットするドライブを選択します。

4 「その他の設定」ボタンをクリックすると、書き込みの詳しい設定が行えます。各設定に関しては、78 ～ 82 ページをご参照ください。

5 「コピー開始」ボタンをクリックすると、コピー元のディスクからコピー先のディスクへコピーがはじまります。

6 書き込みが終了したら、「キャンセル」ボタンをクリックします。ラウンチャ画面に戻ります。



ヒント

DVD/CD ドライブを1台搭載の場合は、コピー元とコピー先に同じドライブを指定します。先にコピーするディスクを挿入して「コピー開始」ボタンをクリックすると、ディスクの内容を読み取った後に空白のディスクを挿入するよう指示されます。

TIPS

音楽CDをコピーするときは、「読み取り速度」を低くするとCD音質を維持できます。データディスクをコピーするときは、「読み取り速度」を高速にすると書き込みエラーの発生率が低くなります。

ムービーのコピー

「[書き込み] ボタンを押してディスクを作成」の「出力」設定で作成した「DVD フォルダ」を複数のディスクにコピーすることができます。

DVD フォルダをディスクにコピーするには、ラウンチャ画面の「書き込み」タブから「ムービーをコピー」を選択して、「開く」ボタンをクリックします。

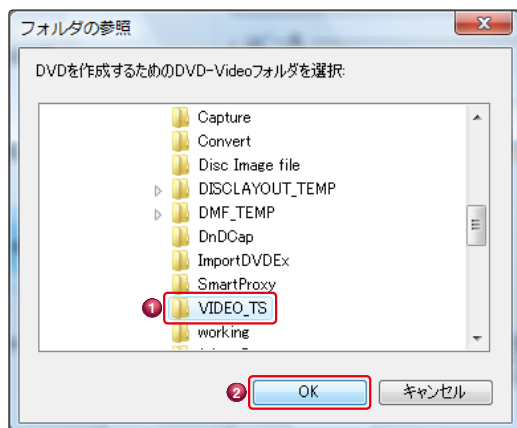
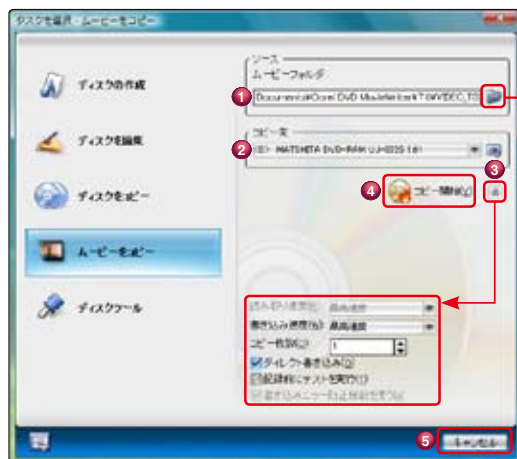
1 「タスクを選択」画面が表示されます。コピーするムービーフォルダを「参照」ボタンをクリックして、表示される「フォルダの参照」ダイアログボックスから選択して、「OK」ボタンをクリックします。

2 「コピー先」にコピーするディスクをセットするドライブを選択します。

3 「その他の設定」ボタンをクリックすると、書き込みの詳しい設定が行えます。各設定に関しては、78 ～ 82 ページをご参照ください。

4 「コピー開始」ボタンをクリックすると、DVD フォルダの内容がディスクにコピーされます。

5 書き込みが終了したら、「キャンセル」ボタンをクリックします。ラウンチャ画面に戻ります。



PART 5

Section

3

ディスクツール

一度書き込んだDVD-RAMやDVD±RWディスクのデータを「ディスクツール」を使って消去したり、ディスクを初期化します。

「ディスクツール」には、ディスクの初期化や消去、ファイナライズ機能があります。ディスクを再利用するときなどに使用します。

1 ディスクをメンテナンスするには、「ラウンチャ」画面から「環境設定&ディスクツール」タブをクリックします。

2 表示されるメニューから項目を選びます。

**a 「形式」**

「ディスクの初期化」ダイアログボックスが表示されます。書き込んだDVD-RAMやDVD±RWディスクの初期化を行います。

**b 「閉じる」**

「ディスクを閉じる」ダイアログボックスが表示されます。DVD-Rディスクに追加書き込みができないように、ディスクをファイナライズします。

**c 「消去」**

「ディスクを消去」ダイアログボックスが表示されます。書き込んだディスクのデータを消去します。



環境設定

プロジェクトを作成する作業フォルダの設定や製品に関する情報を表示します。

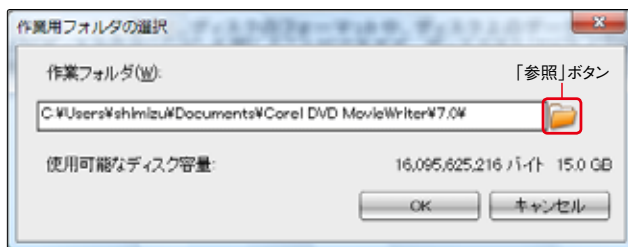
1 「環境設定」を表示するには、「ラウンチャ」画面の「環境設定 & ディスクツール」タブから「環境設定」ボタンをクリックします。

2 プルダウンメニューから各項目をクリックします。

- a 作業用フォルダの選択(O)...
- b ウェブから製品アップデート(W)
- c オンライン登録(X)
- d Corel DVD MovieWriter 7について (A)



a [作業用フォルダの選択] 作業用フォルダにはDVD MovieWriterを使用しているときに、一時的に作成されるファイルなどが収納されています。通常はそのままでの設定でかまいませんが、パソコンに複数台のハードディスクを搭載している場合は、空き容量の大きなハードディスクに設定します。「作業用フォルダの選択」ダイアログボックスが表示されるので、「参照」ボタンをクリックします。「フォルダの参照」ダイアログボックスで、作業用フォルダを設定します。



b [ウェブから製品アップデート] インターネットに接続できる環境の場合、DVD MovieWriterのWebサイトにアクセスして、アップデートなどのダウンロードができます。

c [オンライン登録] インターネットに接続できる環境の場合、自動でオンライン登録サイトにアクセスします。ここからインターネットで製品のユーザー登録ができます。

d [Corel DVD MovieWriter 7について] DVD MovieWriterの情報画面が表示されます。ここで製品のバージョンやシリアル番号を確認できます。

PART 5

Section

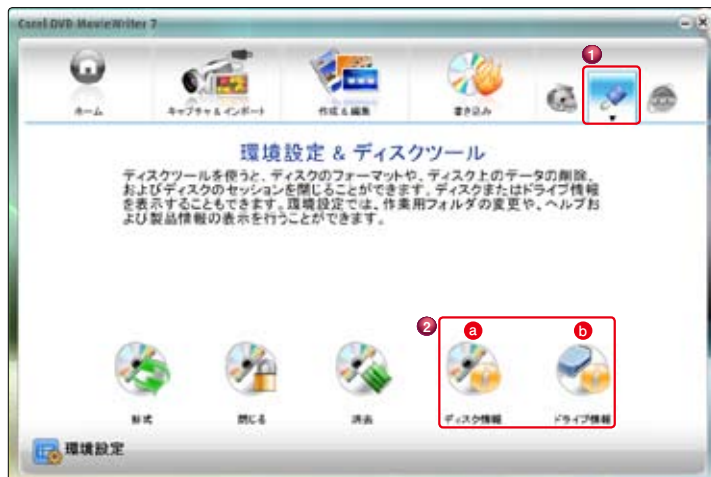
5

ディスクとドライブ情報

「ディスク情報」や「ドライブ情報」では、使用するディスクやDVD書き込みドライブの情報を確認することができます。

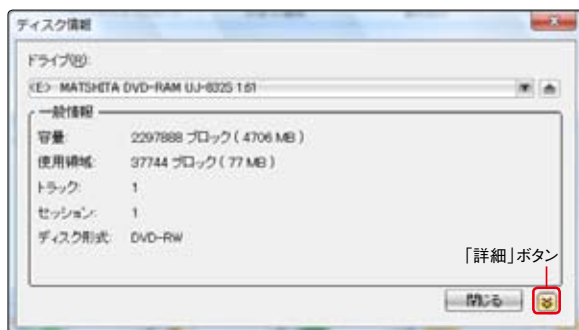
1 ディスクやドライブの情報を調べるには、「ラウンチャ」画面から「環境設定&ディスクツール」タブをクリックします。

2 各アイコンをクリックして情報を表示します。



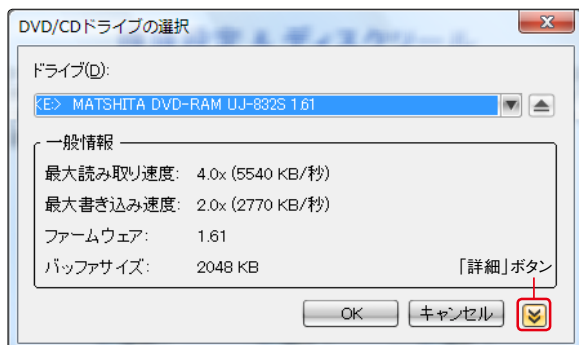
a 「ディスク情報」

ディスクのタイプや容量、使用済みスペースを調べるには、「ディスク情報」ボタンをクリックします。「ディスク情報」ダイアログボックスに、パソコンにセットしているディスクの情報が表示されます。「詳細」ボタンをクリックすると、ディスクの書き込みや初期化などについての詳細な情報が表示されます。



b 「ドライブ情報」

お使いの書き込みドライブについて知りたい場合は、「ドライブ情報」ボタンをクリックします。「DVD/CDドライブの選択」ダイアログボックスが表示されます。「ドライブ」から書き込みに使用するドライブを選択すると、ディスクの書き込みや読み込み速度などが表示されます。「詳細」ボタンをクリックすると、そのドライブが対応している読み込みと書き込み形式が一覧で表示されます。



PART 6

DVD MovieWriterの設定と DVD ディスクラベルの作成

Section 1 プロジェクトの保存と環境設定

Section 2 ディスクラベルの作成

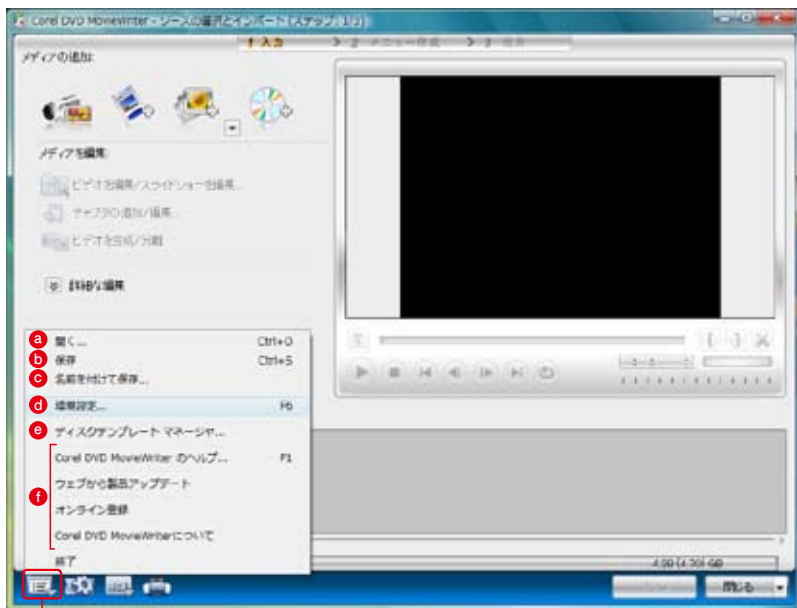
Q&A よくある質問



プロジェクトの保存と環境設定

制作中のプロジェクトは保存しておく、次に開いたときにその状態から編集がはじめられます。ここでは環境を整えたりプロジェクトの保存について解説します。

作成中のプロジェクトの保存やDVD MovieWriterの環境設定を行うには、画面左下にある「設定とオプション」ボタンをクリックして、メニューから「保存」や「環境設定」を選択します。



「設定とオプション」ボタン

a 「開く」

作成したプロジェクトファイルに編集を加える場合に使用します。表示される「ファイルを開く」ダイアログボックスで、プロジェクトファイルを選択します。

b 「保存」

作成中のプロジェクトを保存します。保存したプロジェクトファイルは、あとから編集を加えることができます。

c 「名前を付けて保存」

作成中のプロジェクトを別のプロジェクトファイルとして保存します。

d 「環境設定」

DVD MovieWriterの操作を設定します(P.129へ)。

e 「ディスクテンプレートマネージャ」

ディスク形式やビデオの表示サイズ、転送レート、画質などがセットされたテンプレートを選びます(P.130へ)。

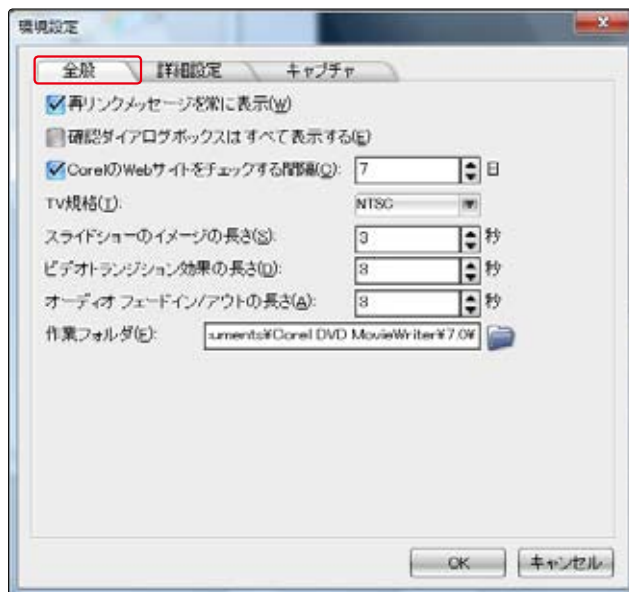
f その他の項目については、132ページをお読みください。

注意

表示されるメニューは、作業している内容によって異なります。

環境設定

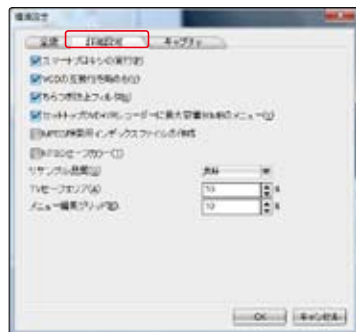
1 「環境設定」をクリックすると、「環境設定」ダイアログボックスが表示されます。「全般」タブの内容は、以下の通りです。



再リンクメッセージを常に表示	プロジェクト内で使用しているファイルのリンクが切れているときに、再リンクを促すメッセージを表示させるかどうかを設定します。
確認ダイアログボックスはすべて表示する	操作を行う際に、常に確認のダイアログボックスが表示されます。
CorelのWebサイトをチェックする間隔	弊社ホームページを決められた日数ごとに自動で表示する機能です。
TV 規格	映像信号を選択します。日本では「NTSC」です。
スライドショーのイメージの長さ	「スライドショーを追加 / 編集」ウィンドウでビデオにスライドショーを追加した場合など、1枚の画像を表示するデフォルトの時間間隔を設定します。秒数は各スライドの設定時に変更することができます。
ビデオトランジション効果の長さ	トランジション効果をかけるデフォルトの時間を設定します。
オーディオ フェードイン/アウトの長さ	オーディオのフェードインやフェードアウトにかかる時間を設定します。
作業フォルダ	ビデオ作成時にできる一時的なファイルを保管する場所を設定します。「参照」ボタンをクリックして、指定のフォルダを選択します。

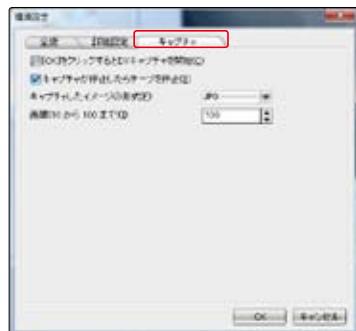
2 「詳細設定」タブをクリックすると、以下の設定ができます。

VCDの互換性を高める	ビデオCD作成の際に、再生の互換性が高まるようにします。
ちらつき防止フィルタ	作成したビデオディスクをDVDプレーヤーなどを使って見る場合、テレビにメニュー画面を表示しているときに、横線が上下にぶれて点滅しないようにします。テレビでスライドショーを見るときも、このオプションを選択すると効果的です。
セットトップDVD+VRレコーダーに最大容量30MBのメニュー	メニュー容量の制限を設定します。
NTSCセーフカラー	ここにチェックを入れると、色を選択するときに、テレビで自然に表示される色から選べるようになります。
リサンプル品質	すべてのクリップの品質を指定します。[最高]に設定すると、ビデオ品質が向上しますが、プレビュー再生に時間がかかります。最終出力を確認するときに選択し、プレビューをすぐに見たい場合は[良好]を選択してください。
TVセーフエリア	「プレビューウィンドウ」で表示される、モニターのセーフエリアの範囲を設定できます。推奨値は10%です。



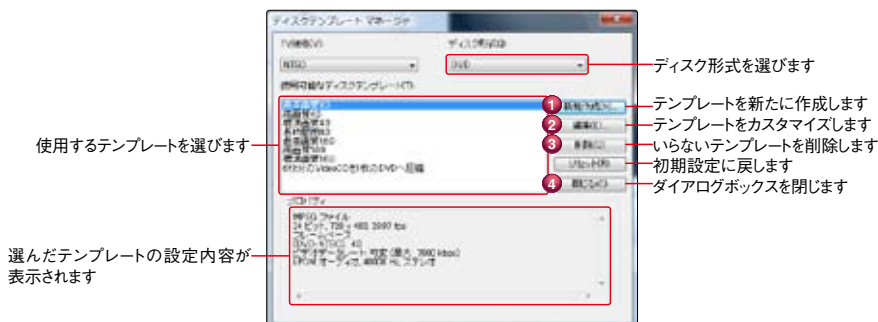
3 「キャプチャ」タブをクリックすると、以下の設定ができます。

【OK】をクリックするとDVキャプチャを開始	キャプチャ開始前に、確認ダイアログを表示させます。
キャプチャが停止したらテープを停止	キャプチャをストップしたときに、DVカメラなどの操作を制御できる機器の場合、自動的にテープをストップさせる機能です。
キャプチャしたイメージの形式	ビデオから静止画をキャプチャするときのファイル形式を設定します。
画質	キャプチャする画質を設定します。



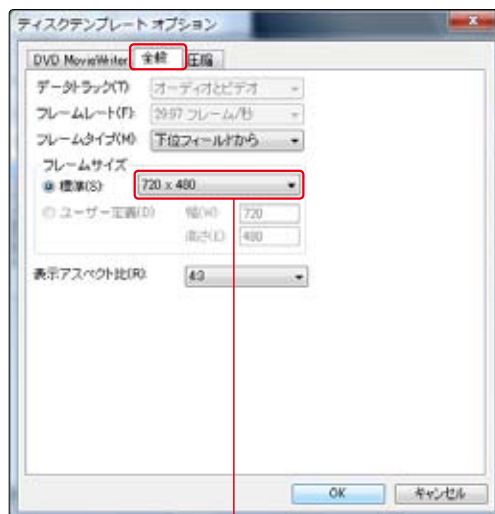
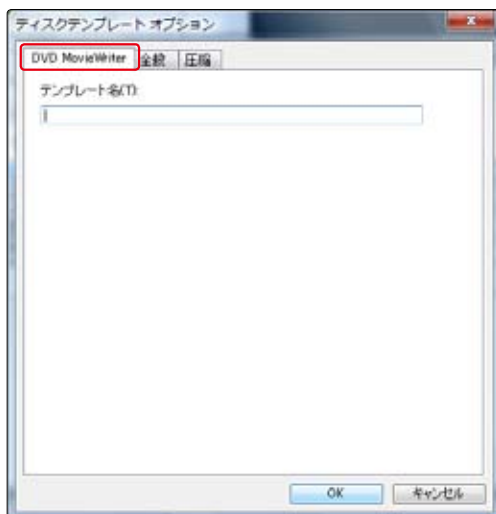
ディスクテンプレートマネージャ

「ディスクテンプレートマネージャ」をクリックすると、「ディスクテンプレートマネージャ」ダイアログボックスが表示されます。ここでディスク形式を選び、ビデオの表示サイズや転送レート、画質などがセットされたテンプレートを選びます。

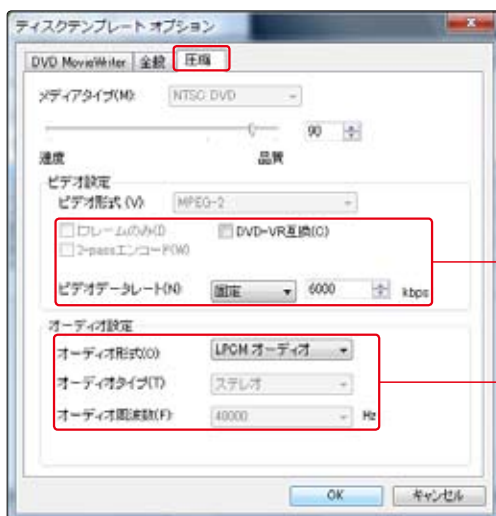


1 「新規作成」ボタンをクリックすると、「ディスクテンプレートオプション」ダイアログボックスが表示されます。ここで新たにテンプレートを作成することができます。

「DVD MovieWriter」タブの「テンプレート名」に新規に作成するテンプレート名を入力します。「全般」タブをクリックしてフレームサイズを選び、「圧縮」タブで「ビデオ」や「オーディオ」を設定します。



フレームサイズの設定



ビデオデータレートを設定

オーディオ形式を設定

2 「編集」ボタンをクリックすると、「使用可能なディスクテンプレート」で選択したテンプレートをカスタマイズすることができます。設定方法は、新規テンプレートの作成と同じです。

3 「削除」ボタンは、いらなくなったテンプレートをクリックして、テンプレートを削除できます。

4 設定が終われば、「閉じる」ボタンをクリックします。

ウェブサイト

●ウェブから製品アップデート

インターネットに接続できる環境の場合、ここをクリックすると自動でDVD MovieWriterのホームページにアクセスします。

ここからDVD MovieWriterの最新情報やアップデートパッチなどを入手できます。

●オンライン登録

インターネットに接続できる環境の場合、ここをクリックすると自動でオンライン登録サイトにアクセスします。ここからインターネットで製品のユーザー登録ができます。

ユーザー登録を行うと無償テクニカルサポートが受けられ、登録ユーザー限定割引やプレゼントキャンペーンなどの情報、無償アップグレードおよびアップデートパッチのご案内が届くようになります。ユーザー登録は早めにご登録いただくことをお勧めします。

●Corel DVD MovieWriter について

「Corel DVD MovieWriter」ダイアログボックスが表示されます。Corel DVD MovieWriterのバージョンや製品番号が表示されます。シリアル番号を忘れた場合は、ここで確認できます。「OK」ボタンをクリックするとダイアログボックスが閉じます。



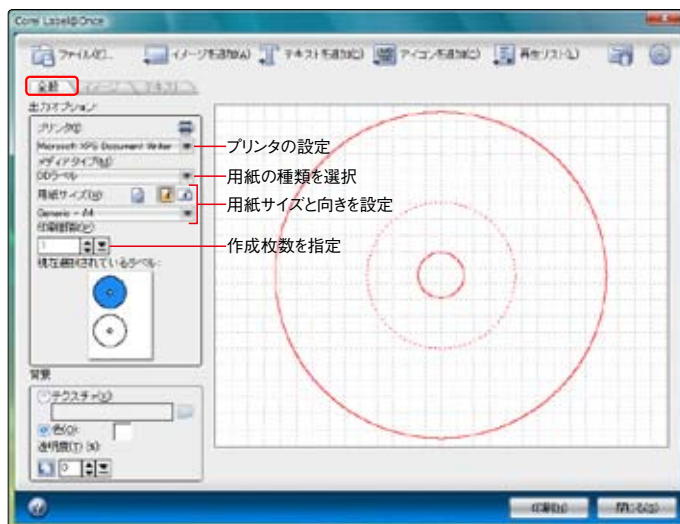
ディスクラベルの作成

DVD MovieWriter で作成したディスクにラベルをデザインして貼り付けることができます。マイディスクに相應しいオリジナルラベルをつくってください。

- 1** DVD MovieWriter で作成したビデオディスクのディスクラベルを作成することができます。また、ディスクケースのジャケットなども作成できます。市販のラベル用紙にレイアウトしてプリントします。ラベルを作成するには、ラウンチャ画面の「DVD MovieWriter Suite」タブから「Label@Once」ボタンをクリックします。



- 2** 「Label@Once」画面が表示されます。「全般」タブをクリックして、使用するプリンタと用紙、用紙方向、作成枚数を指定します。



ラベル

ディスクの編集集中にビデオクリップを選択してラベルにしたい映像の位置に移動し、「Label@Once」ボタンをクリックすると、その映像をラベルにすることができます。



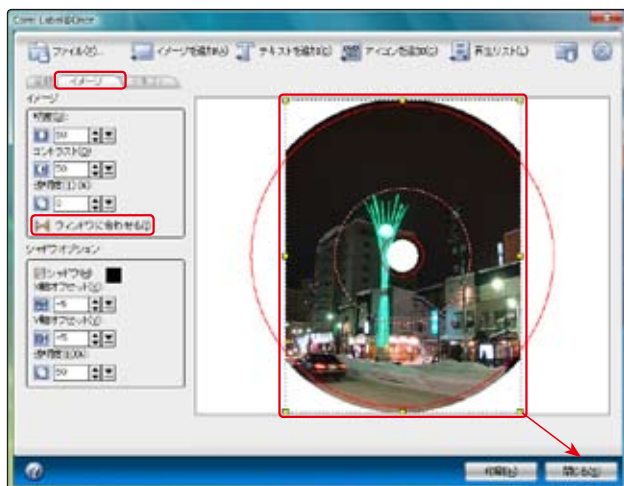
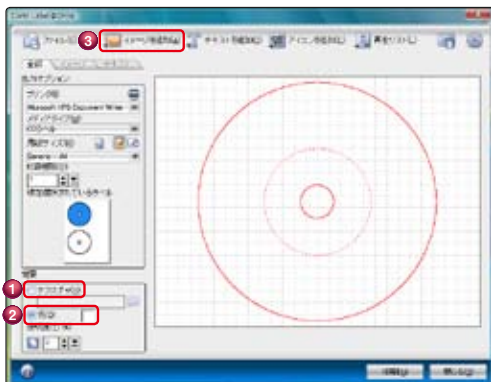
オリジナルラベルの作成

1 ラベルの背景にテクスチャを使用するには「背景」の「テクスチャ」にチェックを入れ、テクスチャが保存されているフォルダを選択して、テクスチャを選びます。

2 背景に色を敷く場合は、「背景」の「色」にチェックを入れて、カラーボックスから色を選びます。

3 背景に写真などの画像を使用するには、「イメージを追加」ボタンをクリックします。「ファイルを開く」ダイアログボックスから写真を選択して、「開く」ボタンをクリックします。

4 「イメージ」タブに切り替わり、プレビューウィンドウに写真が表示されます。「ウィンドウに合わせる」ボタンをクリックすると、自動的に写真をディスクのサイズに合わせることができます。さらに細かく調整するには、四隅の黄色いポインタをドラッグします。

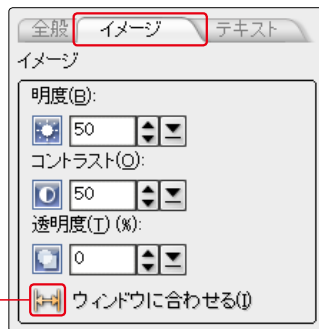


アンバ

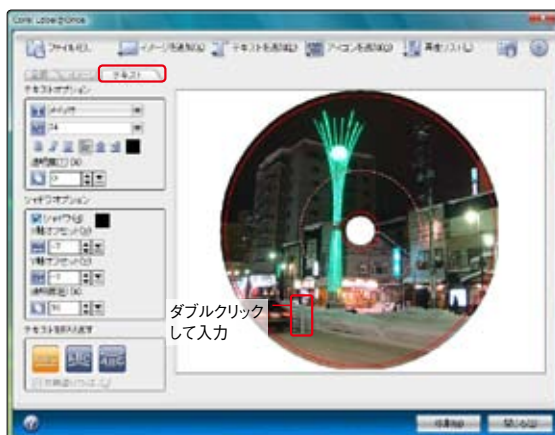
ディスクの枠より少し画像がはみ出さくらいにレイアウトすると、印刷がずれてもきれいにできあがります。

- 5 取り込んだ背景写真は「イメージ」タブで、色や透明度の調整ができます。「明度」は写真の明るさや暗さを、「コントラスト」は写真の明暗を、それぞれ三角ボタンをクリックして調整します。「透明度」を調整すると、写真に透明感を加えられます。

ここをクリックすると、画像をウィンドウのサイズに調整して表示されます。



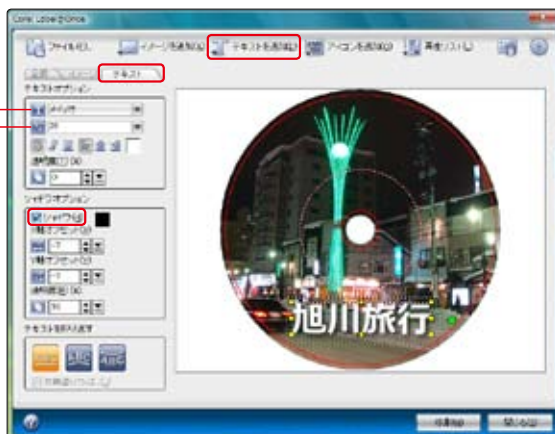
- 6 ラベルにテキストを入力するには、「テキスト」タブをクリックします。プレビューウィンドウをダブルクリックすると文字カーソルが表示されるので、そこにテキストを入力します。



- 7 「テキストオプション」で、入力したテキストを整えます。テキストに影をつけるには「シャドウオプション」の「シャドウ」にチェックを入れ、影の色や影をつける位置を調整します。違う位置にテキストを入力するには、「テキストを追加」ボタンをクリックします。



フォントの種類
フォントのサイズ



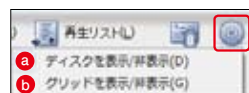
- 8** 「テキストを折り返す」から「右回り」「左回り」を選択すると、タイトルをディスクに沿ってレイアウトできます。

手順

「アイコンを追加」ボタンをクリックすると、録画形式やディスクの種類を表すアイコンを貼りつけられます。



- 9** 「オプション」ボタンをクリックすると、各種設定ができます。



- a** 「ディスクを表示/非表示」は、プレビューウィンドウにディスクのイメージを表示するか非表示にするかを設定します。「表示」にするとディスクにレイアウトする部分だけが表示されるので、見やすくなります。
- b** 「グリッドを表示/非表示」では、グリッドの表示を設定します。グリッドを表示すると、タイトルなどをグリッドに合わせて揃えやすくなります。

- 10** 「再生リスト」ボタンをクリックすると、「再生リスト情報を追加/編集」ダイアログボックスが表示されます。「再生リストをインポート」で再生リストを読み込むと、ディスクに音楽CDのタイトルやアーティスト名、曲目がレイアウトされます。



- 11** お手持ちのプリンタにラベル用紙をセットします。「印刷」ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。別のラベルを作るには、作成したラベルを保存した上で、「コンテンツをクリア」ボタンをクリックします。白紙のラベルが表示されます。

「ディスクラベルファイルの書き込み/保存」



Labelflash ディスクの作成

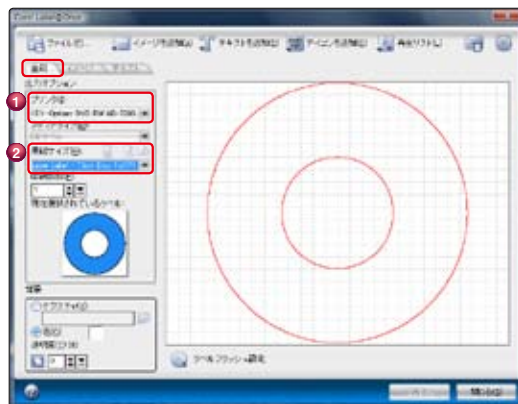
「Label@Once」は、DVD ディスクのレーベル面にテキストや画像をレーザーで書き込む「Labelflash」に対応しています。

注意

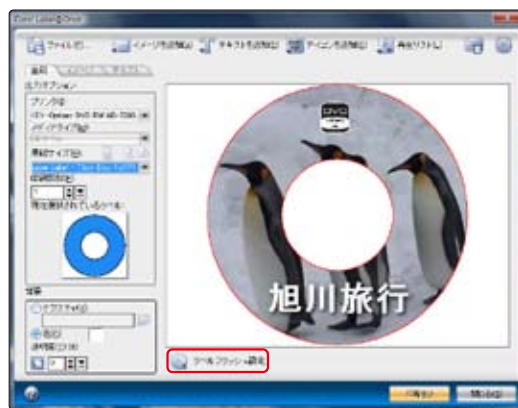
「Labelflash」印刷を行うには、「Labelflash」機能を搭載したDVDドライブと「Labelflash」に対応したDVDディスクが必要です。

1 「Label@Once」画面の「全般」タブをクリックします。「プリンタ」からLabel flash 対応ドライブを選択すると、「Labelflash 作成」画面に切り替わります。

「用紙サイズ」の「▼」をクリックして、ディスクに印刷するサイズを設定します。「Full」はディスク全面に、「Title」はディスクの外側部分に、「Content」は「Title」よりも少し広い範囲に印刷できます。



2 「Label@Once」と同じようにラベルを作成します。「ラベルフラッシュ設定」ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。ここで、印刷のクオリティなどを設定することができます。



3 Labelflash 対応メディアのプリント面を下にして、ドライブにセットします。

注意

プリント面と記録面を間違わないようにしてください。記録面にLabelflashで印刷されたディスクは、使用できなくなります。

4 「印刷」ボタンをクリックすると、印刷を開始します。

注意

濃淡がはっきりしていない画像は、鮮明に印刷されません。

注意

印刷中は他のプログラムを起動しないで下さい。



Labelflash 対応メディアに印刷した例

Q&A

よくある質問

ここでは、よくいただく質問についてご説明します。

製品のサポート

Q 製品に関する情報やアップグレードなどについて知りたいのですが？

A 製品のホームページに「製品情報」や「製品FAQ(よくある質問)」を掲載しています。また、「サポート」コーナーでは製品の「技術サポート」や「カスタマーサポート」などをご用意し、お客様のいろいろなご要望にお応えしています。

[製品サポートサイト]

<http://www.ulead.co.jp/support/>

Q マニュアルが付いてなかったので購入したいのですが？

A 他社の製品にバンドルされている場合、紙に印刷されたマニュアルが付属しないことがあります。

製品付属のマニュアルは販売いたしておりません。通常インストールCDにAdobe AcrobatのPDF形式で収録してあります。パソコンでご覧いただいたり、印刷していただければ、マニュアルと同じものになります。

また、DVD MovieWriterのホームページにもPDFファイルのマニュアルがありますので、そちらをご利用ください。

Q 製品のシリアル番号はどこに記入されていますか？

A 画面左下のボタンをクリックして表示されるメニューから、「Corel DVD MovieWriterについて」をクリックします。そこに製品番号が表示されます。

また、ユーザー登録は、同じメニューの「オンライン登録」をクリックして行ってください。

製品情報

Q DVカメラが認識されません。

A WindowsのデバイスマネージャでDV機器が認識されているかを確認してください(→P.11)。認識されていないようであれば、接続ケーブルを変えたり、何回か抜き差ししてみてください。

Q ハードディスク容量は、どれくらい必要ですか？

A 4.7GBのDVDディスクすべてにMovieファイルを書き込むとき、ハードディスクにDVDボリュームを作成するには9.4GB以上の空き容量が必要になります。

Q DVD MovieWriterでDVDにできるファイル形式は？

A 画面のサイズは720×480、704×480、352×480(Half-D1)、352×240の4種類です。

ビデオビットレートは、固定(CBR)または可変(VBR)の2,000～9,500kbps。音声は、Dolby Digital(AC-3 2ch)またはMPEGオーディオのビットレート192～384kbps、サンプリング周波数48,000HzのファイルかLPCMオーディオのMPEG2形式のファイルです。

Q 作成したディスクがDVDプレーヤーで再生できません。

A DVDディスクに記録したDVDビデオは、家庭用DVDプレーヤーやDVD-ROMドライブ搭載のパソコンで再生できますが、一部のプレーヤーやDVD-ROMドライブでは再生できない場合があります。また、ディスクやプレーヤーの状態によっても再生できない場合があります。

Q アナログ-DVコンバーターを使ってディスクに直接録画ができません。

A IEEE1394接続機器からのダビングを行う場合、「フルDVテープ」を選択していると必ずテープコントロールを行う仕組みになっています。コントロールするものがないアナログ-DVコンバーターの場合、DVD MovieWriterがコントロールを試みた状態のままになってしまうため、ダビングを行うことができません。アナログ-DVコンバーターを使用する場合は、キャプチャモードを「設定した時間キャプチャ」にしてください。

Q 4GB以上のMPEG2ファイルをDVDディスクに書き込むことができますか？

A Windows VistaおよびXPでは、ファイルシステムが「NTFS」の場合に限り、4GB以上のMPEG2ファイルを書き込むことができます。また、書き込める容量は「4.3GB」前後までです。

Q DVDディスクへ書き込みを行おうとするとエラーメッセージが表示されたり、パソコンがフリーズしたりして、書き込むことができません。

DVDディスクへの書き込み時に、周辺機器や他社ソフトなどによる干渉が原因で、ドライブ内のDVDディスクを正しく認識できていないためです。

以下の項目をチェックしてください。

●競合ソフトによる干渉

別のDVD-Video作成ソフト（オーサリングソフト）や、CD-Rなどにデータを書き込むライティングソフトなどがインストールされていると、DVD MovieWriterと競合を起し、ドライブ内のディスクを正しく認識できなくなる可能性があります。

該当すると思われるソフトウェアがあれば、一度それらをアンインストールして、DVD MovieWriterの動作を確認してください。

●常駐ソフト

パソコンを起動後、画面右下に小さなアイコンとして「常駐ソフト」が表示されます。パソコン内に複数の常駐ソフトが起動していると、それらがパソコン内のデータの動きに反応して、ドライブ内のディスクを正しく認識できなくなる可能性があります。

DVD-Videoの作成中は、常駐ソフトのアイコンをマウスで右クリックして、表示されるプルダウンメニューから「終了」「停止」「無効にする」などの項目を選んで終了してください。

●周辺機器

干渉を少なくするため、パソコンに接続されている周辺機器はすべて取り外してください。

●使用DVDディスクの確認

使用しているDVDドライブに、書き込み可能な空のDVDディスクが挿入されているかを確認してください。

●ドライバの再インストール

DVDドライブをコントロールしている「ドライバ」が正常に動作していない可能性があるため、「ドライバ」の再インストールを行って下さい。ドライバを削除後、パソコンを再起動すると、新しいドライバが自動的にWindowsによってインストールされます。

- Q DVカメラをバッテリーのみで使用してキャプチャしたり、ノートパソコンをバッテリーのみで使用してDVDを作成したりできますか？**
- A** DVカメラをバッテリーのみで使用した場合、コマ落ち等、正常にキャプチャできない場合がありますので、DVカメラにACアダプタを接続して、AC電源でご使用ください。
- また、DVDディスクへの書き込みの際は、安定した電源供給が必要になりますので、ノートパソコンでご利用の場合は、バッテリーではなく、AC電源でご利用ください。
- Q DVカメラからのキャプチャ時にノイズ等が発生したり、正常にキャプチャしたりできません。**
- A** ご利用環境やDV機器、DVテープの状況等によっては、正常に動作しない場合があります。まれに、異なるDVカメラで録画したDVテープなどからキャプチャを行う場合に発生する場合がありますので、DVテープの再生やキャプチャは、録画したDV機器で行うことを推奨します。
- また、市販されているすべてのDVカメラにおいて、すべての機能や動作を保証するものではありません。
- Q キャプチャ時や再生時などに、プレビューウィンドウで映像がなめらかに再生されません。**
- A** CPUのスペックやディスプレイドライバ等の性能的な問題で、ご使用環境によってはプレビューウィンドウで映像がなめらかに再生されない場合がありますが、作成されたDVDは問題なく再生されることがほとんどです。
- Q 表示されるディスク容量等が、実際とはかなり異なる値が表示される場合があります。**
- A** 元データがDVD-Videoの規格に合わないようなデータの場合、DVD-Videoの規格に合わせるために、変換（再エンコード）が必要になります。そのため、実際のデータより余分にディスク容量が必要になります。
- Q キャプチャ終了後にも、外部入力機器の音声が続きます。**
- A** 外部入力機器（VHSビデオデッキ等）をパソコンのビデオ入力端子に接続した状態でキャプチャを行った場合や、同時にデジタルビデオカメラを接続した場合に、キャプチャの終了後にも外部入力機器の音声が続くことがあります。その場合は、外部入力機器の「停止」ボタンを操作すると音声ストップします。
- Q 家庭用DVDレコーダーで録画したDVD-RAM（DVD-VR形式）を編集できない場合や、DVD MovieWriterで編集したDVD-RAM（DVD-VR形式）を家庭用DVDレコーダーで正常に再生できない場合があります。**
- A** ディスクやプレーヤーの状態によっては、DVD-RAM（DVD-VR形式）を編集できない場合や、正常に再生できない場合があります。また、市販されているすべてのDVDプレーヤーやDVDレコーダーにおいて、互換性を保証するものではありません。
- Q DVD+RWディスクに録画されたビデオを、ディスクの再編集機能で編集することはできますか？**
- A** DVD+RWディスクに録画済みのビデオを編集することはできませんが、新たに取り込まれたビデオを編集することは可能です。
- Q DVD-RAMディスクの再編集に、他のDVDディスクからの取り込みはできますか？**
- A** DVD-RAMディスクの再編集には、ディスクの入れ替えができないため、他のDVDディスクからの取り込みはできません。
- なお、ハードディスクに保存したDVDフォルダからの取り込みは可能です。

- Q DVD-RAM (DVD-VR形式) に記録した場合、再生時にタイトル名が途中で切れて表示される場合があります。**
- A** DVD-VR形式の仕様上、全角32文字(半角64文字)を超えるタイトル名をつけることができません。全角32文字(半角64文字)以内になるように、タイトル名を編集してから作成してください。
- Q USB2.0 (ハイスピード) ビデオクラスでの映像の取り込みはできますか？**
- A** USB2.0 (ハイスピード) ビデオクラス対応のデジタルビデオカメラからUSB接続経由で取り込みが可能です。デジタルビデオカメラからUSB接続経由で映像を出力する方法については、デジタルビデオカメラに添付されている取扱説明書等をご確認ください。
- Q ファイル形式等に関係なく、すべてのビデオファイルでDVDを作成できますか？**
- A** DVD MovieWriterで扱えるビデオファイルは、MPEG、WMV、AVI、DivXです。また、ファイル形式やデータの内容によっては、ファイル読み込み時にエラーが発生したり、正常に編集やDVD作成ができない場合もあります。



Corel DVD MovieWriter 7
ユーザーズガイド

2008年 7月 第1版

コーレル株式会社

〒220-8124
神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー 24階